

EPSON

DS-571W

ユーザーズガイド

本製品の特長

スキャナーの基本情報

セットできる原稿とセット方法

基本のスキャン

メンテナンス

困ったときは

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

©2020-2026 Seiko Epson Corporation

商標

- EPSON、EPSON EXCEED YOUR VISION、EXCEED YOUR VISION およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft[®], Windows[®], and Windows Vista[®] are registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Apple, macOS, and OS X are registered trademarks of Apple, Inc.
- Adobe, Adobe Reader, and Acrobat are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- Intel[®] is a registered trademark of Intel Corporation.
- Wi-Fi, Wi-Fi Alliance, and Wi-Fi Protected Access (WPA) are registered trademarks of the Wi-Fi Alliance. Wi-Fi Protected Setup, and WPA2 are trademarks of the Wi-Fi Alliance.
- AOSSは株式会社バッファローの商標です。
- The SuperSpeed USB Trident Logo is a registered trademark of USB Implementers Forum, Inc.
- 通則：その他の製品名は各社の商標または登録商標です。それらの商標について、エプソンはいかなる権利も有しません。

目次

マニュアルのご注意	2	書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro / Document Capture)	24
商標	3	スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)	25
マニュアルの見方	7	スマートデバイスからスキャンするソフトウェア (Epson Smart Panel)	25
マニュアルの種類と内容	8	ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (EPSON Software Updater)	26
マークの意味	8	スキャナーを設定するソフトウェア (Web Config)	26
マニュアル記載の前提	8	ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア (EpsonNet Config)	28
OS表記	8	ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア (Epson Device Admin)	28
製品のご注意	10	ドライバーパッケージを作成するソフトウェア (EpsonNet SetupManager)	28
本製品の不具合に起因する付随的損害	11	やさしく名刺ファイリングエントリー	29
電波に関するご注意	11	オプションと消耗品の紹介	29
無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意	11	キャリアシートの型番	29
セキュリティーに関するご注意	12	給紙ローラーキットの型番	29
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	12	クリーニングキットの型番	30
本製品の使用限定	13	セットできる原稿とセット方法	31
本製品の廃棄	13	原稿の仕様	32
本製品の特長	14	セットできる原稿の基本仕様	32
スマートデバイス専用アプリ Epson Smart Panelに対応	15	注意が必要な原稿	35
原稿のダメージを抑える原稿保護機能	16	スキャンできない原稿	36
センサー汚れのお知らせ機能	16	原稿のセット方法	36
停止タイミングを選べる重送検知機能	16	定形サイズ of 原稿	36
原稿の自動判別で高画質スキャンが可能	17	長尺紙	41
スキャナーの基本情報	18	プラスチックカード	43
各部の名称と働き	19	ラミネート加工されたカード	47
操作パネルのボタンとランプ	21	大判原稿	49
ボタン	21	不定形の原稿	52
ランプ	22	写真原稿	55
ランプのエラー表示	23	封筒	58
ソフトウェアの紹介	24	用紙の種類やサイズの異なる原稿	61
		ネットワーク設定	64
		ネットワーク接続の種類	65
		無線LAN (Wi-Fi) 接続	65
		APモード接続	65
		スキャナーをネットワークに接続する	66
		操作パネルからのネットワーク設定	66
		プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)	66

PINコードで設定する(WPS)	67
APモードを設定する	68
スキャナーのIPアドレスを確認する	68

基本のスキャン 69

スキャナーのボタンでスキャンする	70
コンピューターからスキャンする	70
Document Capture Proでスキャンする (Windows)	70
Document Captureでスキャンする (Mac OS)	77
Epson Scan 2でスキャンする	82
スマートデバイスからスキャンする (Epson Smart Panel)	87

いろいろなスキャン 88

ジョブを登録する	89
ジョブを作成、登録する (Windows)	89
ジョブを作成、登録する (Mac OS)	95
スキャナーのボタンにジョブを割り当てる (Windows)	96
スキャナーのボタンにジョブを割り当てる (Mac OS)	96
異なるサイズ of 原稿を1枚ずつスキャンする (原稿待ち受けモード)	97
Document Capture Proのいろいろなス キャン設定 (Windowsのみ)	98
ページ数を指定して原稿を分割する	99
白紙を使って原稿を分割する	102
バーコードの文字情報でフォルダーを作成して 保存する	106
2種類のバーコードを使って2階層のフォル ダーを作成する	110
バーコードの文字情報をファイル名にして保存 する	114
OCRで読み取った文字でフォルダーを作成して 保存する	119
OCRで読み取った文字をファイル名にして保存 する	124
帳票ごとにフォルダーを作成して保存する	131
e-文書法および電子帳簿保存法に適合したス キャン	135

便利な機能 137

ガラス面汚れ検知機能を設定する	138
-----------------------	-----

原稿保護機能を設定する	139
重送検知時の動作を設定する	140

メンテナンス 142

スキャナーの外部をクリーニングする	143
スキャナーの内部をクリーニングする	143
定期清掃の後、スキャン枚数をリセットする	147
給紙ローラーキットを交換する	149
ローラーを交換した後、スキャン枚数をリセッ トする	153
節電の設定をする	155
スキャナーを輸送する	156
ソフトウェアやファームウェアを更新する	156
Web Configでファームウェアをアップデート する	157
スキャナーをインターネットに接続しないで ファームウェアをアップデートする	157

困ったときは 159

スキャナーのトラブル	160
スキャナーのランプにエラーが表示される	160
スキャナーの電源が入らない	160
スキャンを開始するときのトラブル	160
コンピューターからスキャンできない	160
スマートデバイスからスキャンできない	165
給紙のトラブル	168
複数枚の原稿が一度に給紙される (重送)	168
詰まった原稿を取り除く	169
原稿が頻繁に詰まる	170
原稿保護が正しく動作しない	170
原稿が汚れる	171
連続スキャン中にスキャン速度が極端に遅く なった	171
スキャンに時間がかかる	171
スキャン品質のトラブル	171
ADFでスキャンした画像に直線が現れる	171
ガラス面の汚れの通知が消えない	172
スキャンした画像に濃淡のムラが出る	172
スキャンした画像が伸びる、縮む	172
原稿の裏面が写る	173
スキャンした文字や画像がぼやける	173
モアレ (網目状の陰影) が現れる	174
原稿サイズを自動検知するときに原稿の端がス キャンされない	175
文字が正しく認識されない	175
スキャン品質のトラブルが解決しないときは	175

Microsoft Exchange Online使用時のトラブル	176
サインインできない、またはユーザーがログインできない	176
メール送信できない	176
有効期限切れのメッセージが表示される	177
ソフトウェアをアンインストールまたはインストールする	178
ソフトウェアをアンインストール（削除）する	178
ソフトウェアをインストールする	179

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは 180

ネットワーク接続済みのスキャナーに接続する方法	181
2台目のコンピューターからネットワークスキャナーを使う	181
スマートデバイスからネットワークスキャナーを使う	182
ネットワークを再設定する方法	182
無線LANルーターを交換したとき	182
コンピューターを買い替えたとき	183
コンピューターとの接続形態を変更する	183
操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する	184
ネットワーク接続状態の確認	184
ランプでネットワーク状態を確認する	184
コンピューターのネットワークを確認する（Windowsのみ）	184
操作パネルからネットワーク設定を無効にする	186
操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す	186

管理者向け情報 187

スキャナーをネットワークに接続する	188
ネットワーク接続の前に	188
固定IPアドレスを使ってネットワークに接続する	189
本体のセキュリティー機能の紹介	190
管理者設定	190
管理者パスワードの設定	190
コンピューターからスキャナーにログオンする	191
遠隔地にあるスキャナーを監視する	191
遠隔地にあるスキャナーの情報を確認する	191
イベント発生時にメール通知を受け取る	192

設定のバックアップ	198
設定をエクスポートする	198
設定をインポートする	198
高度なセキュリティー設定	199
セキュリティー設定と防止できる脅威	199
利用するプロトコルを制御する	200
電子証明書を使う	203
スキャナーとのSSL/TLS通信	208
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する	209
IEEE802.1X環境にスキャナーを接続する	220
トラブルを解決する	221

仕様 229

基本仕様	230
ネットワークの仕様	231
無線LANの仕様	231
ネットワーク機能一覧	231
セキュリティーのプロトコル	231
スキャナーが使用するポート	232
外形寸法と質量の仕様	232
電気仕様	233
スキャナー電気仕様	233
ACアダプター電気仕様	233
環境仕様	233
対応OS	234

規格と規制 235

電源高調波	236
瞬時電圧低下	236
電波障害自主規制	236
著作権	236
複製が禁止されている印刷物	236

サービスとサポートのご案内 237

エプソンサービスパック	238
お問い合わせ前の確認事項	238
保証書について	238
補修用性能部品および消耗品の保有期間	238
保守サービスの受付窓口	239
保守サービスの種類	239
お問い合わせ先	240

マニュアルの見方

マニュアルの種類と内容	8
マークの意味	8
マニュアル記載の前提	8
OS表記	8

マニュアルの種類と内容

マニュアルの最新版は以下から入手できます。

www.epson.jp/support/

- セットアップガイド（紙マニュアル）
スキャナーを使える状態にするまでの作業の説明、および安全に使用するための注意事項を記載しています。
- ユーザーズガイド（電子マニュアル）
本書です。スキャナーの使い方全般や、メンテナンス方法、トラブルへの対処方法などを説明しています。

上記のマニュアル以外にも、いろいろなヘルプがソフトウェアに組み込まれているのでご利用ください。

マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- ソフトウェアの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierraでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- 本書で使われているイラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版

- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「macOS Catalina」「macOS Mojave」「macOS High Sierra」「macOS Sierra」「OS X El Capitan」「OS X Yosemite」の総称として「Mac OS」を使用しています。

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害	11
電波に関するご注意	11
無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意	11
セキュリティーに関するご注意	12
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	12
本製品の使用限定	13
本製品の廃棄	13

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：J26H006
- 認証番号：003-170262

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzを使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

- 本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（<http://www.wi-fi.org>）をご参照ください。
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS4/OF4/FH2

無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の廃棄

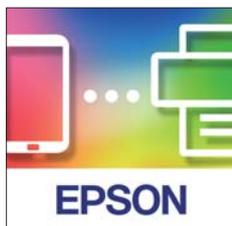
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

本製品の特長

スマートデバイス専用アプリ Epson Smart Panelに対応	15
原稿のダメージを抑える原稿保護機能	16
センサー汚れのお知らせ機能	16
停止タイミングを選べる重送検知機能	16
原稿の自動判別で高画質スキャンが可能	17

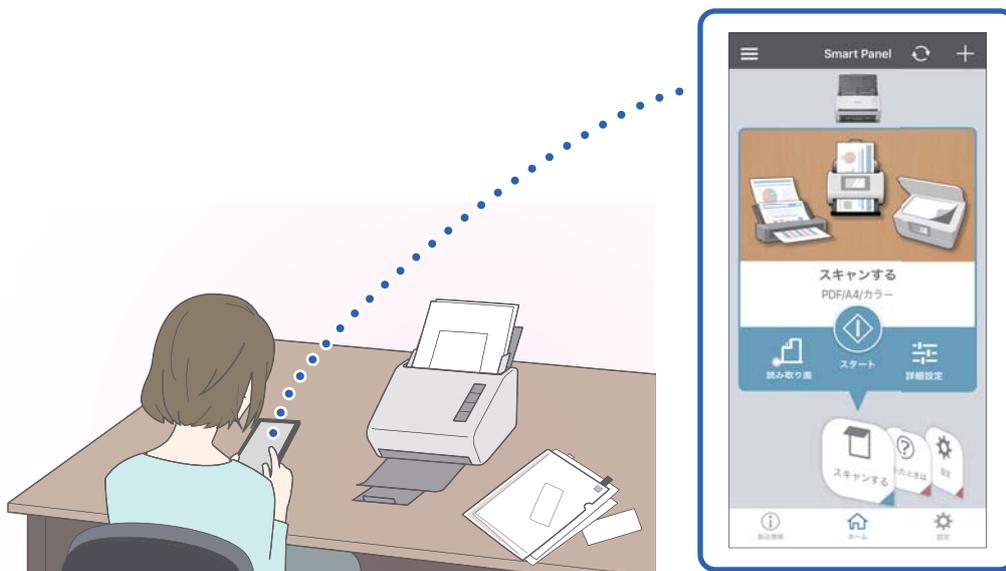
スマートデバイス専用アプリ Epson Smart Panelに対応

直感的に操作できるスマートデバイス専用アプリ Epson Smart Panel



Epson Smart Panelを使って、以下のことができます。

- スマートデバイスからスキャンして、スマートデバイス内にスキャン結果を保存できます。
- スキャンしたデータを簡単にクラウドサービスに転送できます。
- ガイダンスに従うだけでWi-Fiの設定が簡単にできます。
- スマートデバイスでエラー原因や解決方法を参照できます。



関連情報

➔ [「スマートデバイスからスキャンするソフトウェア \(Epson Smart Panel\) 」 25ページ](#)

原稿のダメージを抑える原稿保護機能

本製品には原稿保護機能が搭載されています。ステープラーで留めたままの原稿をスキャンしてしまったときなど、センサーで異常を感知すると読み込みを停止し、紙詰まりによる原稿の破損を防ぎます。



関連情報

➔ [「原稿保護機能を設定する」139ページ](#)

センサー汚れのお知らせ機能

センサーに付いた汚れやホコリでスキャンした画像に筋が出てしまう前に、原稿の読み取りセンサーの汚れを自動で検出して、センサーの清掃を案内します。

センサーを清潔に保つことで、汚れによるスキャンの品質低下を防ぎます。



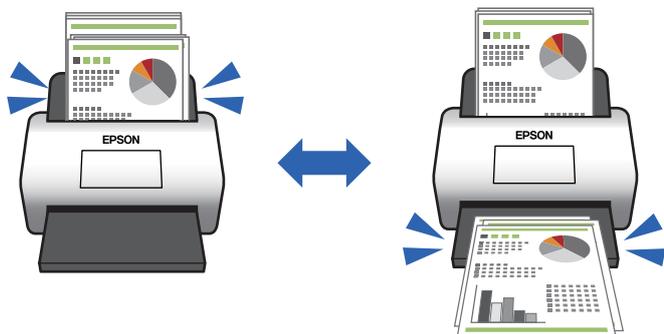
関連情報

➔ [「ガラス面汚れ検知機能を設定する」138ページ](#)

停止タイミングを選べる重送検知機能

スキャン中に複数の原稿が重なったまま給紙されたときに、重送検知機能によりスキャンを停止します。重送を検知すると、瞬時にスキャンを停止するか、原稿を排出してから停止するか、の2種類から選択できます。

例えば、用紙に伝票を貼付してスキャンする場合などに、「原稿排出後」を選択しておく、重送を検知して原稿を排出後に停止しますが、そのまま継続してスキャンすることができます。



関連情報

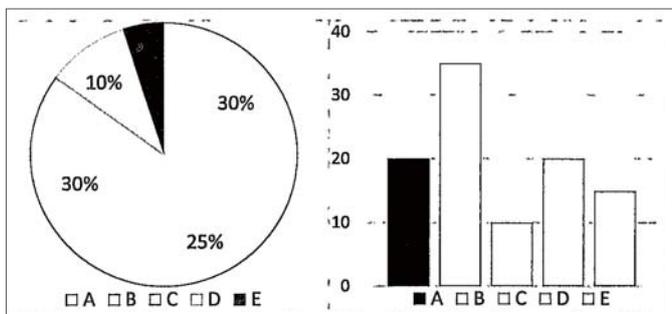
➔ [「重送検知時の動作を設定する」140ページ](#)

原稿の自動判別で高画質スキャンが可能

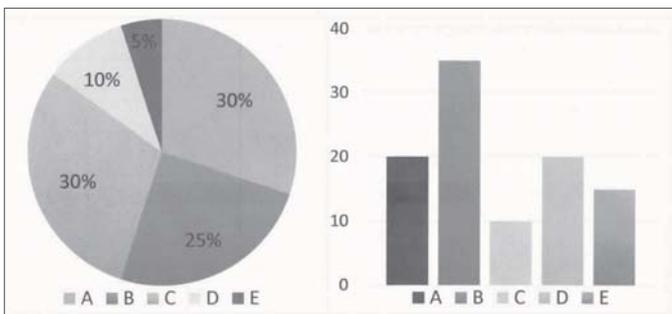
原稿と用途に合わせて、カラー/モノクロだけでなく、カラー/グレー自動判別も設定できます。

カラー/グレー自動判別に設定すると、図表などが含まれたモノクロ原稿をグレースケールで高画質スキャンができます。

カラー/モノクロ



カラー/グレー



関連情報

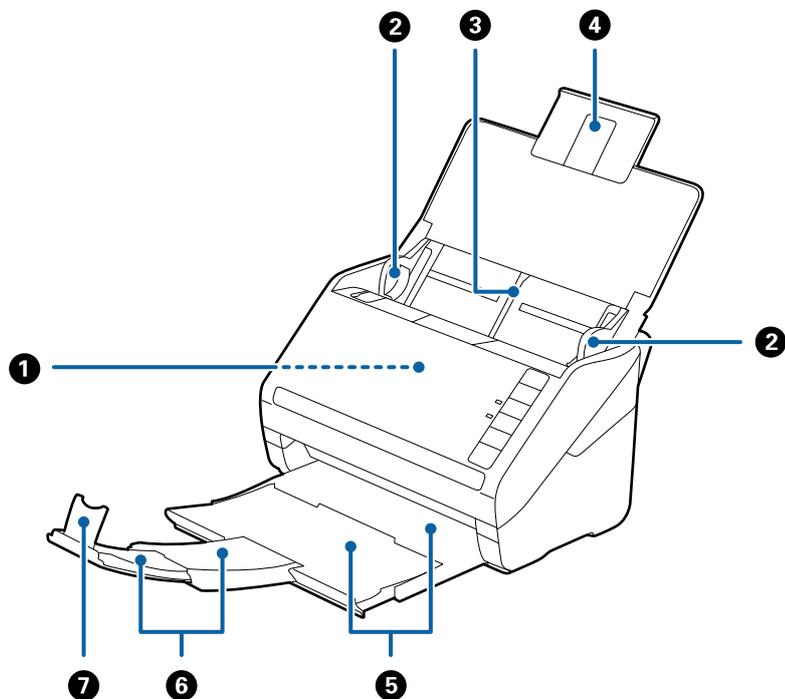
➔ [「スキャナーを制御するソフトウェア \(Epson Scan 2\)」25ページ](#)

スキャナーの基本情報

各部の名称と働き	19
操作パネルのボタンとランプ	21
ソフトウェアの紹介	24
オプションと消耗品の紹介	29

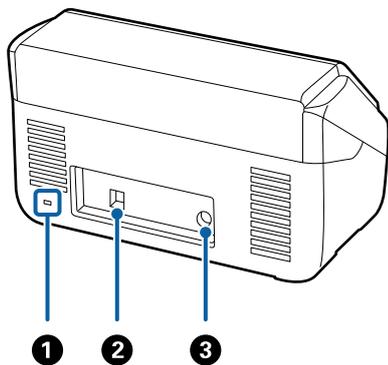
各部の名称と働き

前面



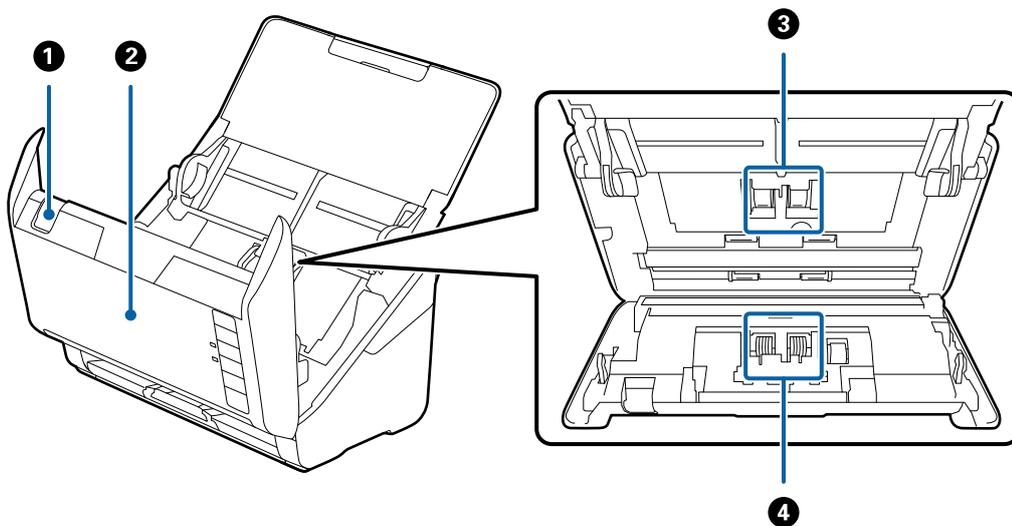
①	ADF (オートドキュメントフィーダー)	セットした原稿を自動で給紙する装置です。
②	原稿ガイド	原稿をまっすぐ給紙するためのガイドです。原稿の両端に合わせてください。
③	給紙トレイ	原稿をセットするところです。原稿がトレイからはみ出るときは、先端の原稿サポートを引き出してください。原稿の反りが抑えられて紙詰まりを防止できます。
④	原稿サポート	
⑤	排紙トレイ	排紙された原稿を保持します。原稿の長さによって拡張トレイを引き出してください。
⑥	拡張排紙トレイ	
⑦	ストッパー	排紙された原稿が排紙トレイから飛び出さないように受け止めます。原稿の長さによって位置を調整してください。

背面



①	セキュリティーロット	盗難を防止するセキュリティーロックを取り付けます。
②	USBポート	USBケーブルを接続します。
③	電源コネクタ	ACアダプターのプラグを接続します。

内部



①	カバー開閉レバー	レバーを引いてスキャナーカバーを開けます。
②	スキャナーカバー	スキャナー内部のクリーニング時や、詰まった原稿を取り除くときに、カバー開閉レバーを引いて開けます。
③	給紙ローラー	原稿を給紙するための部品です。給紙枚数が耐用枚数を超えると、交換が必要です。
④	分離ローラー	原稿を1枚ずつ分離して給紙するための部品です。給紙枚数が耐用枚数を超えると、交換が必要です。

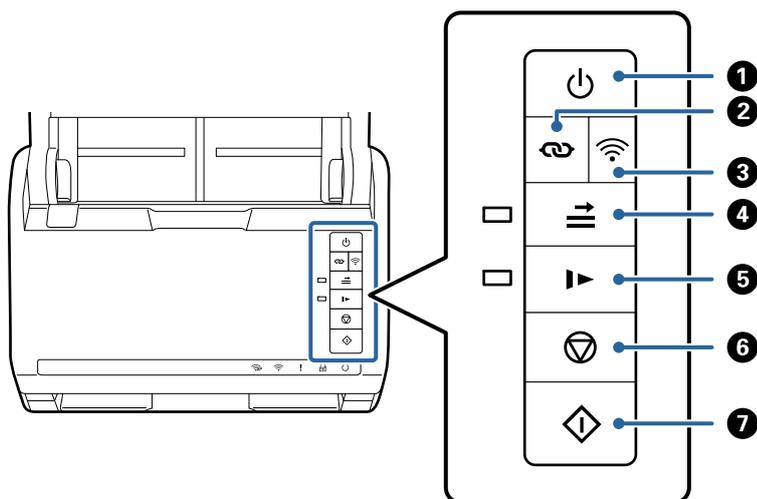
関連情報

➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

➔ 「給紙ローラーキットを交換する」149ページ

操作パネルのボタンとランプ

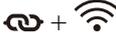
ボタン



①		電源ボタン	電源を入れたり切ったりします。
②		Wi-Fi接続ボタン	アクセスポイントのAOSSまたはWPSボタンによる無線LAN (Wi-Fi) 接続を開始するときに、  ボタンを3秒以上長押しします。詳しくは「ネットワーク設定」の章をご覧ください。  ボタンで設定を中止できます。
③		Wi-Fiオン/オフボタン	無線LAN接続時に3秒以上長押しすると、無線電波を出さないことで接続を無効にします。ボタンを押すと有効になります。
④		重送検知スキップボタン	通常は、封筒やプラスチックカード、ラベルやステッカーを貼り付けた原稿などを給紙すると、原稿が重なっていると判断されて重送エラーになります。このような原稿は、  ボタンを押してからスキャンすると、1回（1枚）だけエラーを回避できます。有効時はランプが点灯します。重送エラーが発生した場合は（エラーランプが点滅）、以下の手順でスキャンを再開してください。 1. スキャナーカバーを開けて、原稿を取り除きます。 2. スキャナーカバーを閉めて、  ボタンを押します。 3. 原稿をセットし直します。 4. スタートボタンまたはソフトウェアのボタンで、スキャンを再開します。

5		低速モードボタン	給紙速度を落としてスキャンします。有効時はランプが点灯します。 以下のような場合にお使いください。 <ul style="list-style-type: none"> • 原稿が頻繁に詰まるとき • 薄手の原稿を給紙するとき
6		ストップボタン	<ul style="list-style-type: none"> • スキャンを中止します。 • 原稿待ち受けモードを終了します。 • アクセスポイントのAOSSまたはWPSボタンによる無線LAN (Wi-Fi) 接続の設定を中止します。 • ネットワーク接続のエラー発生時に押すと、エラーを解除できます。 • ネットワーク接続でのファームウェアの更新を中止します。
7		スタートボタン	<ul style="list-style-type: none"> • スキャンを開始します。 • スキャナー内部のクリーニング時に使います。

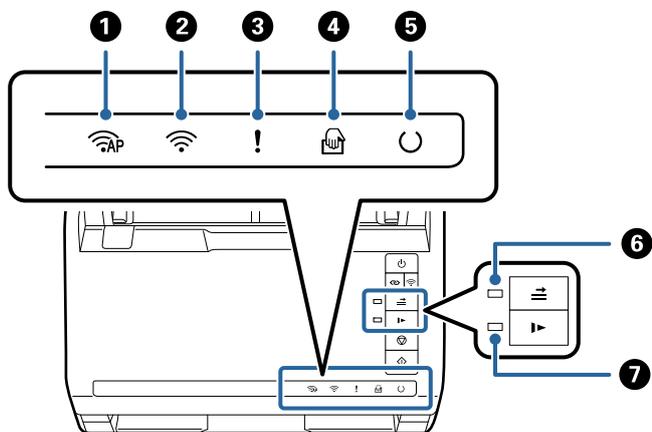
ボタンの組み合わせで実行できる機能があります。

	WPSのPINコード自動設定を開始するときに、  ボタンと  ボタンを同時に3秒以上長押しします。詳しくは「ネットワーク設定」の章をご覧ください。
	 ボタンを押したまま電源を入れると、ネットワークの設定を購入時の状態に戻します。

関連情報

- ➔ [「プラスチックカードをセットする」44ページ](#)
- ➔ [「ラミネート加工されたカードをセットする」47ページ](#)
- ➔ [「封筒をセットする」59ページ](#)
- ➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

ランプ



①		APモードランプ	APモードで無線LANに接続されているときに点灯します。	
②		Wi-Fi ランプ	無線LAN (Wi-Fi) 接続されているときに青色で点灯します。アクセスポイント探索中は白色で点灯します。	
③		エラーランプ	エラーが発生しています。詳しくは「ランプのエラー表示」をご覧ください。	
④		原稿待ち受けモードランプ	原稿待ち受けモード中です。給紙トレイに原稿をセットすると、自動的にスキャンが始まります。	
⑤		レディーランプ	点灯	使用できる状態です。
			点滅	スキャン中、スキャン待機中、処理動作中、スリープ状態です。
			消灯	電源が入っていないか、エラーが発生していて、使用できない状態です。
⑥		重送検知スキップランプ	重送検知スキップの有効時に点灯します。	
⑦		低速モードランプ	低速モード時に点灯します。	

関連情報

- ➔ [「ランプのエラー表示」 23ページ](#)
- ➔ [「異なるサイズの原稿を1枚ずつスキャンする（原稿待ち受けモード）」 97ページ](#)

ランプのエラー表示

スキャナーのエラー

表示	状況	対処方法
 点滅	原稿が詰まったか、重なって給紙されました。	スキャナーカバーを開けて、詰まっている原稿を取り除きます。スキャナーカバーを閉めると、エラーが解除されます。その後、原稿をセットし直してください。
 点灯	スキャナーカバーが開いています。	スキャナーカバーを閉めてください。
 高速点滅  高速点滅  高速点滅  高速点滅	致命的なエラーが発生しました。	電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、販売店にお問い合わせください。

表示	状況	対処方法
 点灯  点灯  点灯  点灯  消灯  点灯  点灯	ファームウェアのアップデート (更新) に失敗したため、リカバリーモードで起動しました。	以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとスキャナーをUSB接続します (リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません)。 2. エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

ネットワーク接続のエラー

表示	状況	対処方法
 点滅  点灯	アクセスポイント設定エラーが発生しました。	 ボタンを押してエラーを解除してください。ネットワーク接続機器の電源を入れ直してから、再度ネットワーク接続の設定をしてください。
 点滅  点滅	アクセスポイント設定エラー (セキュリティーエラー) が発生しました。	
 点滅 (白色)  点滅	ネットワーク通信エラー (日付/時刻が正しく設定されていない) が発生しました。	Web Configで日付/時刻を正しく設定してください。

関連情報

- ➔ [「スキャナーを設定するソフトウェア \(Web Config\) 」 26ページ](#)
- ➔ [「詰まった原稿を取り除く」 169ページ](#)
- ➔ [「スキャナーをネットワークに接続する」 66ページ](#)

ソフトウェアの紹介

対応ソフトウェアを紹介します。最新のソフトウェアは、エプソンのウェブサイトからインストールできます。

書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro / Document Capture)

Document Capture Pro*は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化できるソフトウェアです。

スキャン - 保存 - 送信の一連の動作を、「ジョブ」としてソフトウェアに登録できます。事前に、一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。スキャナーの操作パネルのボタンにジョブを割り当てておくことで、スタートボタンを押すだけでジョブを開始することができます。

詳しい使い方は、Document Capture Pro (Windows) またはDocument Capture (Mac OS) のヘルプをご覧ください。

*Windowsでの名称です。Mac OSでの名称は「Document Capture」です。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Document Capture] の順に選択します。

スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)

Epson Scan 2は、スキャナーを制御するソフトウェア (スキャナードライバー) です。画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

スマートデバイスからスキャンするソフトウェア (Epson Smart Panel)

Epson Smart Panel (エプソン スマートパネル) は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、文書をスキャンできるアプリケーションです。スキャンしたデータは、スマートデバイスやクラウドサービスに保存したり、メールで送信したりできます。

また、無線LANルーターがない場合も、Wi-Fi Direct機能を使って、Wi-Fi機能を持ったスマートデバイスとスキャナーを接続します。

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (EPSON Software Updater)

EPSON Software Updaterはインターネット上で、新しいソフトウェアをインストールしたり、ファームウェアやマニュアルを更新したりするソフトウェアです。定期的に更新情報を確認したい場合は、EPSON Software Updaterの自動更新設定で、更新を確認する間隔を設定することができます。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、 [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、 [すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

スキャナーを設定するソフトウェア (Web Config)

Web Configは、コンピューターやスマートデバイス上の、Internet ExplorerやSafariなどのWebブラウザで起動するソフトウェアです。スキャナーの状況を確認したり、ネットワークサービスやスキャナー設定を変更したりできます。Web Configを使うためには、スキャナーとコンピューター、またはスマートデバイスを同じネットワークに接続してください。

対応しているブラウザは以下の通りです。

Microsoft Edge、Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*、Safari*

* 最新バージョンをお使いください。

関連情報

➔ [\[Web Configにアクセスできない\] 222ページ](#)

ブラウザでWeb Configを起動する

1. コンピューターまたはスマートデバイスでWebブラウザを起動して、スキャナーのIPアドレスを入力します。

書式：

IPv4： http://スキャナーのIPアドレス/

IPv6： http://[スキャナーのIPアドレス]/

例：

IPv4： http://192.168.100.201/

IPv6： http://[2001:db8::1000:1]/

- 参考**
- HTTPSにアクセスするときにスキャナーは自己署名証明を使うため、Web Configを起動すると警告が表示されますが、これは問題ではなく、無視しても安全です。
 - Web Configにアクセスするときに、管理者パスワードを設定していない場合は、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

！重要 ユーザー名とパスワードは忘れないでください。忘れた場合は、エプソンのサービスサポートへの連絡が必要になります。

2. スキャナー設定を変更したいときは、管理者としてログオンしてください。

画面の右上の [管理者ログオン] をクリックします。 [ユーザー名] と [現在のパスワード] を入力し、 [確認] をクリックします。

- 参考** [管理者ログオフ] が画面右上に表示されているときは、すでに管理者としてログオンしています。

関連情報

➔ [「スキャナーのIPアドレスを確認する」68ページ](#)

Windows上でWeb Configを起動する

WSDを使ってコンピューターとスキャナーを接続しているときは、以下の手順で、Web Configを起動してください。

1. コンピューターでスキャナーの一覧を表示します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックし、 [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックし、 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。

2. お使いのスキャナーを右クリックして、 [プロパティ] を選択します。

3. [Web サービス] タブを選んで、URLをクリックします。

HTTPSにアクセスするときにスキャナーは自己署名証明を使うため、Web Configを起動すると警告が表示されますが、これは問題ではなく、無視しても安全です。

- 参考** Web Configにアクセスするときに、管理者パスワードを設定していない場合は、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

！重要 ユーザー名とパスワードは忘れないでください。忘れた場合は、エプソンのサービスサポートへの連絡が必要になります。

ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア (EpsonNet Config)

EpsonNet Config (エプソンネット コンフィグ) は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、 [EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、 [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア (Epson Device Admin)

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターやスキャナーの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプをご覧ください。

ドライバーパッケージを作成するソフトウェア (EpsonNet SetupManager)

EpsonNet SetupManagerはスキャナードライバーなどを一括してインストールするためのパッケージを作成するソフトウェアです。このソフトウェアを使って、管理者は1つのソフトウェアパッケージを作成し、グループ中に配布することができます。

詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/

やさしく名刺ファイリングエントリー

やさしく名刺ファイリングエントリーは、エヌジェーケー社製の名刺管理ソフトウェアです。スキャンした名刺の社名や住所、名前、メールアドレスなどを文字認識し、テキストデータに変換して付属のデータベースで管理できます。使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

オプションと消耗品の紹介

キャリアシートの型番

不規則な形の原稿や、傷が付きやすい写真などの原稿をスキャンするときに、キャリアシートに挟んで給紙します。また、A4サイズより大きい原稿も、半分に折ってキャリアシートに挟んで給紙すればスキャンできます。

品名	型番 *1	耐久回数
キャリアシート	DSCST2	3,000回*2

*1 指定の型番以外のキャリアシートは使用できません。

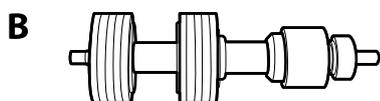
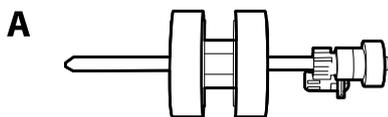
*2 交換周期の目安です。傷の付いたキャリアシートは使用しないでください。

関連情報

- ➔ [「セットできる原稿の基本仕様」 32ページ](#)
- ➔ [「大判原稿をセットする」 50ページ](#)
- ➔ [「不定形の原稿をセットする」 53ページ](#)
- ➔ [「写真をセットする」 56ページ](#)

給紙ローラーキットの型番

スキャン枚数が耐用枚数を超えたときに交換する部品（給紙ローラーと分離ローラー）です。現在のスキャン枚数は、Epson Scan 2ユーティリティで確認できます。



A：給紙ローラー、B：分離ローラー

品名	型番	耐用枚数
給紙ローラーキット	DSA4RKIT4	200,000*

* 弊社の試験原稿用紙を連続してスキャンした場合の数値であり、交換周期の目安です。紙粉の多く出る用紙や表面がざらざらした用紙では耐用枚数が少なくなるなど、お使いの用紙の種類によって交換周期は異なります。

関連情報

- ➔ [「給紙ローラーキットを交換する」149ページ](#)
- ➔ [「ローラーを交換した後、スキャン枚数をリセットする」153ページ](#)

クリーニングキットの型番

スキャナーの内部をクリーニングするときに使用します。クリーナーとクリーニングクロスとのセットです。

品名	型番
クリーニングキット	DSCLKIT1

関連情報

- ➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

セットできる原稿とセット方法

原稿の仕様	32
原稿のセット方法	36

原稿の仕様

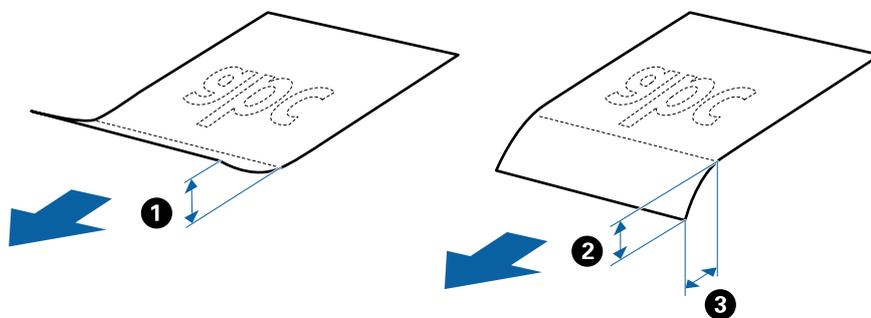
ADFからスキャンできる原稿の仕様を説明します。

セットできる原稿の基本仕様

原稿の種類	厚さ	サイズ
普通紙 上質紙 再生紙 ハガキ 名刺 封筒 プラスチックカード (ISO7810 ID-1 タイプ準拠、エンボス加工品を含む) ラミネート加工されたカード 感熱紙	27~413 g/m ² A8サイズ以下：127~413 g/m ² プラスチックカード：1.24 mm以下 (エンボス加工部を含む) ラミネート加工されたカード：0.8 mm以下	最大：215.9×6,096.0 mm 最小：50.8×50.8 mm セットできるサイズは原稿の種類とスキャンする解像度によって変わります。

参考

- 原稿の先端は平らであること
- 原稿の先端のカーブは以下の条件を満たしていること
 - ① は3 mm以下。
 - ② が③以下の場合、② は1 mm以下。②が1 mmより大きい場合、③ は②の10倍以上。



- ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによってはADFから給紙できないことがあります。また、スキャン品質に影響を及ぼすこともあります。

セットできる定形サイズの内原稿

セットできる定形サイズの内原稿は以下の通りです。

規格	サイズ	厚さ	用紙種類	セット可能な総厚、枚数*
A4	210×297 mm	27～413 g/m ²	普通紙 上質紙 再生紙	総厚：6 mmまで。 80 g/m ² ：50枚 90 g/m ² ：43枚 104 g/m ² ：37枚 127 g/m ² ：31枚 157 g/m ² ：25枚 209 g/m ² ：19枚 256 g/m ² ：15枚 413 g/m ² ：9枚 枚数は紙種や厚さによって異なります。
レター	215.9×279.4 mm			
リーガル	215.9×355.6 mm			
B5	182×257 mm			
A5	148×210 mm			
B6	128×182 mm			
A6	105×148 mm			
A8	52×74 mm	127～413 g/m ²		
名刺	55×89 mm	210 g/m ²		総厚：6 mmまで。 15枚
ハガキ	100×148 mm	190 g/m ²	普通紙 インクジェット紙 インクジェット写真用	総厚：6 mmまで。 20枚

* スキャン中に総厚までの原稿を補充できます。

セットできる長尺紙

セットできる長尺紙（垂れ幕や横断幕などの帯状の原稿）は以下の通りです。

サイズ	厚さ	用紙種類	セット可能枚数
最大幅215.9 mm 最大長6,096.0 mm*	50～130 g/m ²	普通紙 上質紙 再生紙	1枚

* スキャン解像度別の最大長は以下の通りです。

- 50～200 dpi：6,096.0 mm
- 201～300 dpi：5,461.0 mm
- 301～600 dpi：1,346.0 mm

 **参考** Epson Smart Panelでは、長尺紙のスキャンはできません。

セットできるプラスチックカード

セットできるプラスチックカードは以下の通りです。

サイズ	エンボス加工	厚さ	セット可能枚数	セット方向
ISO7810 ID-1 タイプ準拠 54.0×85.6 mm	あり	1.24 mm以下	1枚	横方向
	なし	0.76 mm～1.1 mm*	5枚	
		0.76 mm未満	5枚	

*解像度を300 dpi以下で、[低速モード] モードを無効にしているときのみ、スキャンできます。

セットできるラミネート加工されたカード

セットできるラミネート加工されたカードは以下の通りです。

サイズ	厚さ	セット可能枚数
120.0×150.0 mm以下	0.8 mm以下	1枚

 参考 Epson Smart Panelでは、ラミネート加工されたカードのスキャンはできません。

キャリアシートを使ってスキャンする原稿

キャリアシート（別売品）は原稿を挟んでスキャンするためのシートです。A4またはレターサイズより大きい原稿、傷つけたくない重要書類や写真、薄紙、不規則な形の原稿などをスキャンするときに使います。

キャリアシートにセットしてスキャンする原稿は以下の通りです。

原稿の種類	サイズ	厚さ	セット可能キャリアシート枚数
スキャナーに直接セットできない原稿	A3*1 A4 B4*1 レター リーガル*1 B5 A5 B6 A6 A8 ユーザー定義サイズ： <ul style="list-style-type: none"> • 幅：431.8 mmまで*2 • 長さ：297 mmまで*3 	0.3 mm以下 (キャリアシートは含めず)	5枚

*1 二つ折りにしてセット

*2 幅が215.9 mmを超える原稿は二つ折りにしてセット

*3 長さが297 mmに近い原稿は、先端をキャリアシートの奥までしっかり差し込んでください。ソフトウェアの[原稿サイズ]で[自動検知]を選択したときに、キャリアシート全長をスキャンしてしまうことがあります。

関連情報

➔ [「キャリアシートの型番」29ページ](#)

セットできる封筒

セットできる封筒は以下の通りです。

規格	サイズ	厚さ	セット可能枚数
長形3号	120×235 mm	0.38 mm以下	5枚
長形4号	90×205 mm		
洋形2号	114×162 mm		
洋形4号	105×235 mm		
洋形7号	92×165 mm		

注意が必要な原稿

以下の原稿はうまくスキャンできないことがあります。

- 表面に凹凸のある原稿
- しわや折り目のある原稿
- ミシン目のある原稿
- ラベルやシールが貼られた原稿
- ノーカーボン紙
- カールした原稿
- コート紙

参考

- ノーカーボン紙にはスキャナー内部のローラーの性能を損なうような化学物質が含まれています。頻りに原稿が詰まる場合は、給紙ローラーや分離ローラーをクリーニングしてください。
- しわのある原稿は、低速モードでスキャンするか、しわを伸ばしてからスキャンすることをお勧めします。
- 破れやすい、またはしわの寄りやすい紙質の原稿は、キャリアシート（別売品）を使ってスキャンしてください。
- 重送と誤認識されてしまう原稿は、（重送検知スキップ）ボタンを押してからスキャンするか、Epson Scan 2の画面で「基本設定」タブの「重送検知」で「なし」を選択してからスキャンしてください。
Document Capture Proをお使いのときは、「スキャン設定」画面で「詳細設定」ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。
- ラベルやシールはしっかり貼り付けられていて、のりがはみ出していないことを確認してください。
- カールした原稿は、カールを伸ばして平らにしてからスキャンしてください。

関連情報

➔ [「スキャナーの基本情報」18ページ](#)

➔ [「メンテナンス」142ページ](#)

スキャンできない原稿

以下の原稿はスキャンしないでください。

- 写真
- 綴じられた原稿（製本物）
- 通帳
- パスポート
- クリアファイル、布、金属箔など、紙でない原稿
- ステープラーの針やクリップなどが付いた原稿
- のりが付いた原稿
- 裂けている原稿
- ひどいしわのある原稿やカールした原稿
- OHPシートなどの透明な原稿
- 裏カーボンのある原稿
- インクが乾いていない原稿
- 付箋紙が貼られた原稿

- 参考**
- 貴重な作品、重要な書類など、傷つけたり汚したりしてはいけない原稿は、直接スキャナーにセットしないでください。原稿にしわができたたり、原稿が破損したりすることがあります。そのような原稿は、キャリアシート（別売品）を使ってスキャンしてください。
 - 写真、裂け目やひどいしわがある原稿、またはひどくカールしている原稿も、キャリアシート（別売品）を使ってスキャンしてください。

関連情報

➔ [「写真原稿」55ページ](#)

原稿のセット方法

定形サイズの前稿

セットできる定形サイズの前稿

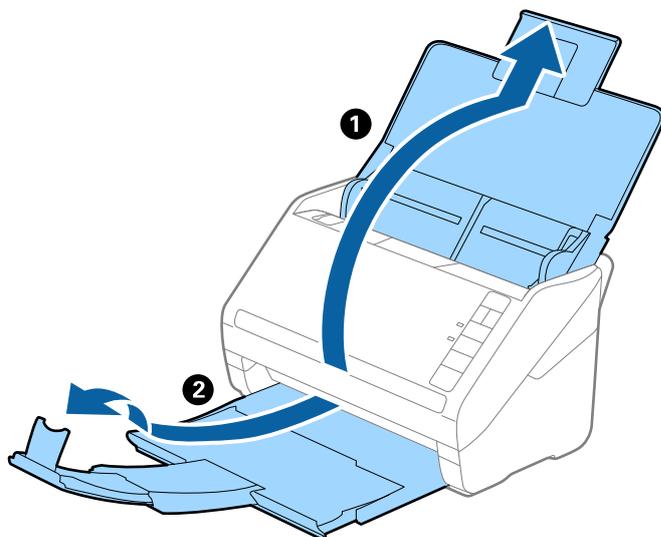
セットできる定形サイズの前稿は以下の通りです。

規格	サイズ	厚さ	用紙種類	セット可能な総厚、枚数*
A4	210×297 mm	27~413 g/m ²	普通紙 上質紙 再生紙	総厚：6 mmまで。 80 g/m ² ：50枚 90 g/m ² ：43枚 104 g/m ² ：37枚 127 g/m ² ：31枚 157 g/m ² ：25枚 209 g/m ² ：19枚 256 g/m ² ：15枚 413 g/m ² ：9枚 枚数は紙種や厚さによって異なります。
レター	215.9×279.4 mm			
リーガル	215.9×355.6 mm			
B5	182×257 mm			
A5	148×210 mm			
B6	128×182 mm			
A6	105×148 mm			
A8	52×74 mm	127~413 g/m ²		
名刺	55×89 mm	210 g/m ²		総厚：6 mmまで。 15枚
ハガキ	100×148 mm	190 g/m ²	普通紙 インクジェット紙 インクジェット写真用	総厚：6 mmまで。 20枚

* スキャン中に総厚までの原稿を補充できます。

定形サイズの原稿をセットする

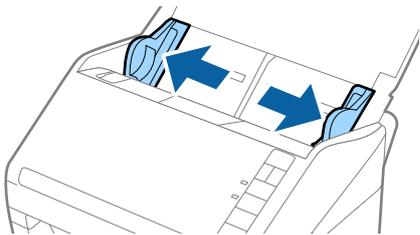
1. 給紙トレイを開けて原稿サポートを引き出します。排紙トレイと拡張排紙トレイを引き出して、ストッパーを起こします。



参考

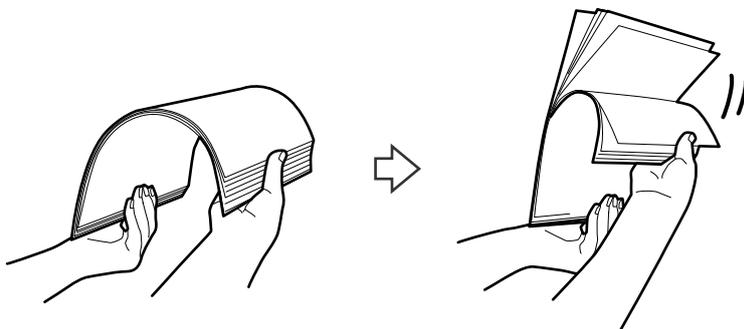
- A4サイズ以上の原稿をスキャンするときは、拡張排紙トレイを引き出してください。
- 排出された原稿がきちんと積み重なるように、排紙トレイと拡張排紙トレイを原稿の長さより多少長めに引き出して、ストッパーを起こしてください。
- ストッパーを拡張排紙トレイ上で前後に動かし、スキャンする原稿の長さに合わせてください。
- 厚い原稿が跳ねて排紙トレイから飛び出してしまう場合には、排紙トレイを使わず、スキャナーが置かれている台の上に直接排出させてください。
- それでも、排出された原稿が台の表面に当たってスキャン画像に影響が出る場合には、スキャナーを台の手前の端に移動し、排出された原稿を直接受け取るようにしてください。

2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。

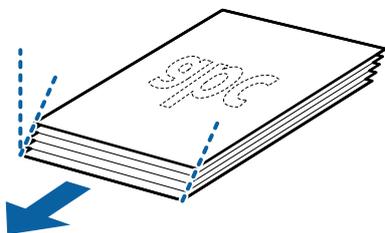


3. 原稿をさばきます。

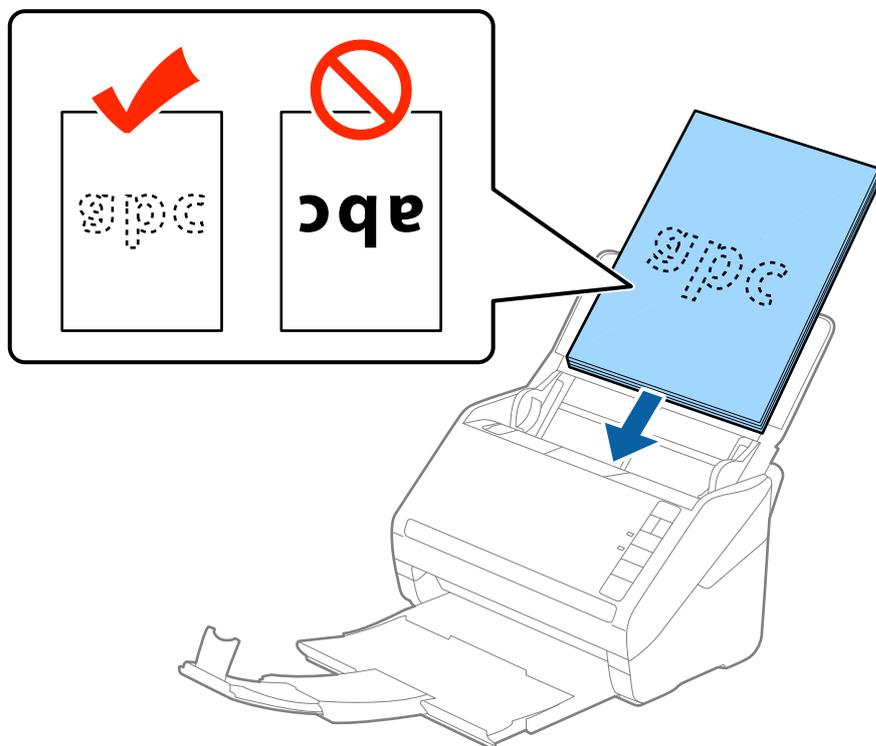
原稿の両端を持って数回さばいてください。



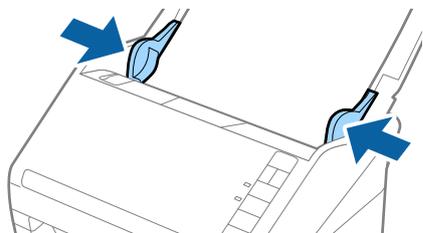
4. 原稿の端を揃えてから、スキャンする面を伏せて、少し斜めにずらして角度を付けます。



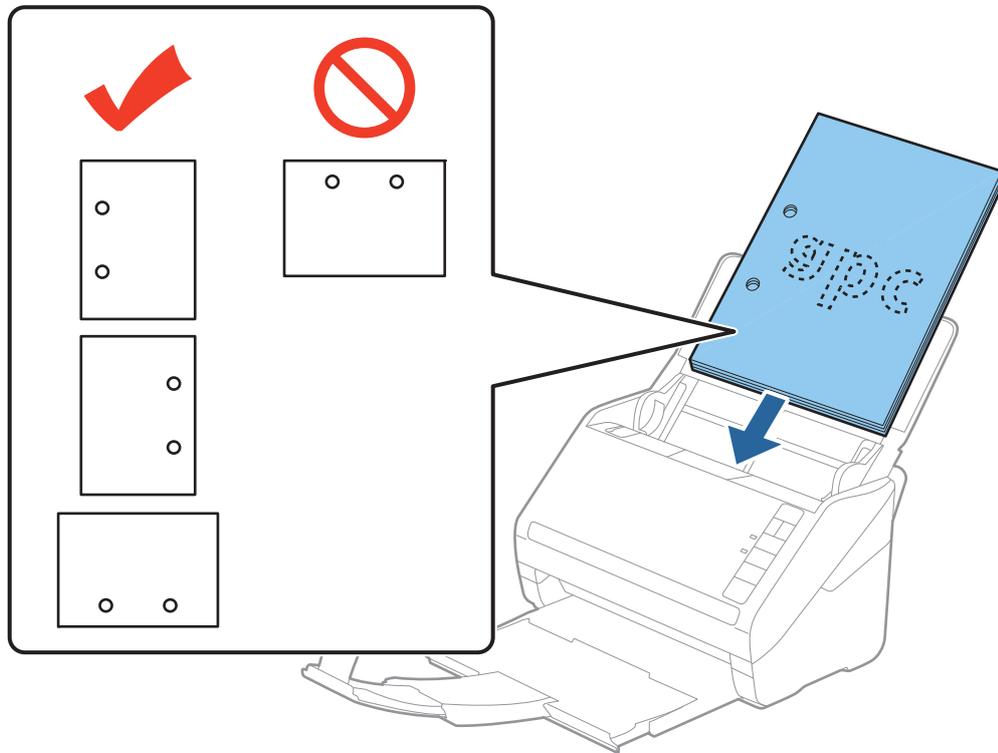
5. 原稿のスキャンする面を伏せて、先端をADFに向けてセットします。
ADFに突き当たるまで挿入してください。



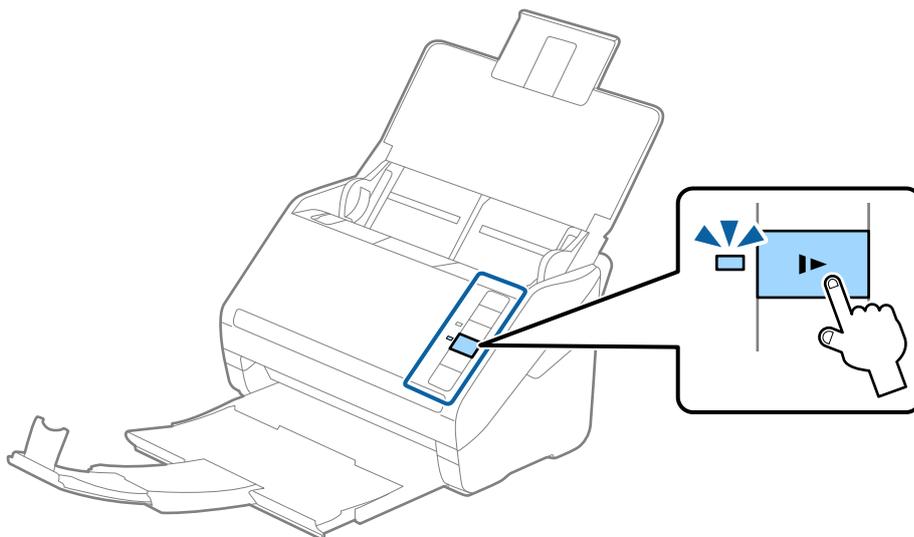
6. 原稿ガイドを、原稿に隙間なく合わせます。隙間があると原稿が斜めに給紙されることがあります。



- 参考**
- ルーズリーフ用紙などのパンチ穴のある原稿は、穴の位置が左右か下側になるようにセットします。原稿幅の中心から左右15mmの範囲（30mm幅）に、穴がないようにセットしてください。ただし、原稿の先端から30mmの範囲に穴があっても構いません。パンチ穴の周りにバリや反りがないことを確認してください。



- しわのある原稿をスキャンしていて、頻繁に紙詰まりや原稿が重なって給紙されるときは、▶▶（低速モード）ボタンを押して給紙する速度を遅くすると、状況が改善できることがあります。▶▶（低速モード）ボタンを1回押すと給紙速度が遅くなり、もう1回押すと元の速度に戻ります。



長尺紙

セットできる長尺紙

セットできる長尺紙（垂れ幕や横断幕などの帯状の原稿）は以下の通りです。

サイズ	厚さ	用紙種類	セット可能枚数
最大幅215.9 mm 最大長6,096.0 mm*	50～130 g/m ²	普通紙 上質紙 再生紙	1枚

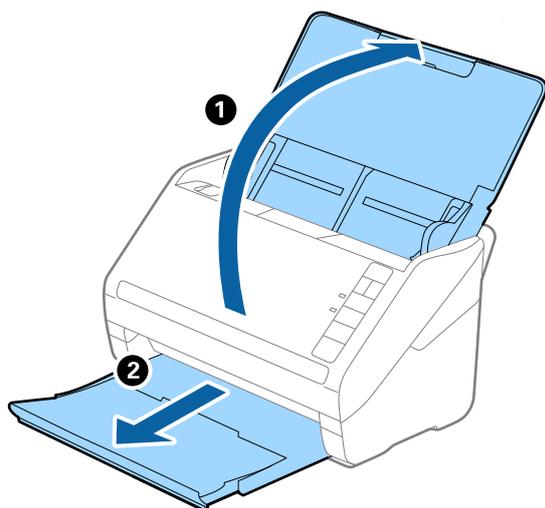
* スキャン解像度別の最大長は以下の通りです。

- 50～200 dpi : 6,096.0 mm
- 201～300 dpi : 5,461.0 mm
- 301～600 dpi : 1,346.0 mm

参考 Epson Smart Panelでは、長尺紙のスキャンはできません。

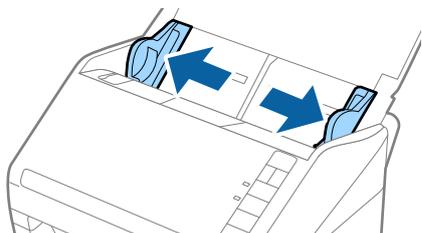
長尺紙をセットする

1. 給紙トレイを開けて、排紙トレイを引き出します。

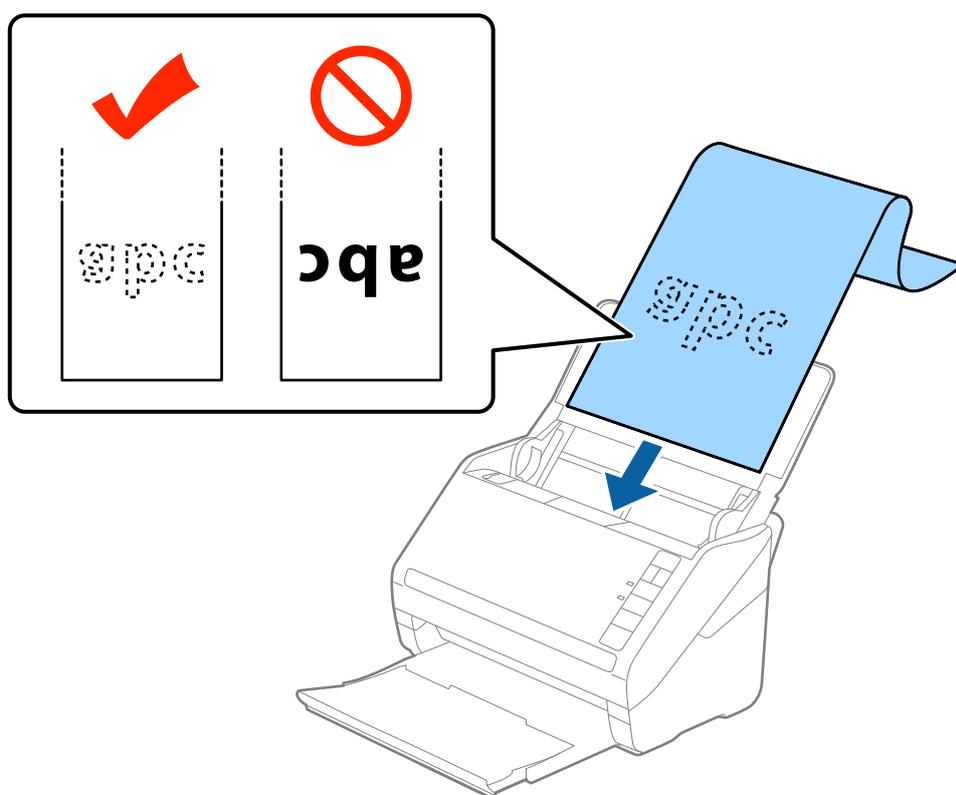


参考 原稿サポートや拡張排紙トレイは引き出さず、ストッパーも起こさないでください。

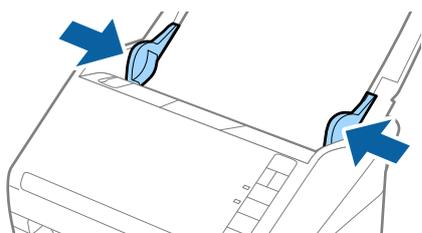
2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。



3. 原稿のスキャンする面を伏せて、先端をADFに向けてまっすぐにセットします。
ADFに突き当たるまで挿入してください。

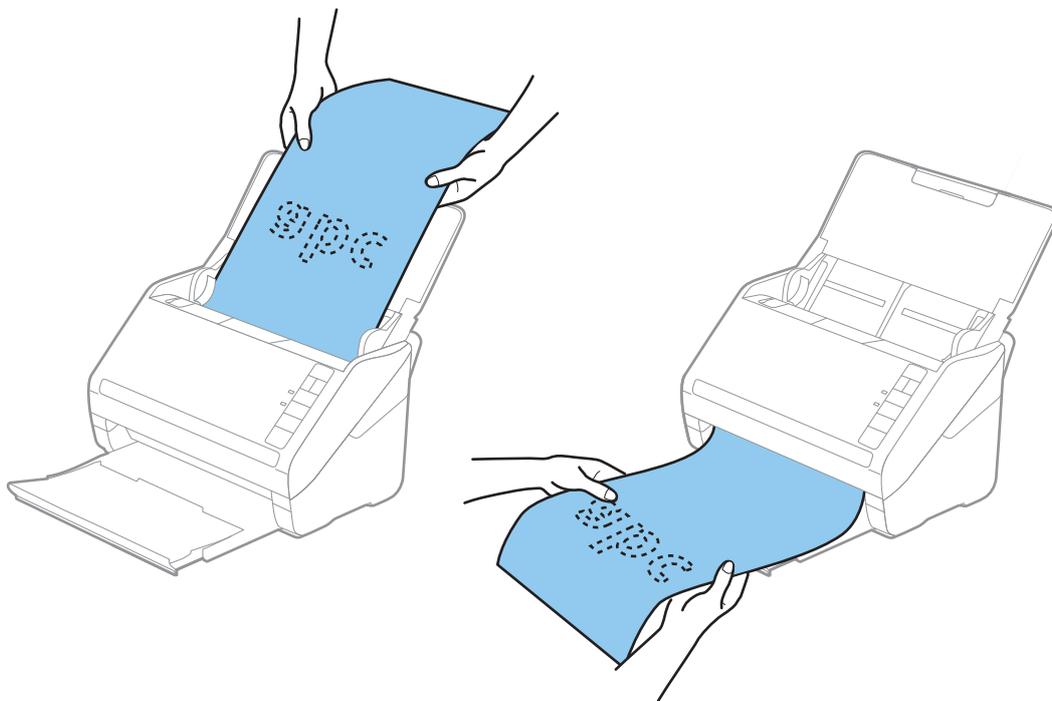


4. 原稿ガイドと長尺紙の間に隙間がないように、原稿ガイドを長尺紙にぴったり合わせます。隙間があると原稿が斜めに給紙されることがあります。



参考

- スキャン解像度別の最大長は以下の通りです。
 - ・ 50 ~ 200 dpi : 6,096.0 mm
 - ・ 201 ~ 300 dpi : 5,461.0 mm
 - ・ 301 ~ 600 dpi : 1,346.0 mm
- Epson Scan 2の画面で原稿サイズを指定する必要があります。
Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定]画面で[詳細設定]ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。
Epson Scan 2でのサイズの指定方法は3通りあり、長さが3,048 mm以下の場合、サイズを自動で検知する[自動検知(長尺)]が選択できます。
長さが3,048 mmを超える場合は、[ユーザー定義サイズ]を選択して長さ幅を指定します。長さが5,461 mm以下の場合、長さだけ自動で判別する[原稿の長さに合わせる]が選択できます。5,461 mmより長い原稿の場合は、長さ幅の両方を指定します。
- 長尺紙のスキャン時は、品質確保のため自動的にスキャン速度が低下します。
- 長尺紙のスキャン時は、長尺紙がADFから抜け落ちたり、排紙トレイにたまって詰まったり落下したりしないように、両端を手で支えてください。



関連情報

➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」86ページ](#)

プラスチックカード

セットできるプラスチックカード

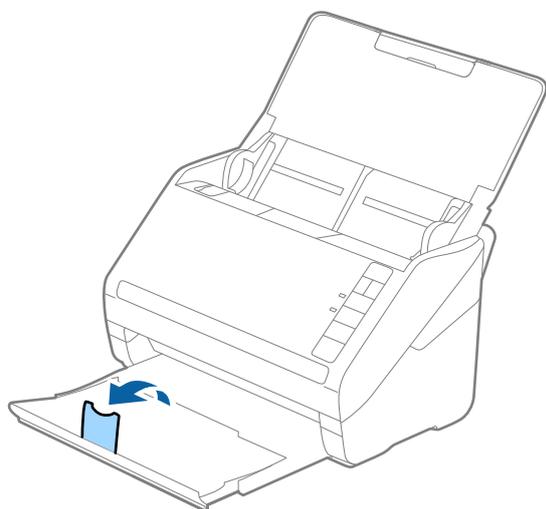
セットできるプラスチックカードは以下の通りです。

サイズ	エンボス加工	厚さ	セット可能枚数	セット方向
ISO7810 ID-1 タイ 標準 54.0×85.6 mm	あり	1.24 mm以下	1枚	横方向
	なし	0.76 mm～1.1 mm*	5枚	
		0.76 mm未満	5枚	

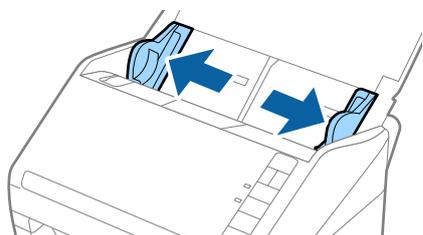
*解像度を300 dpi以下で、[低速モード] モードを無効にしているときのみ、スキャンできます。

プラスチックカードをセットする

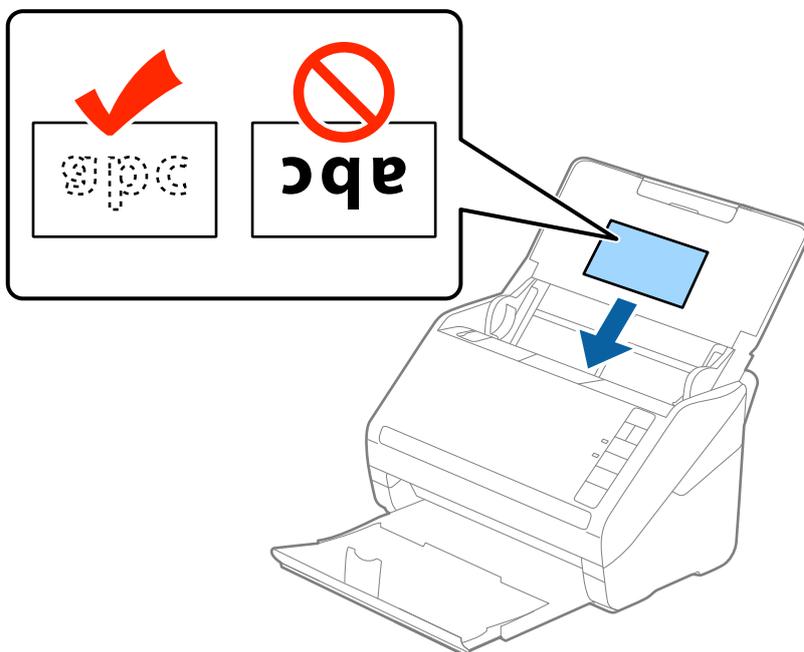
1. 給紙トレイを開け、排紙トレイを引き出してストッパーを起こします。



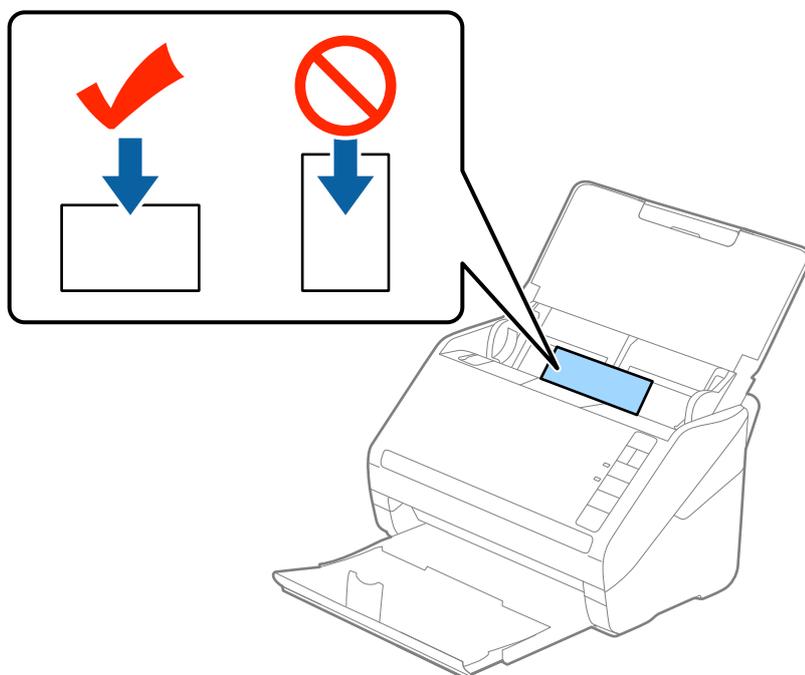
2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。



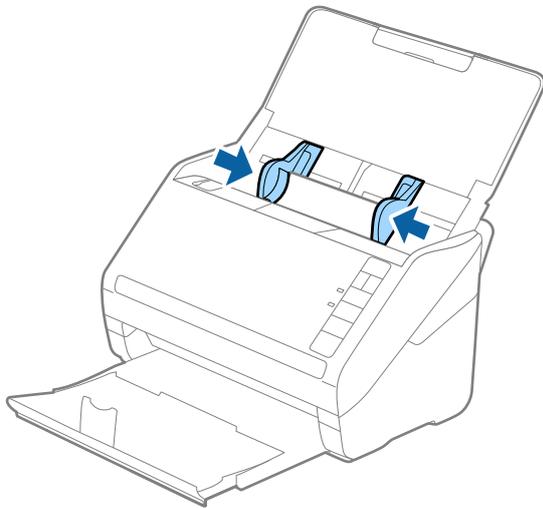
3. カードのスキャンする面を伏せて、上端をADFに向けてセットします。
ADFに突き当たるまで挿入してください。



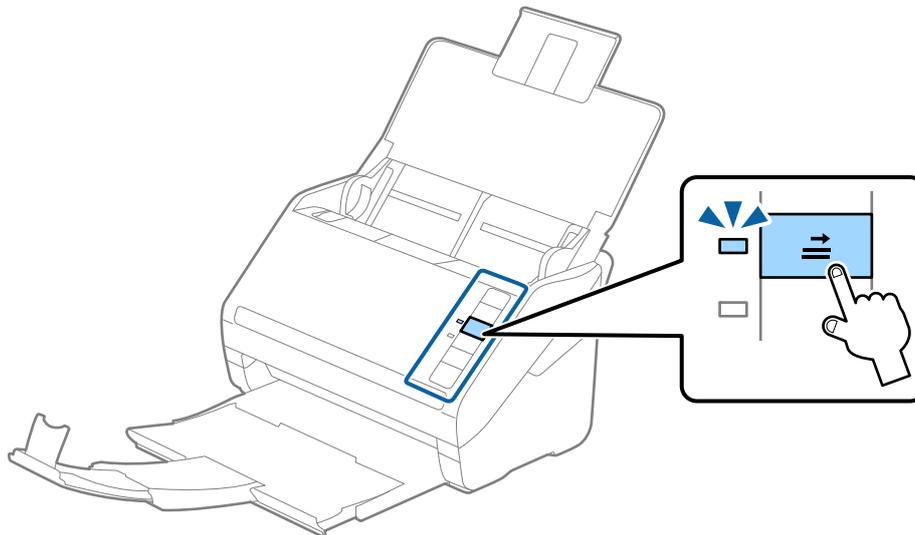
！重要 プラスチックカードは縦長方向にセットしないでください。



4. 原稿ガイドをカードに合わせます。



参考 プラスチックカードをスキャンするときは、Epson Scan 2の画面で設定が必要です。
Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。
Epson Scan 2の [基本設定] タブの [原稿サイズ] で [プラスチックカード] を選択するか、[重送検知] で [なし] を選択してください。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
もし、Epson Scan 2で [重送検知] を無効にせず重送エラーになったときは、ADFからカードを取り出してセットし直し、 (重送検知スキップ) ボタンを押して、[重送検知] を次のスキャンだけ無効にしてからスキャンしてください。 (重送検知スキップ) ボタンは1枚分のスキャンだけ [重送検知] を無効にできます。



関連情報

➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」 86ページ](#)

ラミネート加工されたカード

セットできるラミネート加工されたカード

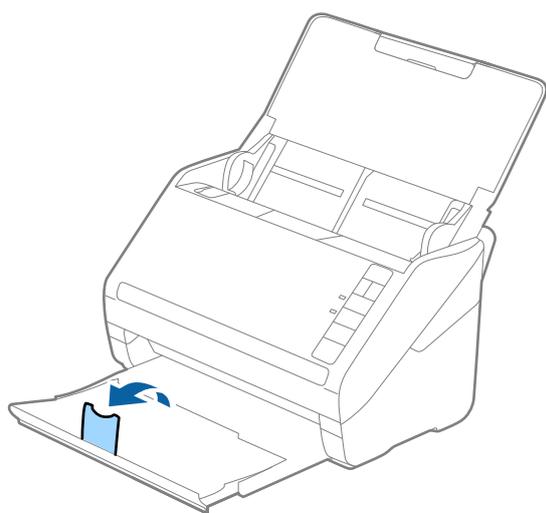
セットできるラミネート加工されたカードは以下の通りです。

サイズ	厚さ	セット可能枚数
120.0×150.0 mm以下	0.8 mm以下	1枚

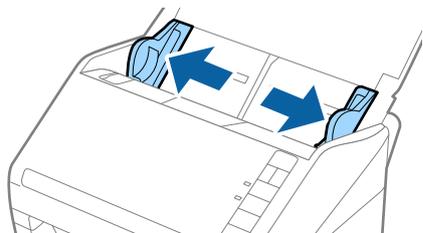
参考 Epson Smart Panelでは、ラミネート加工されたカードのスキャンはできません。

ラミネート加工されたカードをセットする

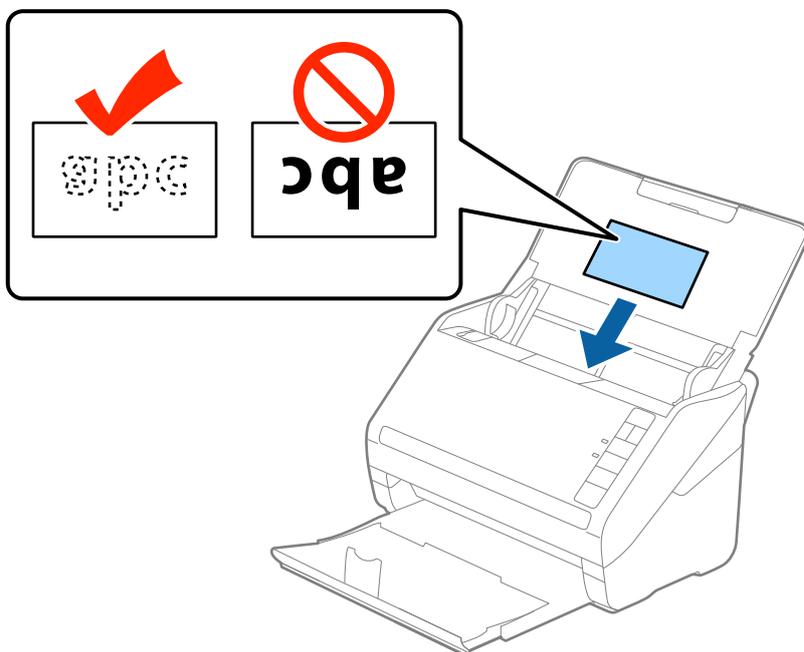
1. 給紙トレイを開け、排紙トレイを引き出してストッパーを起こします。



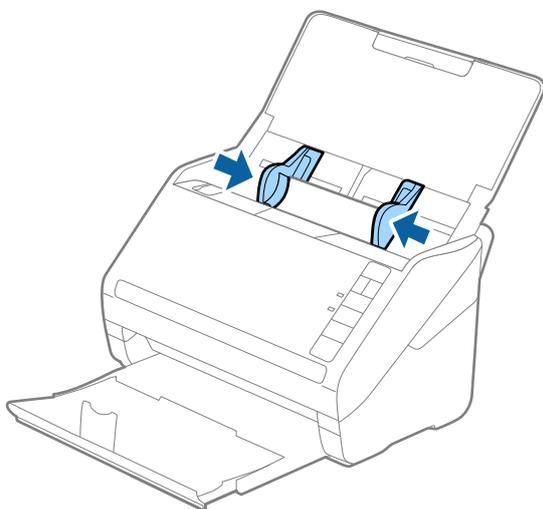
2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。



3. カードのスキャンする面を伏せて、上端をADFに向けてセットします。
ADFに突き当たるまで挿入してください。

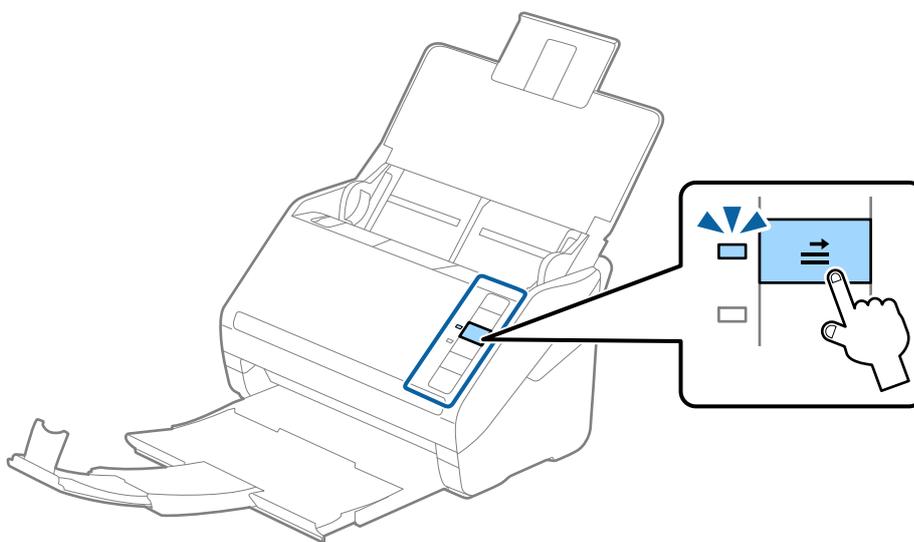


4. 原稿ガイドをカードに合わせます。



参考 ラミネート加工されたカードをスキャンするときは、Epson Scan 2の画面で設定が必要です。Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。

- ラミネート加工されたカードのスキャン時は、Epson Scan 2の [基本設定] タブの [設定] 画面で、[ラミネートカード優先] を選択して、自動サイズ検知の精度を上げます。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
- Epson Scan 2の [基本設定] タブで、[重送検知] を [なし] にしてください。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
もし、Epson Scan 2で [重送検知] を無効にせず重送エラーになったときは、ADFからカードを取り出してセットし直し、 (重送検知スキップ) ボタンを押して、[重送検知] を次のスキャンだけ無効にしてからスキャンしてください。 (重送検知スキップ) ボタンは1枚分のスキャンだけ [重送検知] を無効にできます。



関連情報

➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」 86ページ](#)

大判原稿

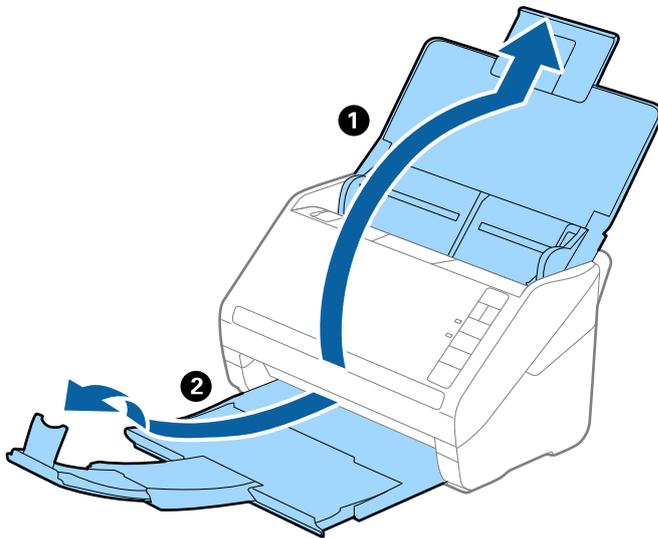
セットできる大判原稿

A4サイズより大きいA3やB4サイズの原稿は、二つ折りにしてキャリアシート（別売品）に挟んでスキャンします。

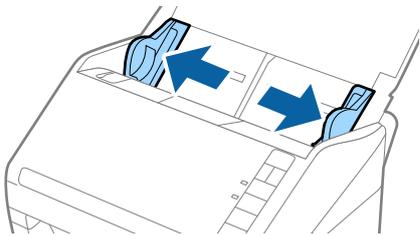
サイズ	厚さ	用紙種類	セット可能キャリアシート枚数
A3まで	0.3 mm以下 (キャリアシートは含めず)	普通紙 上質紙 再生紙	5枚

大判原稿をセットする

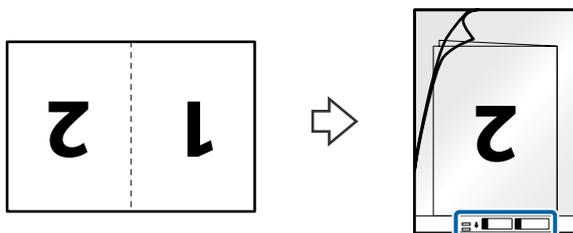
1. 給紙トレイを開けて原稿サポートを引き出します。排紙トレイと拡張排紙トレイを引き出して、ストッパーを起こします。



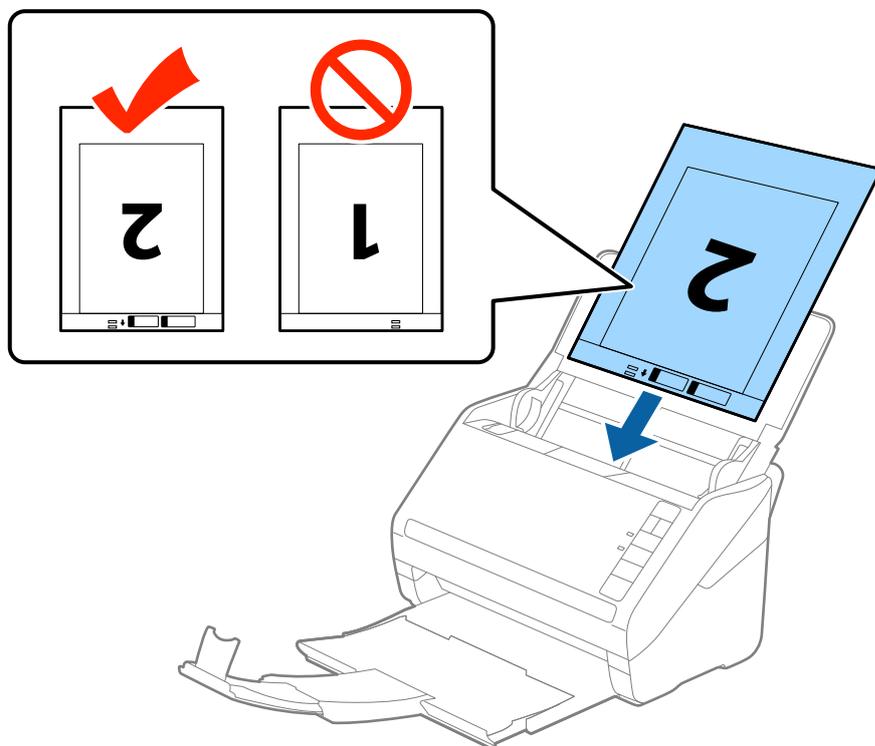
2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。



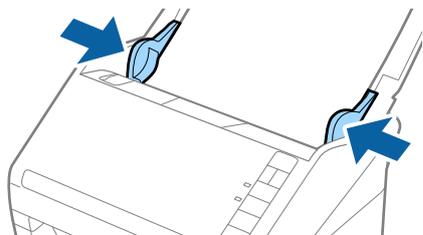
3. 原稿のスキャンする面が外側になるように二つ折りにします。キャリアシートの先端に絵がある面に、原稿の「2」の面を向けて挟みます。



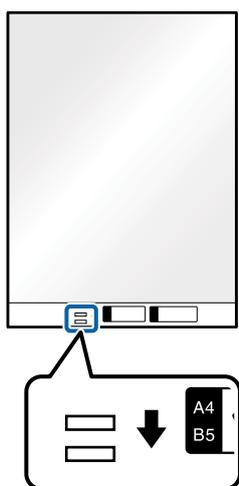
4. キャリアシートの先端をADFに向けてセットします。
ADFに突き当たるまで挿入してください。



5. 原稿ガイドを、キャリアシートに隙間なく合わせます。隙間があるとキャリアシートが斜めに給紙されることがあります。



- 参考**
- 傷の付いたキャリアシートや、3,000回以上スキャンしたキャリアシートは使用しないでください。
 - 両面をスキャンして貼り合わせた画像にするには、Epson Scan 2の[読み取り面]で[両面]を選択し、[貼り合わせ]で[左右]を選択します。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
 - キャリアシートのスキャン時に、Epson Scan 2の[原稿サイズ]で[自動検知]を選択すると、自動で[書類の傾き補正]の[給紙時の傾き]が適用されます。
 - 長さが297mmに近い原稿は、先端をキャリアシートの奥までしっかり差し込んでください。Epson Scan 2の[原稿サイズ]で[自動検知]を選択したときに、キャリアシート全長をスキャンしてしまうことがあります。
 - お使いのスキャナー専用のキャリアシートを使用してください。キャリアシートは先端の2つの四角い穴により検知されます。キャリアシートの穴を塞いだり汚したりしないでください。



関連情報

- ➔ [「キャリアシートの型番」 29ページ](#)
- ➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」 86ページ](#)

不定形の原稿

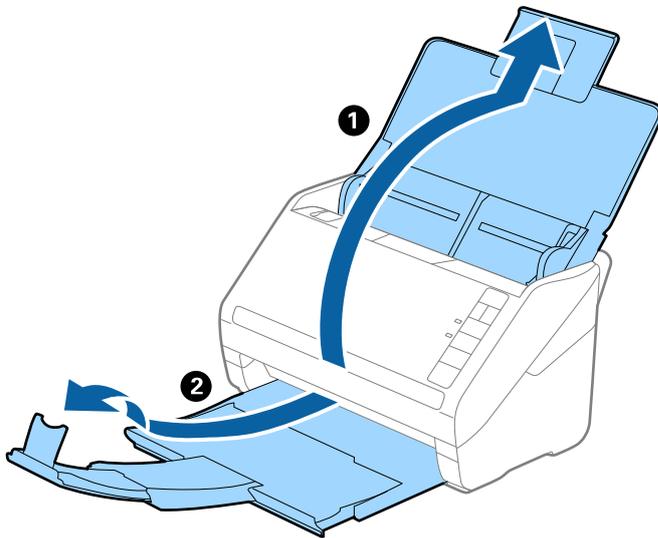
セットできる不定形の原稿

不規則な形の原稿、しわのある原稿、カールした原稿、薄手の原稿などは、キャリアシート（別売品）に挟んでスキャンします。

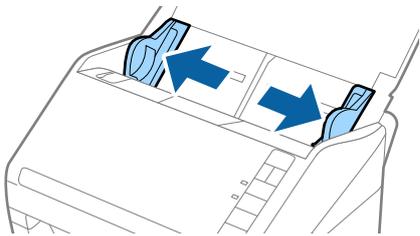
サイズ	厚さ	セット可能キャリアシート枚数
A4まで	0.3 mm以下 (キャリアシートは含めず)	5枚

不定形の原稿をセットする

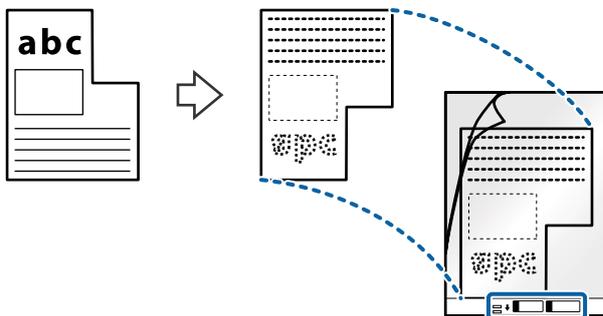
1. 給紙トレイを開けて原稿サポートを引き出します。排紙トレイと拡張排紙トレイを引き出して、ストッパーを起こします。



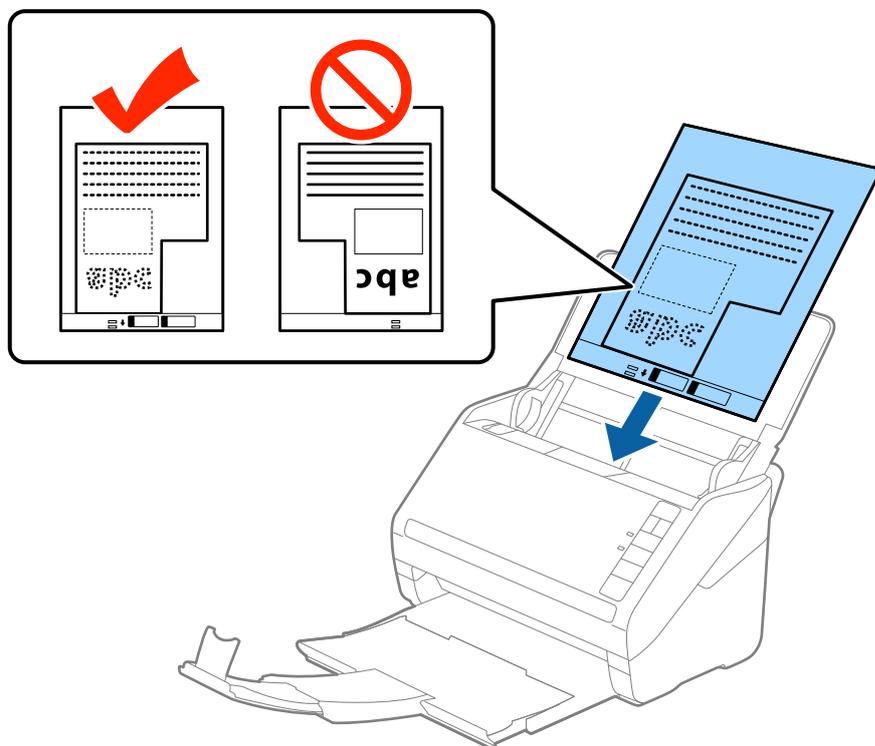
2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。



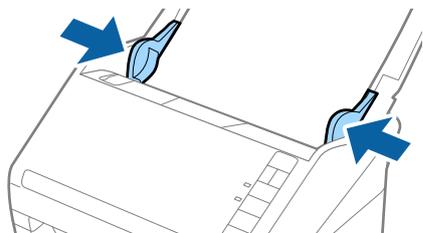
3. キャリアシートの先端に絵がある面に対して、原稿のスキャンする面を伏せて、中央に挟みます。



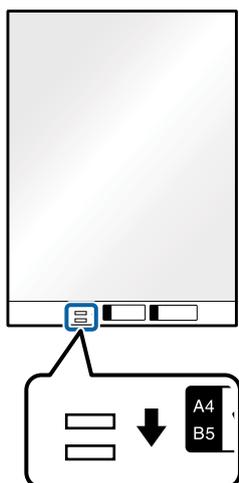
4. キャリアシートの先端をADFに向けてセットします。
ADFに突き当たるまで挿入してください。



5. 原稿ガイドを、キャリアシートに隙間なく合わせます。隙間があるとキャリアシートが斜めに給紙されることがあります。



- 参考**
- 傷の付いたキャリアシートや、3,000回以上スキャンしたキャリアシートは使用しないでください。
 - Epson Scan 2の「原稿サイズ」の一覧に、スキャンする原稿のサイズがないときは、「自動検知」を選択するか、「ユーザー定義サイズ」で原稿サイズを指定してください。
キャリアシートのスキャン時に、Epson Scan 2の「原稿サイズ」で「自動検知」を選択すると、自動で「書類の傾き補正」の「給紙時の傾き」が適用されます。
 - お使いのスキャナー専用のキャリアシートを使用してください。キャリアシートは先端の2つの四角い穴により検知されます。キャリアシートの穴を塞いだり汚したりしないでください。



関連情報

- ➔ [「キャリアシートの型番」 29ページ](#)
- ➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」 86ページ](#)

写真原稿

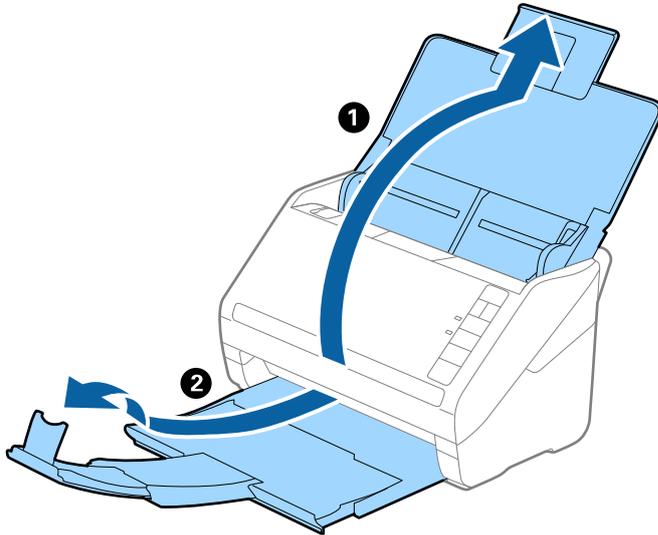
セットできる写真

貴重な作品や写真、重要な書類など、傷つけたり汚したりしてはいけない原稿は、キャリアシート（別売品）に挟んでスキャンします。

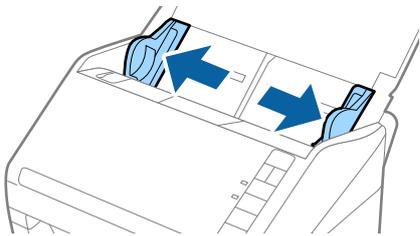
サイズ	厚さ	セット可能キャリアシート枚数
A4まで	0.3 mm以下 (キャリアシートは含めず)	5枚

写真をセットする

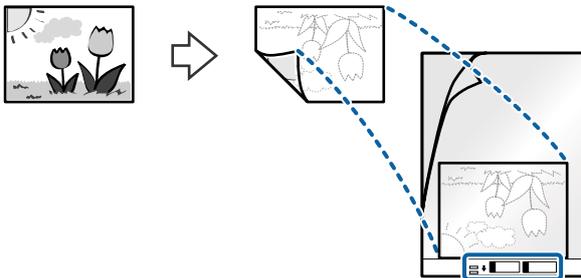
1. 給紙トレイを開けて原稿サポートを引き出します。排紙トレイと拡張排紙トレイを引き出して、ストッパーを起こします。



2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。

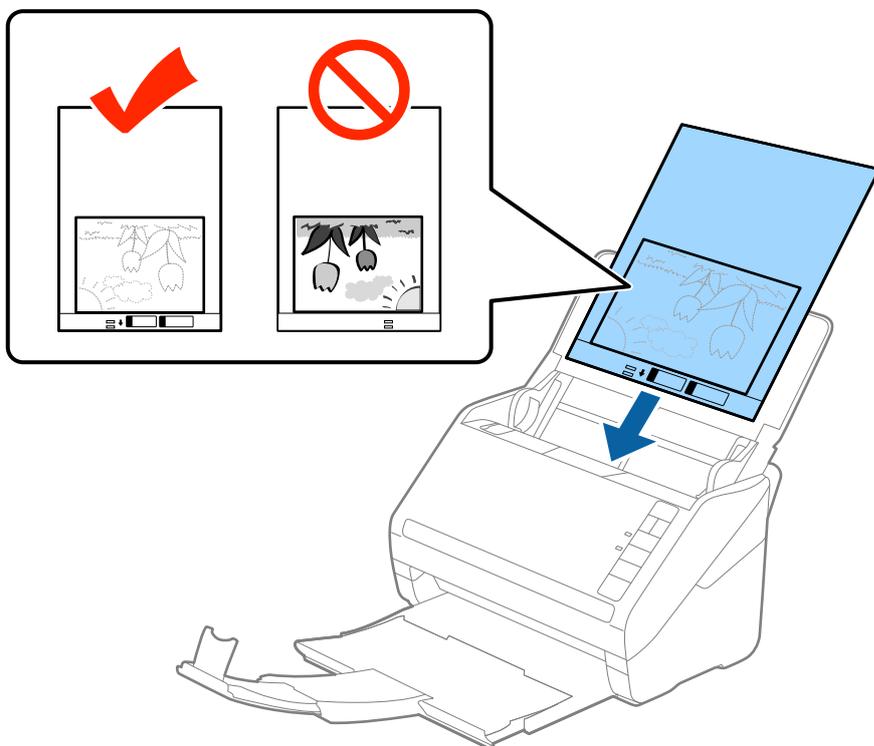


3. キャリアシートの先端に絵がある面に対して、原稿のスキャンする面を伏せて、中央に挟みます。

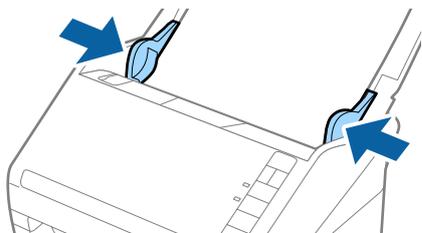


4. キャリアシートの先端をADFに向けてセットします。

ADFに突き当たるまで挿入してください。

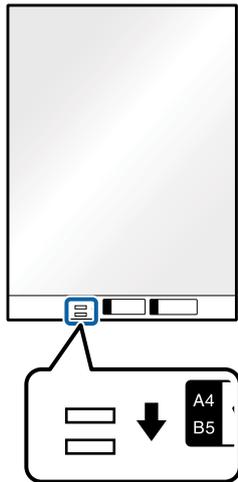


5. 原稿ガイドを、キャリアシートに隙間なく合わせます。隙間があるとキャリアシートが斜めに給紙されることがあります。



参考

- 傷の付いたキャリアシートや、3,000回以上スキャンしたキャリアシートは使用しないでください。
- Epson Scan 2の [原稿サイズ] の一覧に、スキャンする原稿のサイズがないときは、 [自動検知] を選択するか、 [ユーザー定義サイズ] で原稿サイズを指定してください。
キャリアシートのスキャン時に、Epson Scan 2の [原稿サイズ] で [自動検知] を選択すると、自動で [書類の傾き補正] の [給紙時の傾き] が適用されます。
- 写真をキャリアシートに挟んだまま放置しないでください。
- お使いのスキャナー専用のキャリアシートを使用してください。キャリアシートは先端の2つの四角い穴により検知されます。キャリアシートの穴を塞いだり汚したりしないでください。



関連情報

- ➔ [「キャリアシートの型番」 29ページ](#)
- ➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」 86ページ](#)

封筒

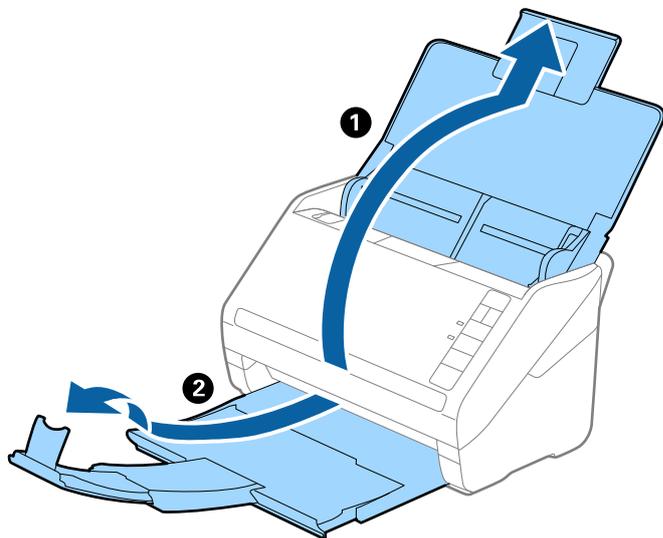
セットできる封筒

セットできる封筒は以下の通りです。

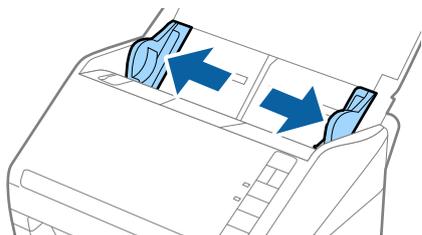
規格	サイズ	厚さ	セット可能枚数
長形3号	120×235 mm	0.38 mm以下	5枚
長形4号	90×205 mm		
洋形2号	114×162 mm		
洋形4号	105×235 mm		
洋形7号	92×165 mm		

封筒をセットする

1. 給紙トレイを開けて原稿サポートを引き出します。排紙トレイと拡張排紙トレイを引き出して、ストッパーを起こします。

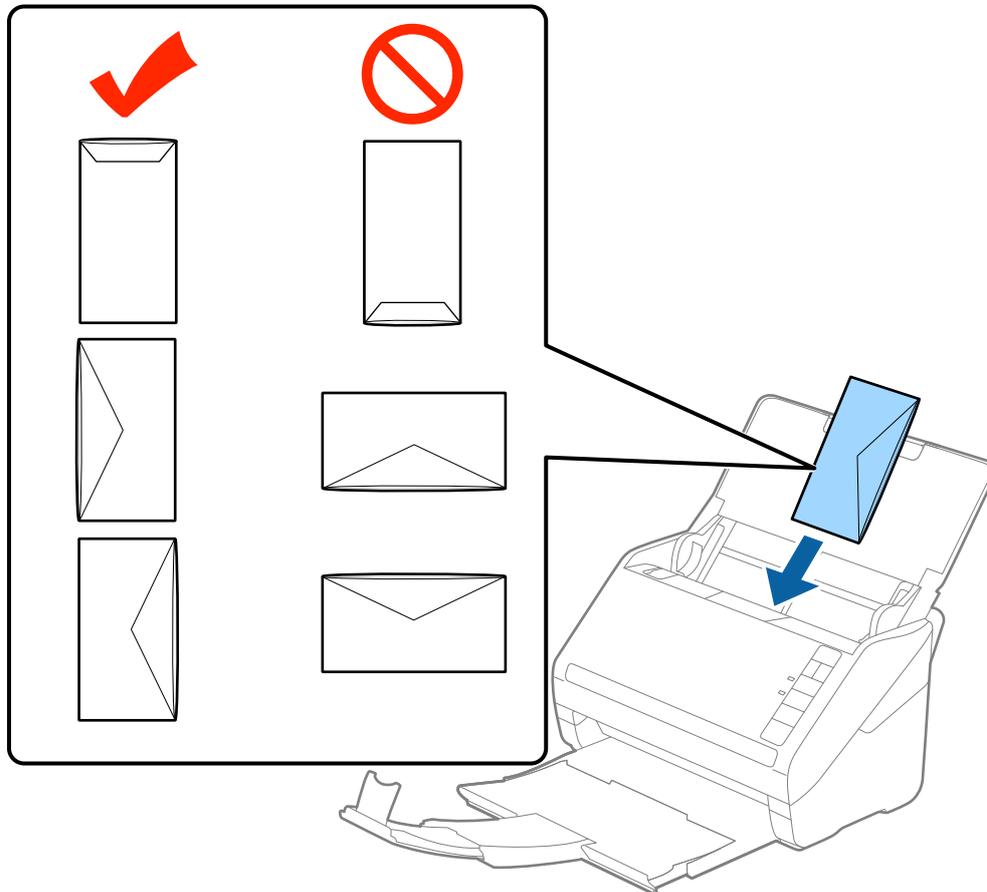


2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。



3. 封筒のスキャンする面を伏せて、縦長方向にセットします。封筒の短辺に開封部（フラップ部）がある場合は、開封部を上に戻します。

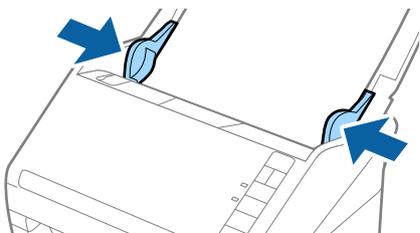
ADFに突き当たるまで挿入してください。



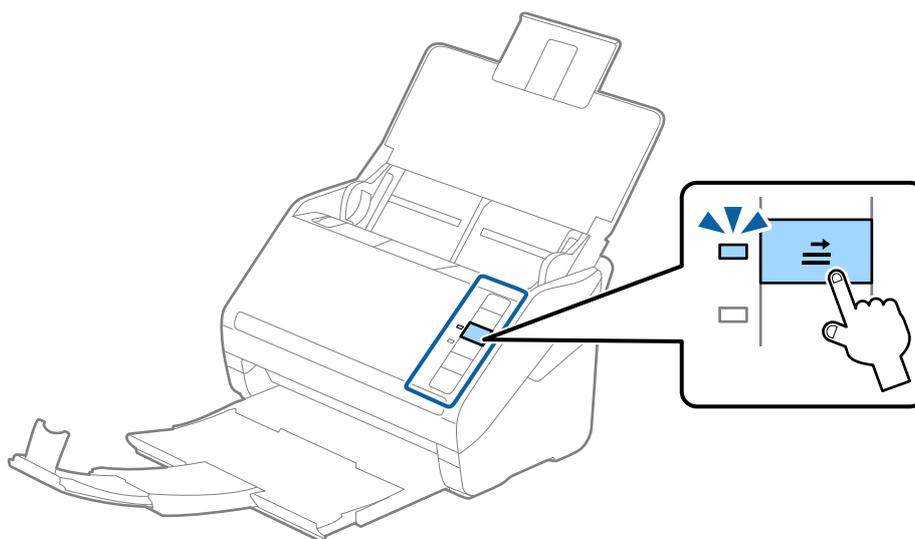
！重要 接着剤が付いている封筒はセットしないでください。

- 参考**
- 開封時にフラップ上端部がきれいにカットされていない場合は、うまくスキャンできないことがあります。
 - 封をする前の封筒は、フラップを開いた状態で、フラップ部を上にしてセットしてください。

4. 原稿ガイドを、封筒に隙間なく合わせます。隙間があると封筒が斜めに給紙されることがあります。



- 参考**
- 封筒のスキャン時は、スキャン前に適切な回転角度を選択するか、Epson Scan 2画面の[基本設定] タブの[回転] で[文字の向きに合わせる] を選択してください。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
 - 封筒のスキャン時は、Epson Scan 2の画面で設定が必要です。
Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で[詳細設定] ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。
[基本設定] タブの[重送検知] で[なし] を選択します。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
もし、Epson Scan 2で[重送検知] を無効にせず重送エラーになったときは、ADFから封筒を取り出してセットし直し、 (重送検知スキップ) ボタンを押して、[重送検知] を次のスキャンだけ無効にしてからスキャンしてください。 (重送検知スキップ) ボタンは1枚分のスキャンだけ[重送検知] を無効にできます。



関連情報

- ➔ [「特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面」 86ページ](#)

用紙の種類やサイズの異なる原稿

用紙の種類やサイズの異なる原稿のスキャン

50.8×50.8 mmからA4またはレターサイズまでのサイズの異なる原稿を、一度にセットしてスキャンできます。用紙の種類や厚さが異なる原稿もまとめてセットできます。

重要

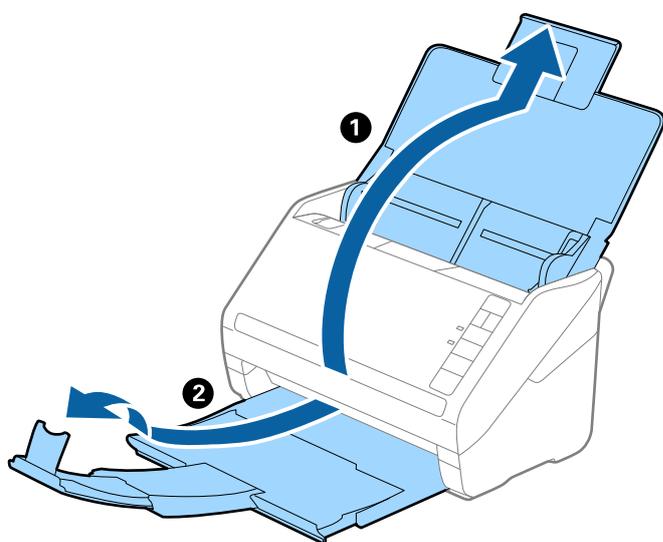
- サイズの異なる原稿を一度にセットしてスキャンするときは、全ての原稿が原稿ガイドでサポートされないため、傾いて給紙されることがあります。
- 以下の例のように、種類の異なる原稿や、サイズに大きな差がある原稿をセットしてスキャンするときは、原稿が詰まったり傾いて給紙されたりすることがあります。
 - ・ 薄い紙と厚い紙の組み合わせ
 - ・ A4サイズの紙とカードサイズの紙の組み合わせ原稿が傾いて給紙されたときは、スキャンした画像を確認してください。

- 参考**
- 原稿が詰まったり、正しく給紙されなかったりしたときは、[低速モード]を有効にすると改善することがあります。
 - 用紙の種類やサイズの異なる原稿をスキャンするには、[原稿待ち受けモード]で1枚ずつ給紙することもできます。

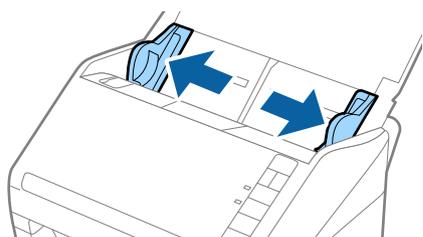
用紙の種類やサイズの異なる原稿をセットする

1. 給紙トレイを開けて原稿サポートを引き出します。排紙トレイと拡張排紙トレイを引き出して、ストッパーを起こします。

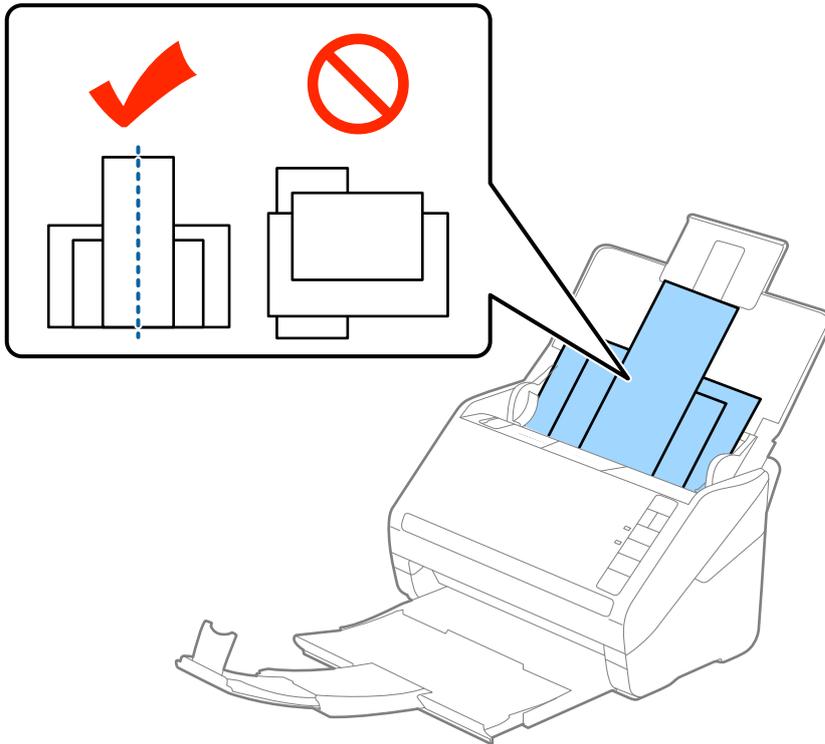
- 参考** 厚い原稿が混在している場合は、排紙トレイを使わず、スキャナーが置かれている台の上に直接排出させてください。原稿が跳ねて排紙トレイから飛び出してしまうことを防ぎます。



2. 給紙トレイの原稿ガイドを両端に移動します。

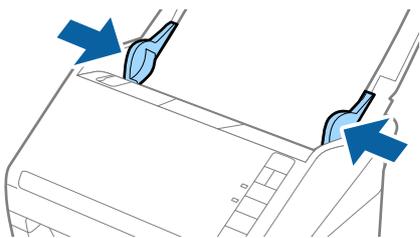


3. 原稿のスキャンする面を伏せ、幅の広い原稿から順に重ねて、給紙トレイの中央にセットします。



- 参考**
- 原稿のスキャンする面を伏せた状態で、先端を少し斜めにずらして角度を付けてADFにセットします。
 - ADFに突き当たるまで挿入してください。
 - 原稿は8 mmまで積み重ねることができます。

4. 原稿ガイドを最も幅の広い原稿に合わせてください。



関連情報

➔ [「異なるサイズの原稿を1枚ずつスキャンする（原稿待ち受けモード）」](#) 97ページ

ネットワーク設定

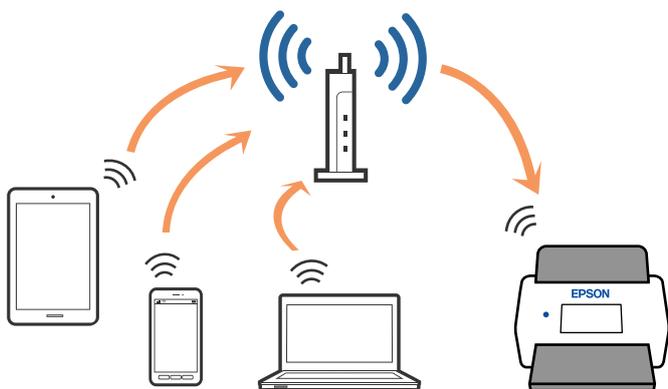
ネットワーク接続の種類	65
スキャナーをネットワークに接続する	66
操作パネルからのネットワーク設定	66
スキャナーのIPアドレスを確認する	68

ネットワーク接続の種類

本製品は以下の接続方法に対応しています。

無線LAN (Wi-Fi) 接続

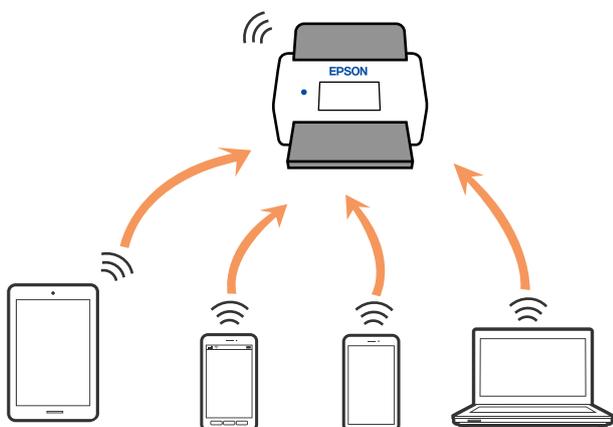
スキャナーをコンピューターまたはスマートデバイスに無線LANルーター（アクセスポイント）経由で接続します。家庭またはオフィスでスマートデバイスやコンピューターを無線LAN（Wi-Fi）で利用している、無線LANルーター（アクセスポイント）がある場合の接続方法です。



APモード接続

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない（アクセスポイントがない）場合や、スキャナーとコンピューターまたはスマートデバイスを、通常使用しているネットワークに追加せずに直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はスキャナーがアクセスポイントとして動作し、4台までの機器と接続できます。ただし、スキャナーに直接接続された機器の間では、スキャナー経由での通信はできません。

参考 APモード接続はアドホックモードに代わる接続方法です。



スキャナーは無線LAN（Wi-Fi）とAPモードの同時接続ができます。ただし、無線LAN（Wi-Fi）で接続中にAPモードの設定を開始すると、無線LAN（Wi-Fi）接続は一時切断されます。

スキャナーをネットワークに接続する

スキャナーがネットワークに接続されていないときは、インストーラーを使用してスキャナーをネットワークに接続します。

以下の方法でインストーラーを起動できます。

- ウェブサイトから開始する
以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。[セットアップ]に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクを使って設定する (ソフトウェアディスクが同梱されている機種で、お使いのコンピューターがディスクドライブを搭載したWindowsの場合)
コンピューターにソフトウェアディスクを挿入し、画面の指示に従ってください。

ネットワークの接続を確認したり、手動でネットワークに接続したりするときは、関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「ランプ」 22ページ](#)
- ➔ [「ランプのエラー表示」 23ページ](#)
- ➔ [「スキャナーをネットワークに接続する」 188ページ](#)

操作パネルからのネットワーク設定

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定をします。スキャナーがネットワークに接続できたら、使用する機器 (コンピューターやスマートデバイスなど) をスキャナーに接続してください。

プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

アクセスポイントのプッシュボタンで自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できません。

- アクセスポイントがAOSSや WPS (Wi-Fi Protected Setup)に対応している
- 既存の無線LAN (Wi-Fi) をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1. アクセスポイントのプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

2. スキャナーの📶ボタンを、📶ランプが青色に点滅するまで3秒以上長押しします。

接続設定が始まります。📶ランプと📶APランプが交互に点滅します。

接続が完了すると📶ランプが青色に点灯します。

参考 !ランプが点灯しているときは接続エラーの状態です。🔍ボタンを押してエラーを解除した後、アクセスポイントを再起動し、スキャナーに近づけて再度設定してください。

PINコードで設定する(WPS)

PINコードを使ってアクセスポイントに接続する方法です。アクセスポイントがWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードをアクセスポイントに入力するときに、コンピューターを使います。

1. スキャナーの📶ボタンと📶ボタンを、📶ランプが青色に点滅するまで3秒以上長押しします。
2. スキャナーのラベルに表示されているPINコード（8桁の数字）を、2分以内にコンピューターからアクセスポイントに入力します。

接続設定が始まります。📶ランプと📶APランプが交互に点滅します。

接続が完了すると📶ランプが青色に点灯します。

参考

- PINコードの入力方法は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- !ランプが点灯しているときは接続エラーの状態です。🔍ボタンを押してエラーを解除した後、アクセスポイントを再起動し、スキャナーに近づけて再度設定してください。

APモードを設定する

アクセスポイントを使わずに直接スキャナーと機器を接続する方法です。スキャナーがアクセスポイントの役割をします。

重要 コンピューターやスマートデバイスからスキャナーにAPモード接続した場合、スキャナーとコンピューターまたはスマートデバイスは同じWi-Fiのネットワーク(SSID)に接続され、相互に通信できます。スキャナーの電源を切ると、コンピューターまたはスマートデバイスは自動で別の接続可能なネットワーク(SSID)に接続されるため、再度スキャナーの電源を入れても元の接続には戻りません。再度、コンピューターまたはスマートデバイスからAPモード用のSSIDに接続してください。毎回接続するのが面倒な場合は、アクセスポイント経由で無線LANに接続することをお勧めします。

1. スキャナーの ボタンを押します。

APモード接続が有効になると  APランプが青色に点灯します。

2. スキャナーのSSIDとパスワードを使って、コンピューターやスマートデバイスから接続します。

- 参考**
- SSIDとパスワードは、スキャナーのラベルで確認できます。
 - 操作方法は、コンピューターやスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

スキャナーのIPアドレスを確認する

スキャナーのIPアドレスは、Epson Scan 2ユーティリティで確認できます。

参考 IPアドレスを確認する前に、お使いのコンピューターをスキャナーと同じ無線LANルーターに接続してください。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [スキャナー] のプルダウンメニューから [設定] をクリックします。

3. [追加] をクリックします。

4. [機種] 列を参照して、IPアドレスを確認したいスキャナーを選択します。

選択したスキャナーのIPアドレスがアドレスリストに表示されます。

基本のスキャン

スキャナーのボタンでスキャンする	70
コンピューターからスキャンする	70
スマートデバイスからスキャンする (Epson Smart Panel)	87

スキャナーのボタンでスキャンする

スキャナーのボタンでスキャンを開始できます。

- 参考**
- Epson Scan 2がコンピューターにインストールされ、スキャナーが正しく接続されている必要があります。
 - Document Capture Pro (Windows) またはDocument Capture (Mac OS) がコンピューターにインストールされている場合、スキャナーのボタンに割り当てられたジョブを実行することができます。ただし、無線LAN接続時は実行できません。
 - 無線LAN接続時は、事前にEpson Scan 2を起動しておいてください。USB接続のコンピューターと、Epson Scan 2を起動している無線LAN接続のコンピューターを同時に使用している場合、スキャナーのボタンを押してスキャンした画像は、無線LAN接続のコンピューターに保存されます。

1. 原稿をセットします。

2.  ボタンを押します。

- 参考** ボタンへの割り当てについて詳しくは、Document Capture Pro (Windows) またはDocument Capture (Mac OS) ヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➔ [「ボタン」 21ページ](#)
- ➔ [「書類をスキャンするソフトウェア \(Document Capture Pro / Document Capture\) 」 24ページ](#)
- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「ジョブを登録する」 89ページ](#)
- ➔ [「スキャナーのボタンにジョブを割り当てる \(Windows\) 」 96ページ](#)

コンピューターからスキャンする

Document Capture Proでスキャンする (Windows)

Document Capture Pro (ドキュメント キャプチャー プロ) は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化して整理できるソフトウェアです。

Document Capture Proには以下の機能があります。

- スキャンして、保存するという一連の作業を「ジョブ」として管理、実行できます
- スキャンした画像をさまざまな形式 (PDF/BMP/JPEG/JPEG2000/TIFF/Multi-TIFF/PNG/DOCX/XLSX/PPTX) で保存するよう「ジョブ」を設定できます
- 仕切り紙を原稿の間に挟んだり、原稿のバーコード情報を利用したりして、自動で仕分け処理ができます
- スキャン時の情報、またはスキャンした内容について必要な項目を、インデックスデータとして出力できます
- 複数の転送先を設定できます
- ジョブを作成せずに簡単な操作でスキャンを実行できます

これらの機能を活用することにより、大量の文書の読み取りや、ネットワークでの利用など、紙文書の電子化業務をより効率化できます。

- 参考**
- 詳しいDocument Capture Proの使い方は、こちらのURLからご覧ください。
<https://support.epson.net/dcp/>
 - Document Capture ProはWindows Serverには対応していません。

関連情報

- ➔ 「書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro / Document Capture) 」 24ページ
- ➔ 「原稿のセット方法」 36ページ
- ➔ 「目的に合わせた解像度の設定」 86ページ

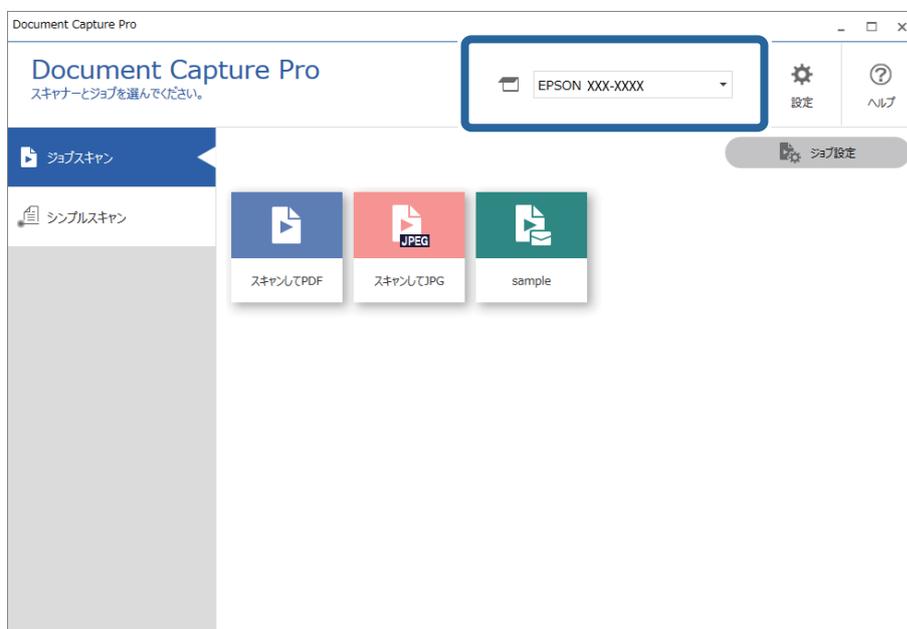
ジョブスキャンとは

事前に、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。ジョブをスキャナーのボタンに割り当てれば、操作パネルからジョブを実行することもできます。

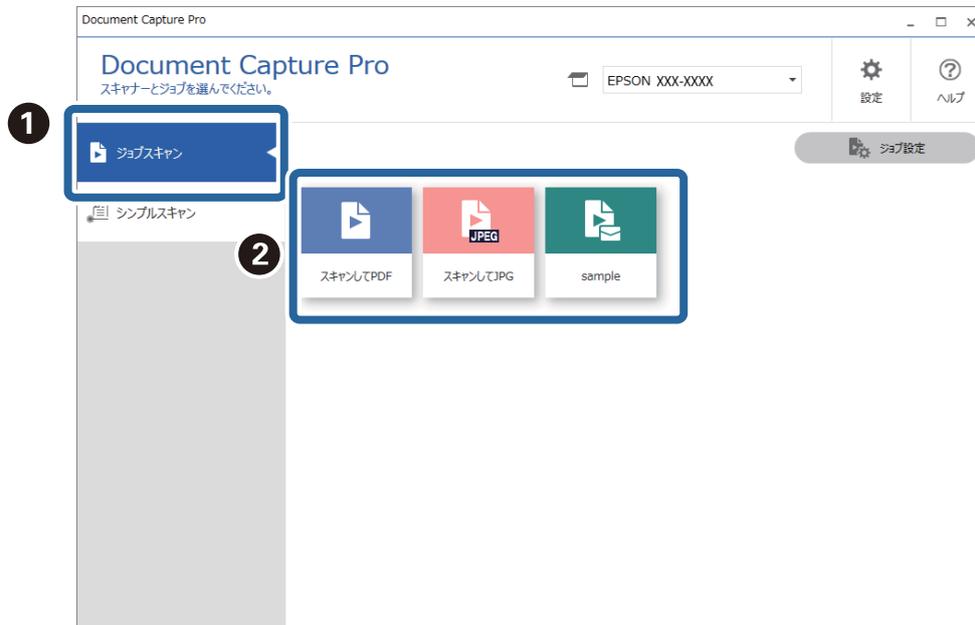
ジョブスキャンを実行する

ここでは既存のジョブを使ってスキャンする流れを説明します。

1. Document Capture Proのトップ画面で、使用するスキャナーを選択します。起動時は、前回使用したスキャナーに自動で接続します。



2. [ジョブスキャン] タブをクリックして、実行したいジョブのアイコンをクリックします。



選択したジョブが実行されます。

スキャン設定で [スキャン中にプレビューを表示する] にチェックが入っているジョブの実行時は、スキャン中にプレビュー画面が表示されます。

3. 保存設定のファイル名設定や仕分け機能に以下の要素が入っているジョブを実行し、スキャンしたページ内にその要素が含まれているときは、画像上にマーキーで検出領域が表示されます。必要に応じて、認識結果を手動で修正したり、領域を変更したりして再度認識します。

- OCR
- バーコード
- 帳票



4. 保存設定で、[保存前にページの編集画面を表示する] にチェックが入っているジョブでは、スキャン終了後に [スキャン結果の編集] 画面でスキャン結果を確認し、必要に応じて編集をします。

[スキャン結果の編集] 画面では以下の確認と編集ができます。

- 仕分け結果
- スキャン画像
- インデックスデータ



5. [完了] をクリックしてジョブスキャンの実行を終了します。



シンプルスキャンとは

ジョブを作成せずにスキャンできます。スキャン後に結果を確認し、保存または転送先を指定します。シンプルスキャン設定をスキャナーのボタンに割り当てれば、操作パネルからシンプルスキャンを実行することもできます。

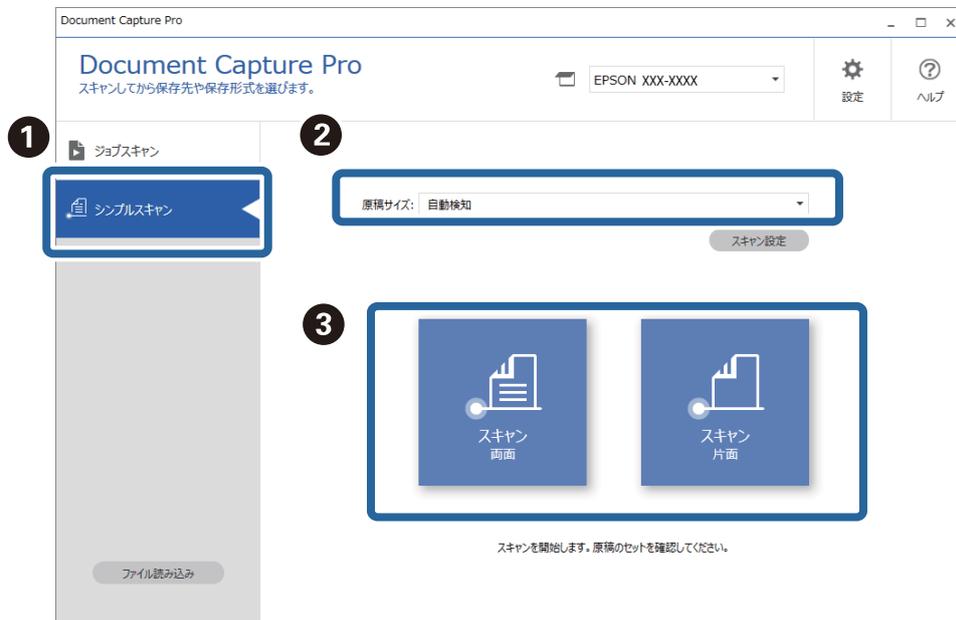
シンプルスキャンを実行する

ここではジョブを使わずにスキャンする流れを説明します。

1. Document Capture Proのトップ画面で、使用するスキャナーを選択します。起動時は、前回使用したスキャナーに自動で接続します。



2. [シンプルスキャン] タブをクリックし、[原稿サイズ] を選択して、[スキャン両面] か [スキャン片面] のアイコンをクリックします。

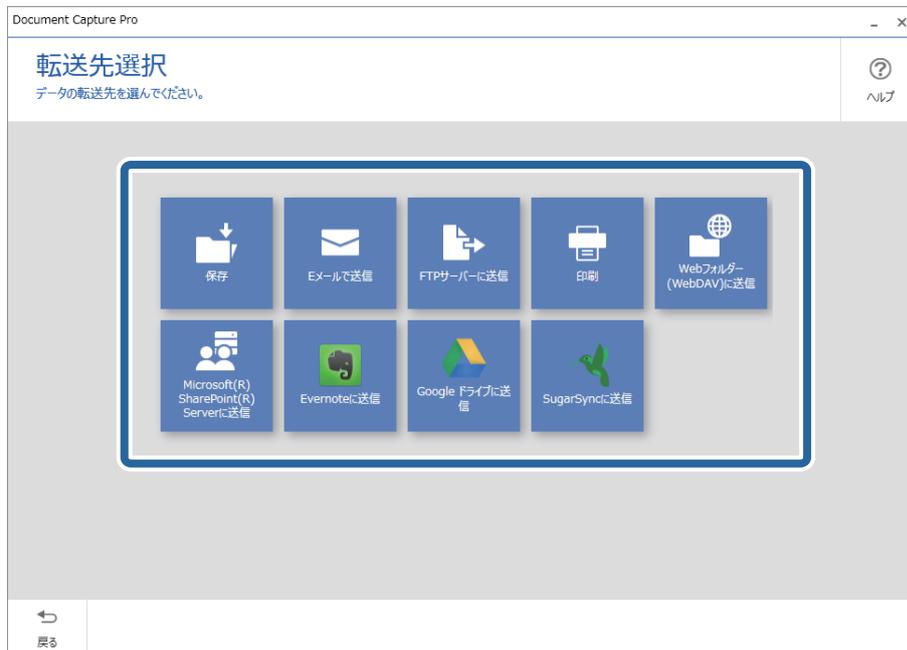


参考 [スキャン設定] をクリックすると、解像度などを設定できます。Epson Scan 2でより詳細な設定ができます。
スキャン中のスキャン画像が表示されます。

3. [スキャン結果の編集] 画面でスキャン結果を確認し、必要に応じて編集を行い、[次へ] をクリックします。



4. [転送先選択] 画面でスキャンデータの転送先を選択します。



5. [転送先の詳細設定] 画面で、保存するファイルや保存形式を設定します。あわせて、転送先に応じた詳細な設定を行います。

表示される項目は転送先によって異なります。以下の画面は [保存] を選択したときの画面です。



6. [完了] をクリックして、シンプルスキャンの手順を終了します。

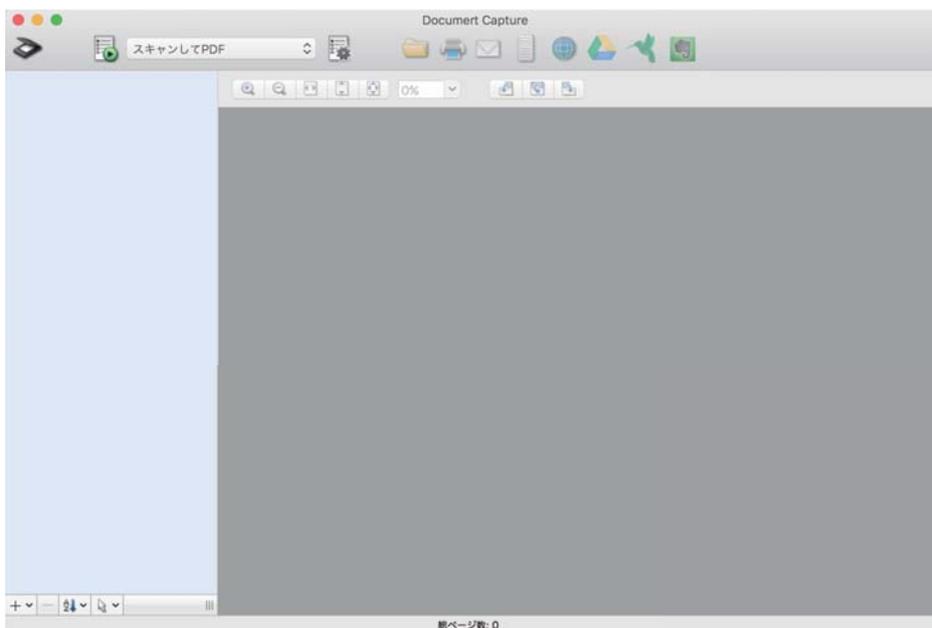
Document Captureでスキャンする (Mac OS)

このソフトウェアは、スキャンした画像をメールに添付したり、プリンターで印刷したり、サーバーやクラウドサービスなどに転送したりすることができます。また、スキャン処理の設定をジョブとして登録して使うことができます。詳しくはDocument Captureのヘルプをご覧ください。

参考 ファストユーザスイッチ機能には対応していません。

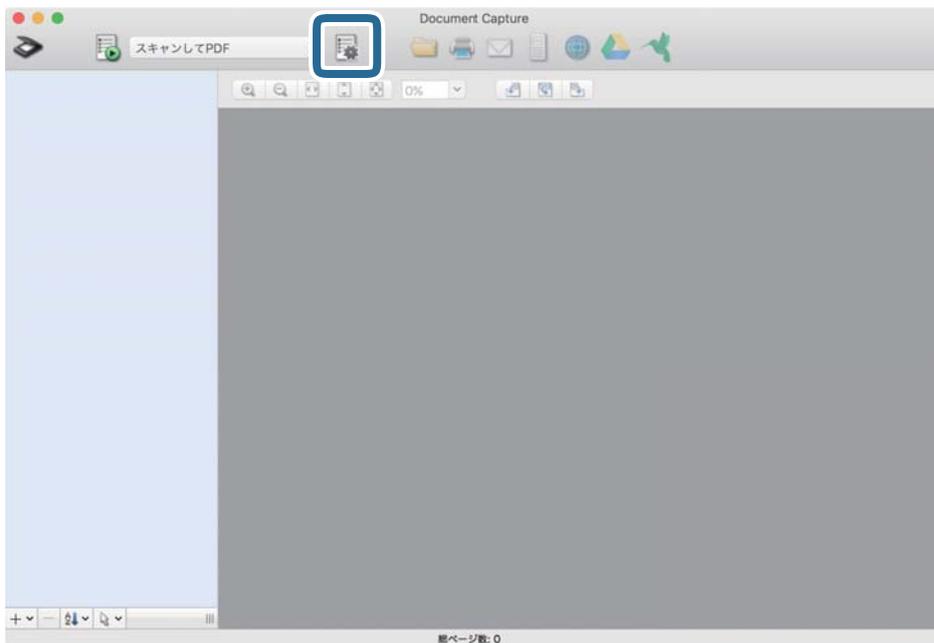
1. Document Captureを起動します。

[Finder] - [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Document Capture] の順に選択します。



参考 スキャナーのリストが表示されたら、使いたいスキャナーを選択してください。

2.  をクリックします。



[ジョブリスト] 画面が表示されます。

参考 スキャンした画像をPDF形式で保存するジョブが、あらかじめ用意されています。このジョブを使うときは、この手順を飛ばして手順10に進みます。

3. +アイコンをクリックします。



ジョブ設定の画面が表示されます。

4. [ジョブ名] を設定します。



5. [スキャン] タブでスキャン設定をします。



- [取込装置] : 原稿をセットした装置を選択します。原稿の両面をスキャンするときは、両面スキャンを選択します。
- [原稿サイズ] : セットした原稿のサイズを選択します。
- [イメージタイプ] : スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- [回転] : スキャンする原稿に合わせて、画像を回転する角度を設定します。
- [解像度] : 解像度を設定します。

参考 以下の画像調整ができます。

- [文字くっきり] : 薄い文字や、網掛けや背景色の影響で見づらい文字を見やすくスキャンします。
- [傾き補正] : 原稿の傾きを補正してスキャンします。
- [白紙ページ除去] : 原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。

6. [保存設定] をクリックして、保存設定をします。



- [保存フォルダー] : スキャンした画像の保存場所を選択します。
- [ファイル名(例)] : 現在の設定での、ファイル名の例が表示されます。
- [先頭文字を使用する] : ファイル名の先頭部分の文字を設定します。
- [日付] : ファイル名に日付を追加します。
- [時刻] : ファイル名に時間を追加します。
- [ページカウンター] : ファイル名にページ数を追加します。
- [保存形式] : スキャンした画像の保存形式を選択します。詳細な設定をするときは、[オプション] をクリックします。

7. 「転送先」をクリックして、「転送先」を選択します。

転送先に応じた設定項目が表示されます。必要な設定をします。各項目の詳細は、? (ヘルプ) アイコンをクリックして説明をご覧ください。



参考

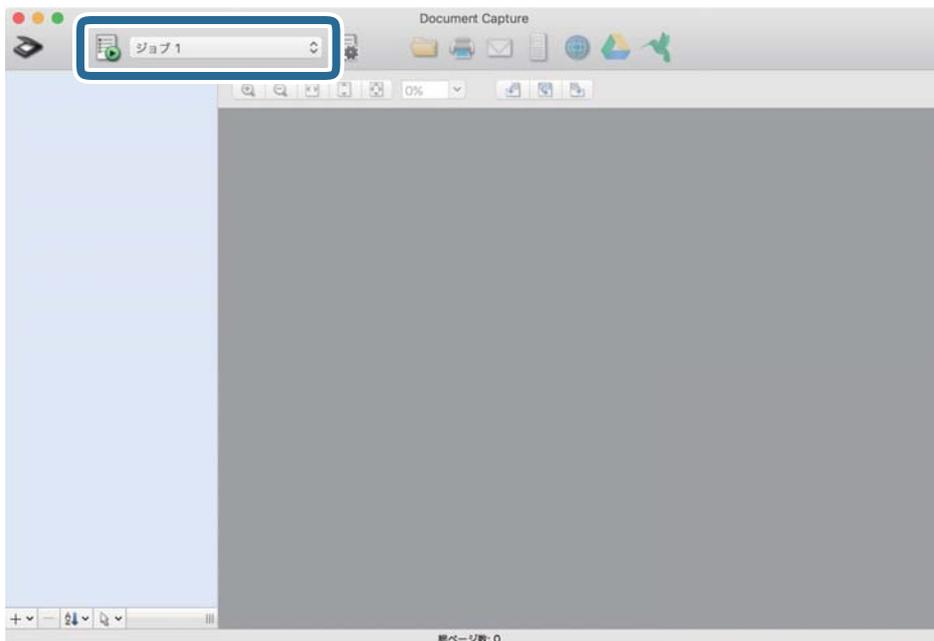
- クラウドサービスにアップロードするには、事前にクラウドサービスのアカウントを作成しておいてください。
- Evernoteにアップロードするには、事前にEvernote社のウェブサイトからEvernoteアプリケーションをダウンロードし、インストールしておいてください。

8. 「OK」をクリックして、ジョブの設定画面を閉じます。

9. 「OK」をクリックして、「ジョブリスト」画面を閉じます。

10. 原稿をセットします。

11. リストからジョブを選択して、 アイコンをクリックします。



選択したジョブが実行されます。

12. 画面の指示に従って操作します。

ジョブの設定に従ってスキャンした画像が保存されます。



ジョブを使用しなくても、原稿をスキャンして転送できます。 をクリックしスキャン設定をして、[スキャン] をクリックします。次に、スキャンした画像の転送先アイコンをクリックします。

関連情報

- ➔ [「書類をスキャンするソフトウェア \(Document Capture Pro / Document Capture\) 」 24ページ](#)
- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「目的に合わせた解像度の設定」 86ページ](#)

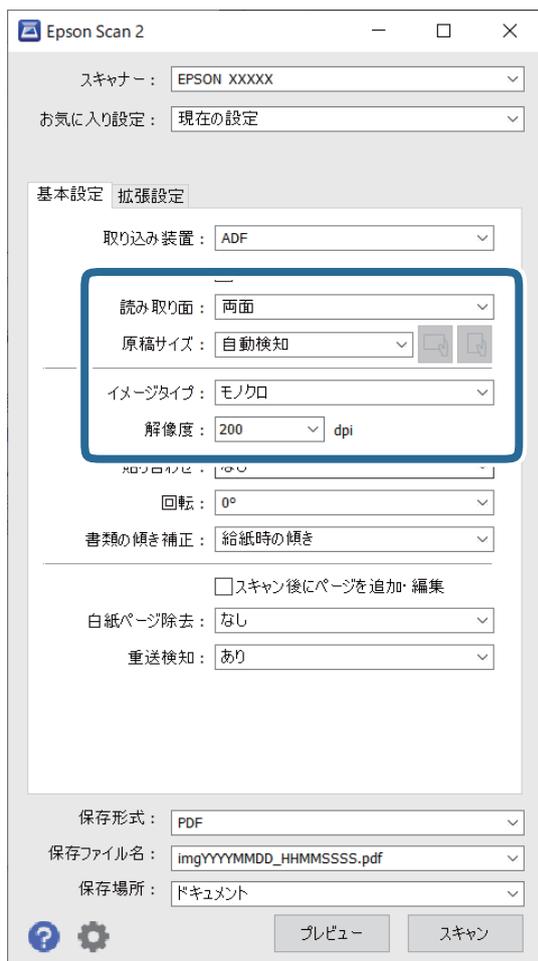
Epson Scan 2でスキャンする

書類に適した画質調整機能を使って原稿をスキャンできます。

1. 原稿をセットします。
2. Epson Scan 2を起動します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

3. [基本設定] タブで以下の設定をします。



- [読み取り面] : スキャンしたい原稿の面を選択します。原稿の両面をスキャンするときは、[両面] を選択します。
- [原稿サイズ] : セットした原稿のサイズを選択します。
-  (原稿のセット方向) ボタン: 原稿のセット方向を選択します。原稿のサイズによっては自動的に選択され、変更できません。
- [イメージタイプ] : スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- [解像度] : 解像度を設定します。

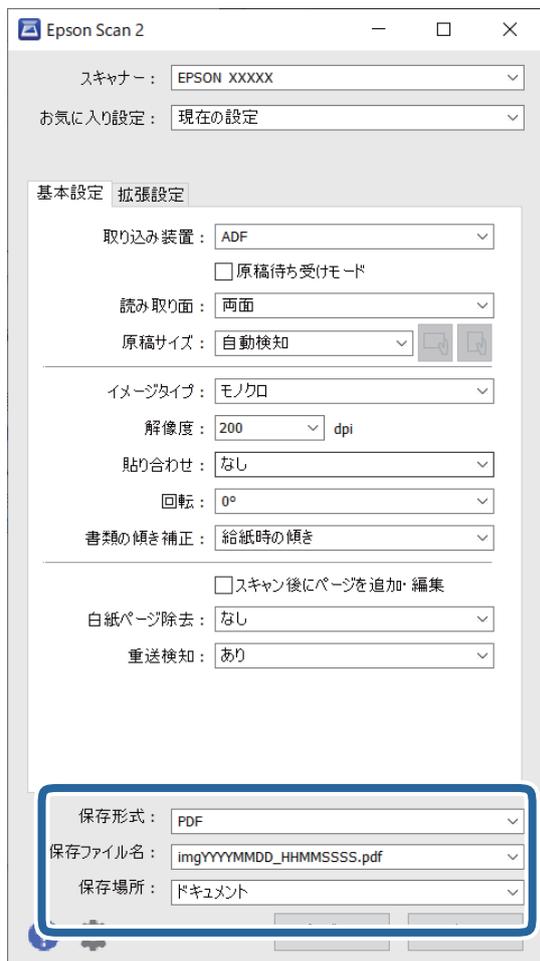
- 参考**
- [取り込み装置] は [ADF] に設定されます。
 - [基本設定] タブでは以下の設定もできます。
 - [貼り合わせ] : 両面スキャンをするときに、表面と裏面の画像を貼り合わせます。
 - [回転] : 原稿を時計回りに回転させてスキャンします。
 - [書類の傾き補正] : 原稿の傾きを補正してスキャンします。
 - [スキャン後にページを追加・編集] : 一度スキャンした後に別の原稿を追加してスキャンしたり、スキャンしたページを編集 (回転・移動・削除) したりします。
 - [白紙ページ除去] : 原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。
 - [重送検知] : 複数枚の原稿が同時に給紙されたときに重送エラーを表示します。

4. 必要に応じて、その他のスキャン設定をします。

- 原稿の1枚目の表面をプレビューできます。原稿の1枚目だけをADFにセットして、[プレビュー] ボタンを押してください。スキャン後にプレビュー画像が表示されてから、原稿が排紙されます。排紙された原稿を残りの原稿と一緒にセットし直してください。
- [拡張設定] タブでは、書類に適した以下のような画像調整ができます。
 - [背景除去] : 原稿の背景を除去します。
 - [文字くっきり] : ぼやけている書類の文字をくっきりとさせます。
 - [画像はっきり] : 画像付きの書類をモノクロでスキャンするときに、文字部分をくっきりとした白黒に、画像部分をなめらかな白黒にします。
 - [ドロップアウト] : スキャンした画像から指定の色を消去して、グレーまたはモノクロで保存します。例えば、マーカーの色や余白に色ペンで書いた文字を消去してスキャンできます。
 - [色強調] : スキャンした画像を指定の色だけ強調して、グレーまたはモノクロで保存します。例えば、薄い色の文字や罫線をくっきりとさせることができます。

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

5. ファイルの保存設定をします。



- [保存形式] : スキャンした画像の保存形式を選択します。
 BITMAPとPNG以外は、詳細な設定ができます。保存形式を選択した後に、リストから [詳細設定] を選択してください。
- [保存ファイル名] : 表示されているファイル名を確認します。
 [設定] を選択すると、ファイル名の設定を変更できます。
- [保存場所] : スキャンした画像の保存場所を選択します。
 [その他] を選択すると、別のフォルダーの選択や新しいフォルダーの作成ができます。

6. [スキャン] をクリックします。



- スキャナーの  ボタンを押してもスキャンを開始できます。
- 薄い紙など紙詰まりしやすい原稿をスキャンするときは、操作パネルの  ボタンで、[低速モード] を有効にして給紙速度を遅くします。
 (低速モード) ボタンを1回押すと給紙速度が遅くなり、もう1回押すと元の速度に戻ります。

スキャンした画像が指定したフォルダーに保存されます。

関連情報

➔ [「スキャナーを制御するソフトウェア \(Epson Scan 2\)」 25ページ](#)

- ➔ 「原稿のセット方法」 36ページ
- ➔ 「目的に合わせた解像度の設定」 86ページ
- ➔ 「原稿保護機能を設定する」 139ページ
- ➔ 「ガラス面汚れ検知機能を設定する」 138ページ
- ➔ 「重送検知時の動作を設定する」 140ページ

特殊な原稿をスキャンするときに必要なEpson Scan 2の設定画面

特殊な原稿をスキャンするときは、Epson Scan 2の「基本設定」タブで原稿に合わせた設定が必要です。Document Capture Proをお使いのときは、「スキャン設定」画面で「詳細設定」ボタンを押して、画面を開きます。

原稿の種類	必要な設定
封筒	「重送検知」で「なし」を選択してください。
プラスチックカード	「原稿サイズ」で「プラスチックカード」を選択するか、「重送検知」で「なし」を選択してください。
キャリアシート	<ul style="list-style-type: none"> • 「原稿サイズ」で「自動検知」を選択した場合、「書類の傾き補正」で「なし」を選択していても、紙の傾きが自動で補正されます。 • 「原稿サイズ」で「自動検知」以外を選択した場合、「書類の傾き補正」で補正できるのは「原稿内容の傾き」だけです。 「給紙時の傾き」を選択しても適用されません。「給紙時と原稿内容の傾き」を選択したときは、原稿内容だけが補正されます。
大きなサイズの原稿	「原稿サイズ」にスキャンしたい原稿のサイズがない場合は、「ユーザー定義サイズ」を選択して「原稿サイズの設定」画面を表示します。スキャンしたい原稿のサイズを手動で作成してください。
長尺紙	「原稿サイズ」に原稿のサイズがない場合は、「自動検知（長尺）」を選択するか、「ユーザー定義サイズ」を選択して手動でサイズを作成してください。
ラミネート加工されたカード	<p>原稿のフチにある透明な部分をスキャンしたい場合は、「原稿サイズ」で「ユーザー定義サイズ」を選択して「原稿サイズの設定」画面を表示します。表示された画面で「ラミネートカード優先」を選択してください。</p> <p>参考 原稿によっては適切な効果が出ないことがあります。原稿のフチにある透明な部分がスキャンできないときは、「原稿サイズ」で「ユーザー定義サイズ」を選択して、手動でサイズを作成してください。</p>

関連情報

- ➔ 「原稿のセット方法」 36ページ

目的に合わせた解像度の設定

解像度を上げるメリットとデメリット

解像度とは、1インチ（25.4mm）あたりの画素（画像を構成する最小要素）の密度を表す数値で、「dpi」（dot per inch）という単位で表します。解像度を上げると、画像がきめ細やかになるメリットがあります。一方でファイルサイズが大きくなるデメリットもあります。

- ファイルサイズが大きくなる
(解像度を2倍にすると、ファイルサイズは約4倍になります)
- 画像のスキャン、保存、読み込み、印刷に時間がかかる
- メールやファクスの送受信に時間がかかる
- 画像がディスプレイや印刷用紙からはみ出る

目的別推奨解像度一覧

表を参考にして、スキャン画像の用途に合う適切な解像度を設定してください。

用途	解像度 (目安)
ディスプレイ上に表示させる Eメールで送信する	~200 dpi
OCR (光学文字認識) を使用する テキスト検索可能なPDFを作成する	200~300 dpi
プリンターで印刷する ファクスで送信する	200~300 dpi

スマートデバイスからスキャンする (Epson Smart Panel)

お使いのスマートデバイスからスキャンするには、App StoreかGoogle PlayからEpson Smart Panelを検索して、インストールします。

参考 スキャンする前に、スキャナーをスマートデバイスに接続してください。

1. 原稿をセットします。
2. Epson Smart Panelを起動します。
3. 画面の指示に従ってスキャンします。

スキャンした画像をお使いのスマートデバイスに保存したり、クラウドサービスにアップロードしたり、メールで送信します。

関連情報

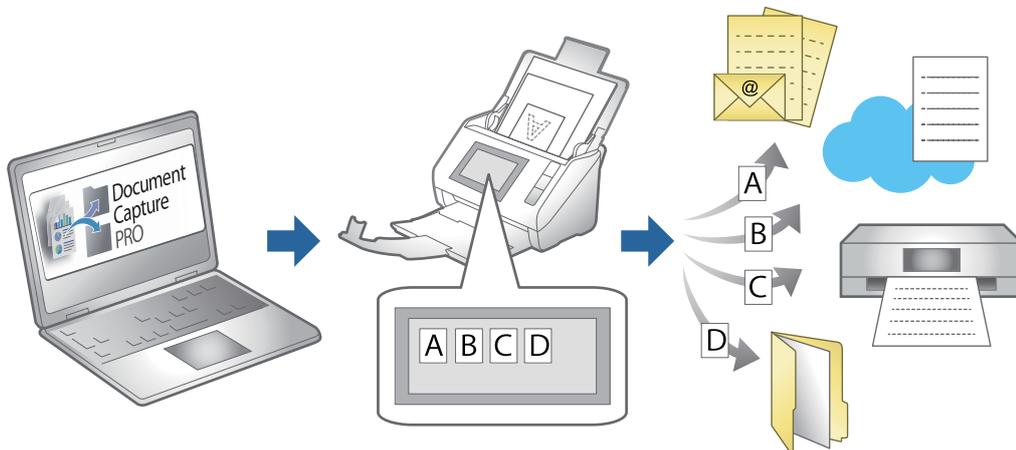
➔ [「スマートデバイスからスキャンするソフトウェア \(Epson Smart Panel\) 」 25ページ](#)

いろいろなスキャン

ジョブを登録する	89
異なるサイズの原稿を1枚ずつスキャンする（原稿待ち受けモード）	97
Document Capture Proのいろいろなスキャン設定（Windowsのみ）	98
e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン	135

ジョブを登録する

スキャン - 保存 - 送信の一連の動作を、「ジョブ」としてソフトウェアに登録できます。
事前に、Document Capture Pro (Windows) または Document Capture (Mac OS) で、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。

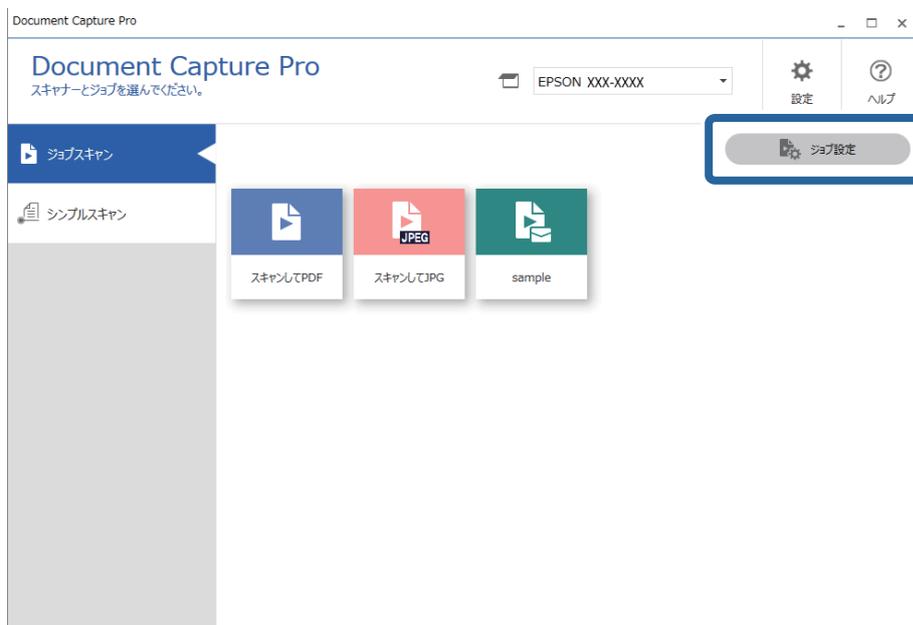


ジョブを作成、登録する (Windows)

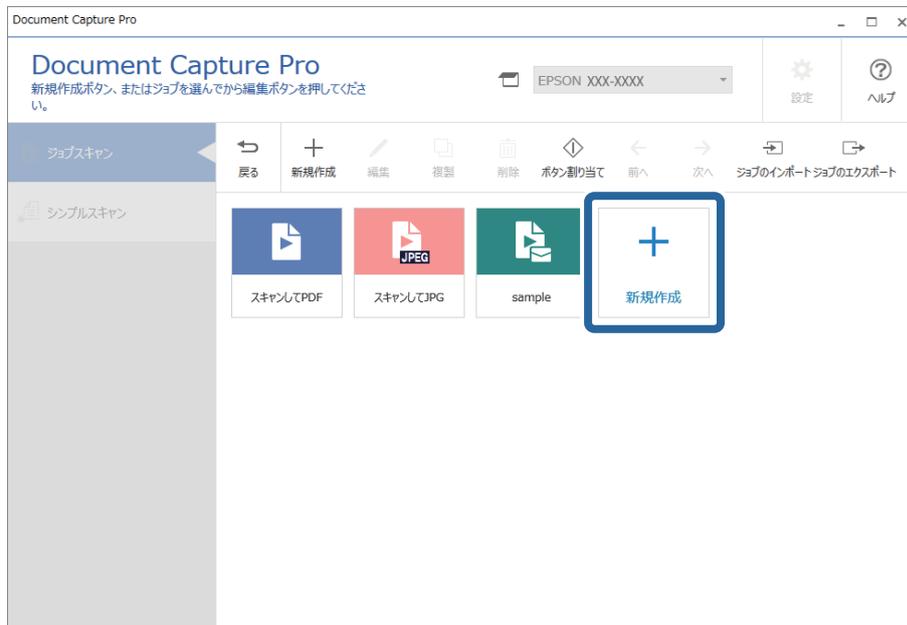
Document Capture Proでジョブを設定する手順を説明します。詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

<https://support.epson.net/dcp/>

1. Document Capture Proを起動します。
2. [ジョブスキャン] の画面で [ジョブ設定] を選択します。



3. [新規作成] をクリックします。



参考 既存のジョブをクリックして [複製] をクリックすると、既存のジョブを元にジョブを作成することもできます。

[ジョブ設定] 画面が表示されます。

4. [ジョブ名] を入力します。



5. [1. スキャン] タブで、作成するジョブスキャン動作について設定をします。



- **①** スキャン設定をします。
より詳細な設定が必要な場合は、[詳細設定] をクリックすると設定画面が開きます。スキャン動作を変更して[保存] をクリックすると、Document Capture Proの画面に戻ります。
- **②** 必要に応じて設定を変更します。
[スキャン中にプレビューを表示する] にチェックを入れると、スキャン中に画像が表示されます。
[スキャン終了後に継続確認を表示する] にチェックを入れると、スキャン後に続けてスキャンするかを確認して実行できます。

スキャン設定が終わったら、[次へ] または [2. 保存] タブをクリックしてください。

6. [2. 保存] タブで、スキャン結果の保存に関する設定をします。



- **①** ファイルの名前を設定します。
 [ファイル名の項目] から名前として設定したい項目を選択すると、ファイル名に追加されます。また [ファイル名] に直接入力もできます。
 バーコード、OCR、帳票を追加する場合は、あらかじめ設定が必要です。[詳細設定] をクリックします。
 日付・時刻、ページカウンターの書式も [詳細設定] から変更できます。
- **②** ファイルの保存形式と保存先を設定します。
 保存形式によっては [保存設定] が有効になりますので、クリックして詳細な設定を行ってください。
- **③** ジョブ仕分けを行う場合は、チェックを入れて仕分け方法を選択し、[仕分け設定] をクリックして詳細な設定を行います。
- **④** 必要に応じて設定を変更します。
 [保存前にページの編集画面を表示する] にチェックを入れると、スキャン後に [スキャン結果の編集] 画面で編集ができます。

保存設定が終わったら、[次へ] または [3. インデックス] タブをクリックしてください。

7. [3. インデックス] タブで、インデックスファイルの設定をします。



- **1** インデックスファイルを作成するときは、[インデックス機能の有効にする] にチェックを入れます。
[インデックス項目設定] をクリックして、インデックスに使用する項目を選択してください。
- **2** [インデックスをファイルに出力する] にチェックを入れ、[出力設定] をクリックして、ファイルに出力する際の出力項目やファイル名を設定します。

インデックスの設定が終わったら、[次へ] または [4. 転送] タブをクリックしてください。

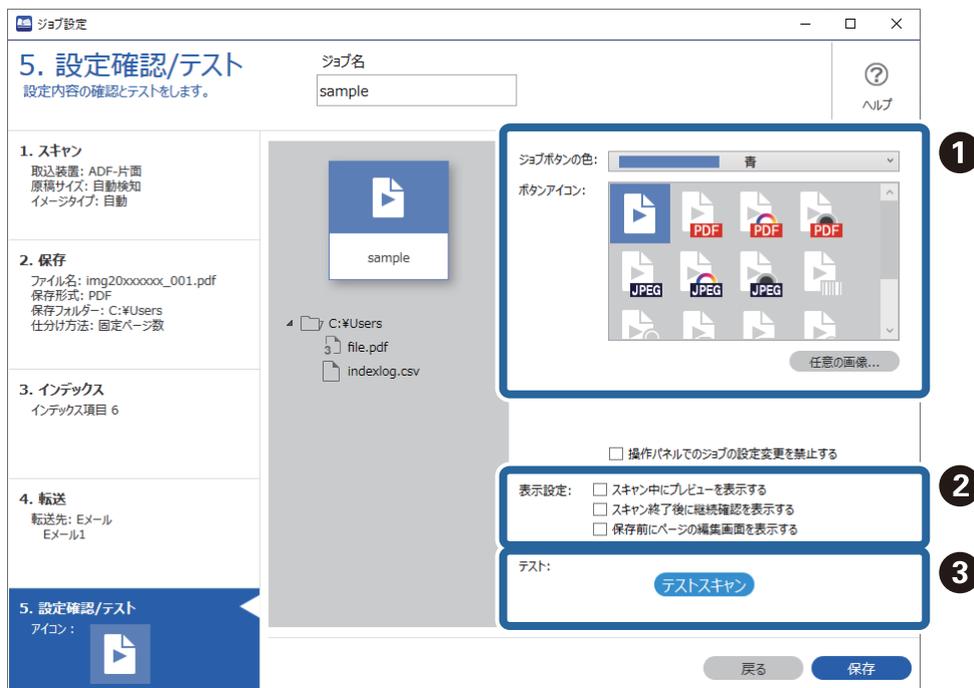
8. [4. 転送] タブで、転送先の設定をします。

[転送先] を選択すると、転送先に応じた設定項目が表示されます。



転送設定が終わったら、[次へ] または [5. 設定確認/テスト] タブをクリックしてください。

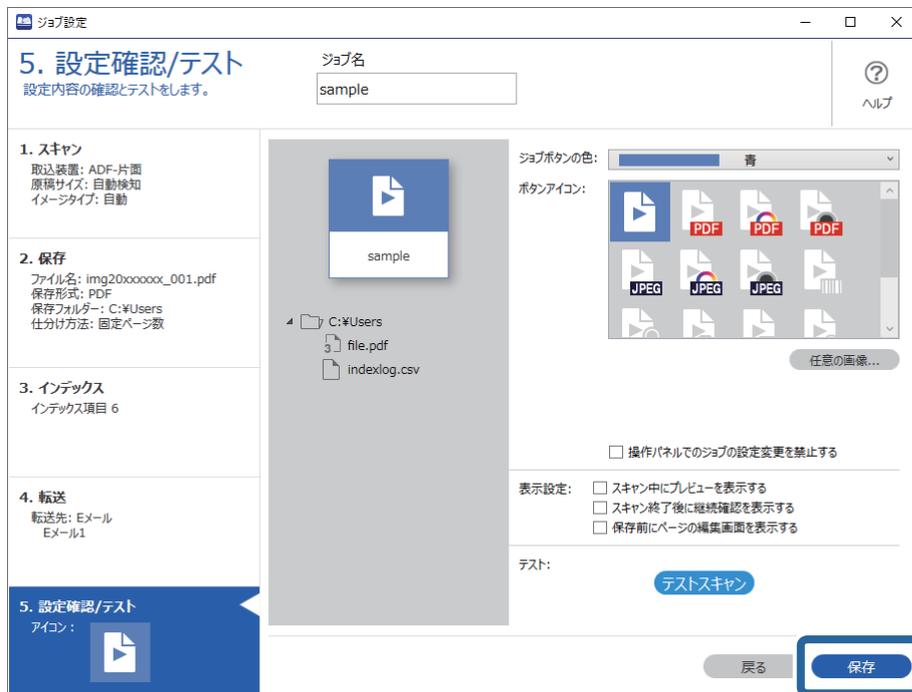
9. [5. 設定確認/テスト] タブで、設定した内容を確認し、テストスキャンを行います。



- ① ジョブボタンの色やアイコンを変更します。
- ② スキャン中やスキャン終了後の表示設定を変更します。

- ③ 設定したジョブでテストスキャンを実行します。

10. [保存] をクリックしてジョブ作成の手順を終了します。



続けてジョブの新規作成や、編集、複製、削除などを行うときは、このまま設定を続けます。

ジョブ設定を終了したいときは、ツールバーの左にある [戻る] ボタンをクリックして、ジョブ実行画面に戻ります。

関連情報

- ➔ [「スキャナーのボタンでスキャンする」70ページ](#)

ジョブを作成、登録する (Mac OS)

Document Captureでジョブを設定する手順を説明します。詳しくはDocument Captureのヘルプをご覧ください。

1. Document Captureを起動します。
2. メイン画面で  アイコンをクリックします。
[ジョブリスト] 画面が表示されます。
3. +アイコンをクリックします。
[ジョブ設定] 画面が表示されます。
4. [ジョブ設定] 画面でジョブを作成します。
 - [ジョブ名] : 登録するジョブの名前を入力します。

- [スキャン] : 原稿サイズや解像度など、スキャンの設定をします。
- [保存設定] : 保存場所や保存形式の指定、ファイル名の付け方などを設定します。
- [転送先] : スキャンした画像の転送先を選択します。メールに添付して送信したり、FTPサーバーやWebサーバーに転送したりできます。

5. [OK] をクリックして [ジョブリスト] 画面に戻ります。

作成したジョブが [ジョブリスト] に登録されます。

6. [OK] をクリックして、メイン画面に戻ります。

関連情報

➔ [「スキャナーのボタンでスキャンする」70ページ](#)

スキャナーのボタンにジョブを割り当てる (Windows)

スキャナーのボタンにジョブを割り当てると、ボタンを押すだけで実行できます。

1. Document Capture Proを起動します。
2. ジョブスキャン画面で、[ジョブ設定] - [ボタン割り当て] の順に選択します。
3. プルダウンリストから、登録したいジョブの名前をクリックして選択します。
4. [OK] をクリックして、ボタン割り当ての画面を閉じます。
5. [戻る] をクリックします。

スキャナーのボタンにジョブを割り当てる (Mac OS)

スキャナーのボタンにジョブを割り当てると、ボタンを押すだけで実行できます。

1. Document Captureを起動します。
2. メイン画面の  ([ジョブの設定]) アイコンをクリックします。
[ジョブリスト] 画面が表示されます。
3. 画面下側の  アイコンをクリックします。
4. プルダウンリストから、登録したいジョブの名前をクリックして選択します。
5. [ジョブリスト] 画面で [OK] をクリックします。
スキャナーのボタンにジョブが割り当てられます。

異なるサイズの原稿を1枚ずつスキャンする（原稿待ち受けモード）

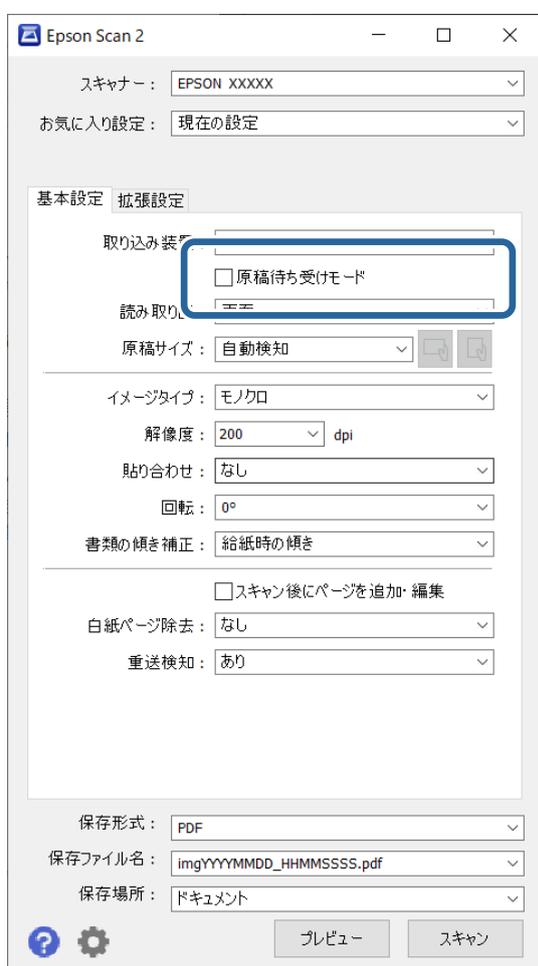
原稿待ち受けモードを使うと、異なるサイズの原稿を1枚ずつスキャンできます。このモードでは、ADFに原稿をセットすると自動でスキャンが始まります。

Document Capture Proをお使いのときは、ジョブの設定で原稿待ち受けモードを使用できます。

1. Epson Scan 2を起動します。

参考 Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。

2. [基本設定] タブで [原稿待ち受けモード] を選択します。



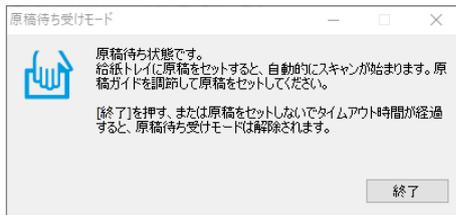
3. Epson Scan 2のメイン画面で、その他のスキャン設定をします。

4. [スキャン] をクリックします。

参考 Document Capture Proをお使いのときは、[保存] をクリックしてスキャン設定を保存します。スキャンを開始したときに、原稿待ち受けモードに入ります。

原稿待ち受けモードが開始します。

スキャナーのランプが点灯し、[原稿待ち受けモード] 画面がコンピューターに表示されます。



5. 原稿ガイドを調整してから、ADFに原稿をセットします。

自動的にスキャンが始まります。

6. スキャンが終了したら、次の原稿をADFにセットします。

全ての原稿をスキャンするまで、この手順を繰り返します。



- プラスチックカードや封筒などの重送と検知される原稿をスキャンしたいときは、原稿をセットする前に (重送検知スキップ) ボタンを押して重送検知機能をスキップします。
- 薄い紙など紙詰まりしやすい原稿をスキャンしたいときは、原稿をセットする前に (低速モード) ボタンを押して給紙速度を遅くします。

7. 全ての原稿をスキャンしたら、原稿待ち受けモードを終了します。

スキャナーの ボタンを押すか、コンピューターに表示された [原稿待ち受けモード] 画面の [終了] をクリックします。



- [原稿待ち受けモード] を終了するタイムアウト時間を設定できます。
[取り込み装置] リストで [設定] を選択し、[取り込み装置の設定] 画面を開きます。表示された画面で [原稿待ち受けモードのタイムアウト時間 (秒)] を設定します。

スキャンした画像が指定したフォルダーに保存されます。

関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」36ページ](#)

Document Capture Proのいろいろなスキャン設定 (Windowsのみ)

Document Capture Proでは、目的に合わせてジョブを設定することで、書類や帳票などの原稿を簡単に効率よくスキャンして保存することができます。ここでは便利な仕分け機能などを使ったジョブの設定方法を説明します。



- ここでは、Windowsで使えるDocument Capture Proの機能を説明します。Mac OSでDocument Captureを使う場合は、詳細はヘルプをご覧ください。

関連情報

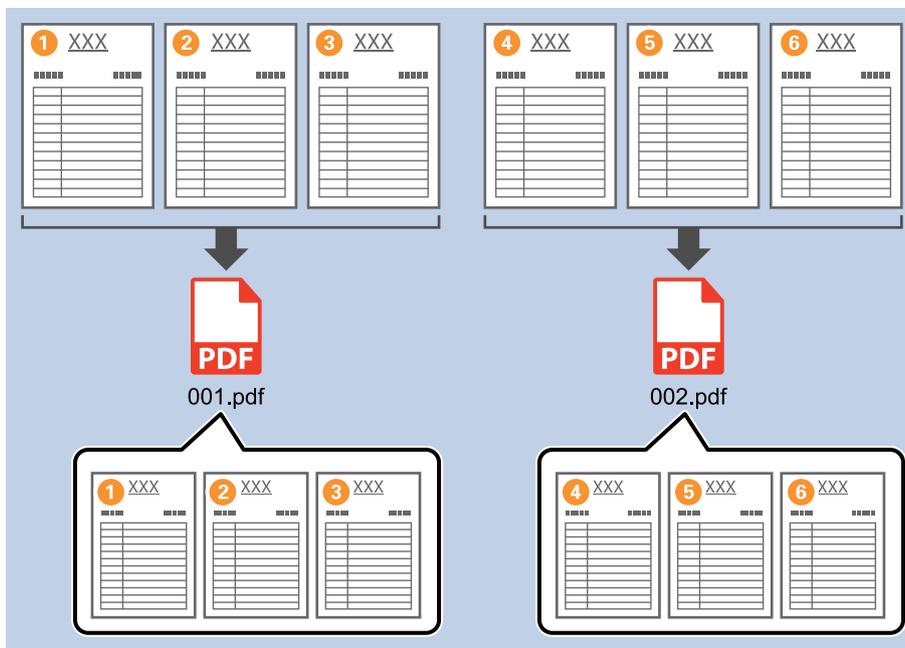
- ➔ [「ページ数を指定して原稿を分割する」99ページ](#)
- ➔ [「白紙を使って原稿を分割する」102ページ](#)

- ➔ 「バーコードの文字情報でフォルダーを作成して保存する」 106ページ
- ➔ 「2種類のバーコードを使って2階層のフォルダーを作成する」 110ページ
- ➔ 「バーコードの文字情報をファイル名にして保存する」 114ページ
- ➔ 「OCRで読み取った文字でフォルダーを作成して保存する」 119ページ
- ➔ 「OCRで読み取った文字をファイル名にして保存する」 124ページ
- ➔ 「帳票ごとにフォルダーを作成して保存する」 131ページ

ページ数を指定して原稿を分割する

連続でスキャンした複数ページのデータを、指定したページ数ごとに分割してファイルやフォルダーに保存することができます。

ここでは、「原稿を3ページごとに分割してPDFファイルに保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



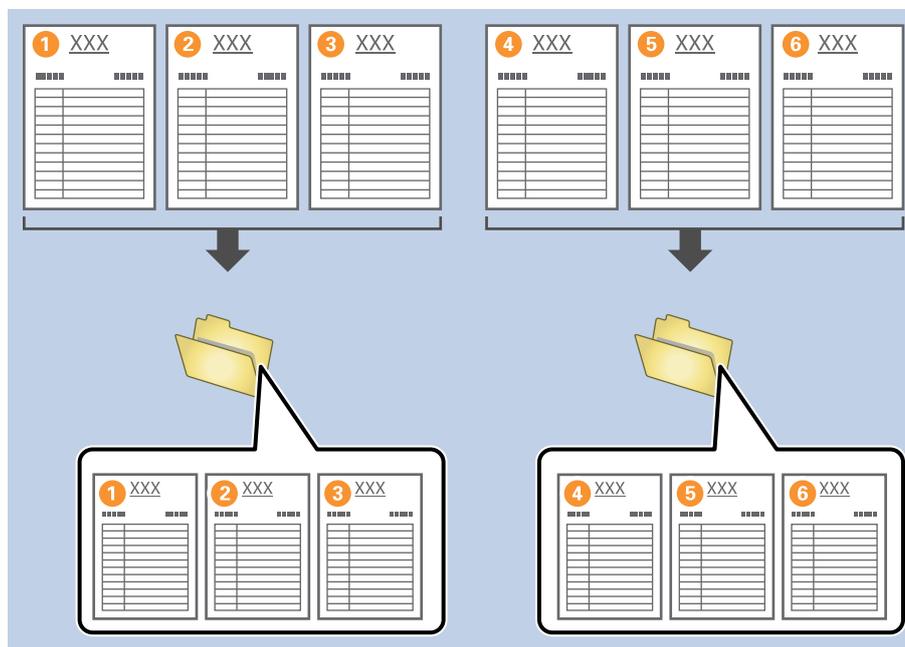
2. [保存形式] を [PDF] に設定します。



3. [ジョブ仕分けする] にチェックを入れて、[仕分け方法] を [固定ページ数] に設定してから [仕分け設定] をクリックします。

4. [仕分け設定] 画面で、分割したいページ数を指定します。
ページ数を「3」に指定すると、連続でスキャンした原稿が3ページごとに分割されます。

- 参考** 複数ページ概念がない保存形式 (JPEGなどの画像ファイル) では、複数ページのファイルを作成することはできません。 [フォルダーを作成する] にチェックを入れると、指定したページ数 (ファイル数) ごとに分割してフォルダーに保存できます。



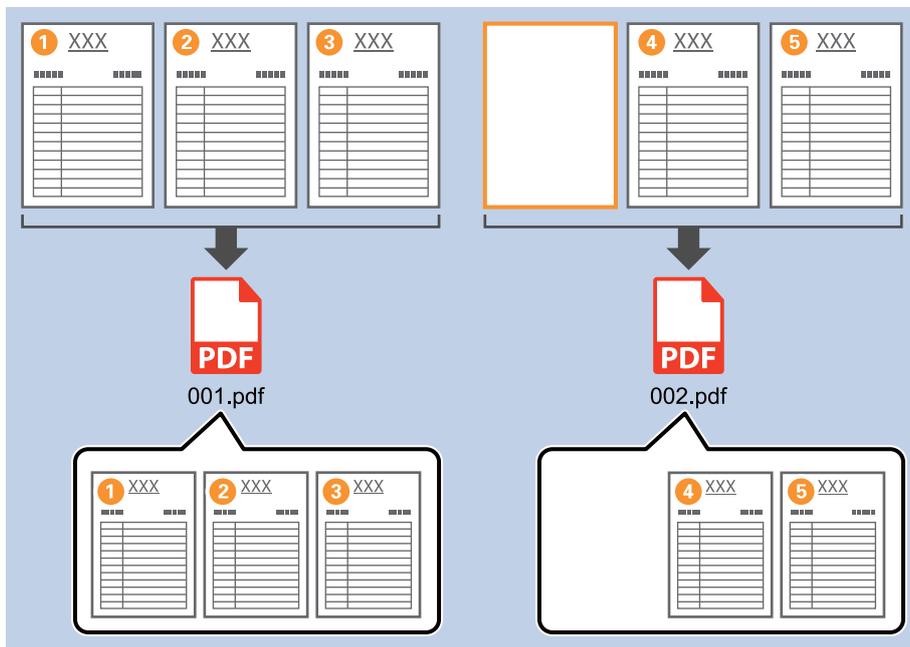
関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Proでスキャンする \(Windows\) 」 70ページ](#)

白紙を使って原稿を分割する

原稿の間に白紙を挟むことにより、スキャンしたデータを白紙 (空白) ページで分割し、別々のファイルやフォルダーに保存することができます。原稿の両面をスキャンする場合は、片面が白紙になっている原稿も白紙ページとして検知されます。仕分け後は不要な白紙ページを削除して保存することもできます。

ここでは、原稿の3枚目と4枚目の間に白紙を挟んでスキャンし、「白紙ページの前後で分割して、別々のPDFファイルに保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



2. [保存形式] を [PDF] に設定します。

The screenshot shows the 'Job Settings' window for Document Capture Pro. The 'Save' tab is active. The 'Save Format' dropdown menu is highlighted with a blue box and set to 'PDF'. Other settings include: Job Name: sample; File Name: img20xxxxxx_001.pdf; Save Folder: C:\Users; Job Splitting: checked; Split Method: Fixed Page Count.

3. [ジョブ仕分けする] にチェックを入れて、[仕分け方法] を [白紙ページ] に設定してから [仕分け設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'Job Settings' window for Document Capture Pro. The 'Save' tab is active. The 'Job Splitting' checkbox is checked, and the 'Split Method' dropdown menu is highlighted with a blue box and set to 'Blank Page'. Other settings include: Job Name: sample; File Name: img20xxxxxx_001.pdf; Save Format: PDF; Save Folder: C:\Users; Save Method: Fixed Page Count.

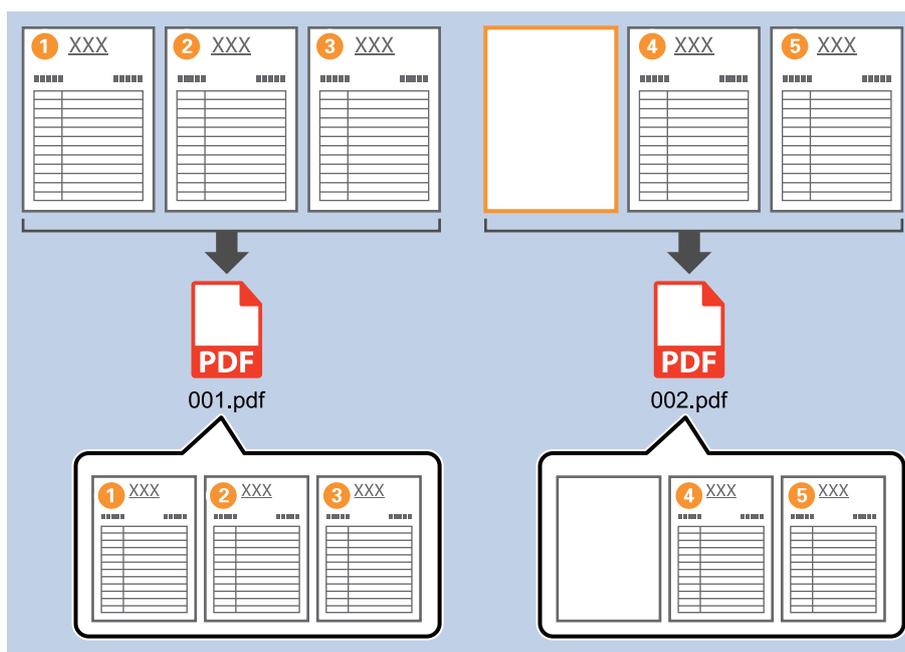
4. [仕分け設定] 画面で、[仕分けページを削除する] にチェックを入れます。

仕分け後に白紙ページが削除されます。



参考

- 白紙ページも保存が必要な場合は、[仕分けページを削除する] のチェックを外してください。ただし、分割されたファイルの1ページ目が白紙 (空白) ページになります。



- [検出レベル] では、白紙として検出するレベルを [高] [中] [低] から選択できます。レベルを高くすると、薄い色が付いた原稿や裏写りした原稿なども白紙として検出できます。
- [スキャン設定] の [取込装置] を [ADF-両面] に設定している場合は、[両面スキャンした原稿の裏面も検出する] の項目が表示されます。チェックを入れると、両面スキャンした原稿の裏面が白紙ページの場合にも仕分けができます。

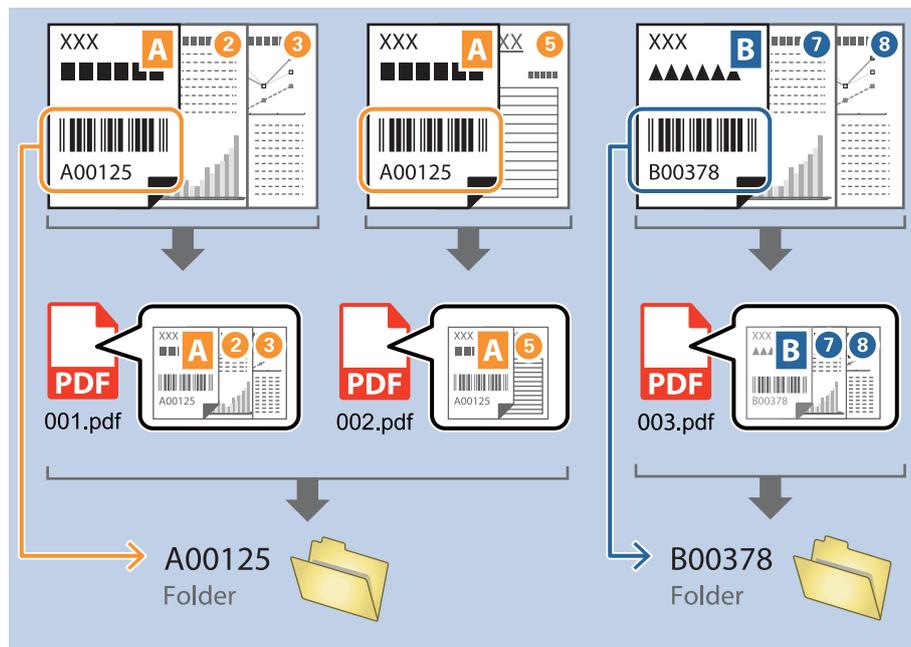
関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Proでスキャンする \(Windows\) 」 70ページ](#)

バーコードの文字情報でフォルダーを作成して保存する

原稿のバーコード情報を使い、バーコードが入っているページごとにファイルを分割したり、バーコードの文字情報でフォルダーを作成して保存したりすることができます。

ここでは、「バーコードで仕分けし、バーコードの文字情報をフォルダー名にして保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



2. 「ジョブ仕分けする」にチェックを入れて、「仕分け方法」を「バーコード」に設定してから「仕分け設定」をクリックします。

ジョブ設定

2. 保存
ファイル名、ファイル形式や仕分けなどの保存設定をします。

ジョブ名: sample

ヘルプ

1. スキャン
取込装置: ADF-片面
原稿サイズ: 自動検知
イメージタイプ: 自動

2. 保存
ファイル名: img20xxxxxx_001.pdf
保存形式: PDF
保存フォルダー: C:\%Users
仕分け方法: バーコード

3. インデックス
インデックス項目 6

4. 転送
転送先: 何もしない

5. 設定確認/テスト
アイコン:

ファイル名(例): img20xxxxxx_001.pdf
ファイル名: img20xxxxxx_ ページカウンター
ファイル名の項目 詳細設定

保存形式: PDF
保存設定

保存フォルダー: C:\%Users
参照...

ジョブ仕分けする
仕分け方法: バーコード
仕分け設定

保存前にページの編集画面を表示する

保存 戻る 次へ

3. 「仕分け設定」画面で、使用するバーコードの種類を選択します。
バーコードの種類を個別に選択するときは、「全てのバーコード」のチェックを外してください。

仕分け設定

検出領域: 自動検出 エリア指定

全てのバーコード

UPC, EAN, JAN ITF CODE39
 CODABAR CODE128 QR
 PDF417 DataMatrix

検出結果の最大文字数: 30

認識結果を確認する

仕分けページを削除する

フォルダを作成する
フォルダ名(例):
フォルダ名: folder ページカウンター
フォルダ名の項目 詳細設定

2段階で仕分けを行う
仕分け方法: バーコード
仕分け設定

スキャン

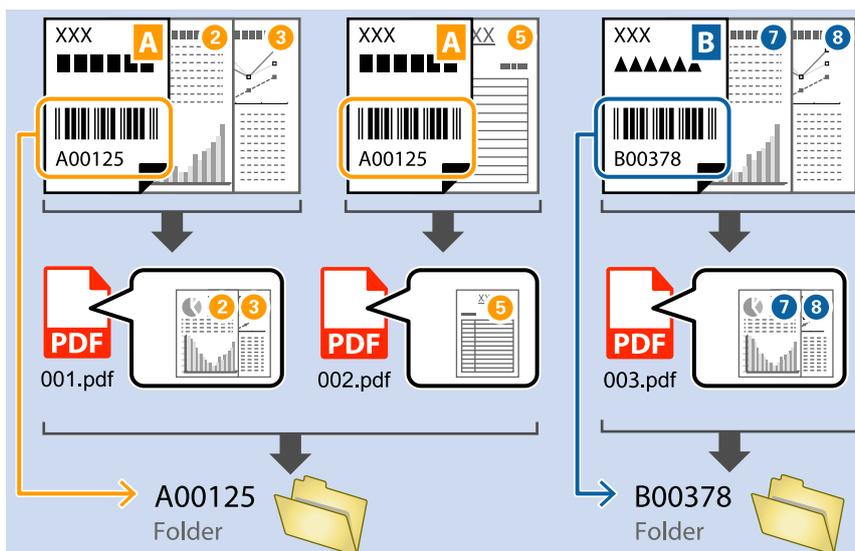
OK キャンセル

4. 「フォルダーを作成する」にチェックを入れ、「フォルダー名の項目」から「バーコード」を選択します。



参考

- カーソルでフォルダー名の項目を追加する位置を指定できます。
また追加した項目を選択して、ドラッグアンドドロップをすることで順番を入れ替えることができます。
削除する場合は追加された項目を選択して、お使いのキーボードのDeleteキーで削除してください。
- 多くの情報を持つ2次元バーコードを使用する場合は、[検出結果の最大文字数]で仕分けに利用する最大文字数を指定してください。
- バーコードが入っているページの保存が不要な場合は [仕分けページを削除する] にチェックを入れてください。仕分け後にバーコードが入っているページを削除して保存できます。



- バーコードが正しく認識されたか確認したい場合は、[認識結果を確認する] にチェックを入れてください。スキャン後に表示される画面で、認識された領域や文字が確認できます。また、領域を指定し直して再認識させたり、文字を訂正したりすることもできます。



関連情報

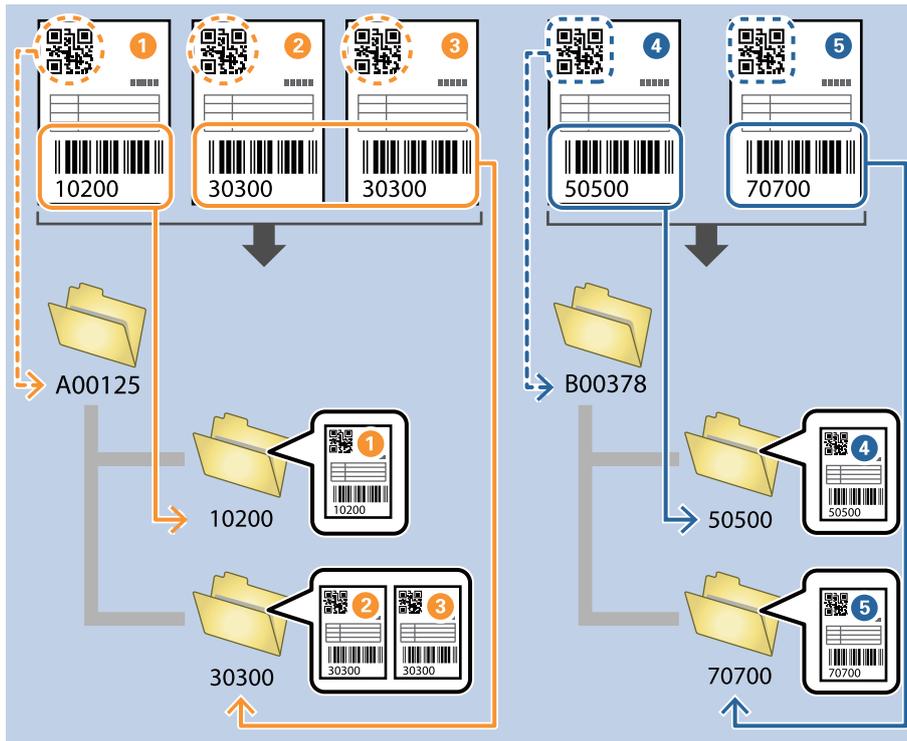
➔ [「原稿のセット方法」36ページ](#)

➔ 「Document Capture Proでスキャンする (Windows) 」 70ページ

2種類のバーコードを使って2階層のフォルダーを作成する

原稿の2種類のバーコード情報を使い、2階層のフォルダーを作成して保存することができます。

ここでは、「1つ目のバーコード情報でフォルダーを作成し、その下の階層に別のバーコード情報でフォルダーを作成する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



2. [ジョブ仕分けする] にチェックを入れ、[仕分け方法] に [バーコード] を設定して、[仕分け設定] をクリックします。



3. [仕分け設定] 画面で、1階層目のフォルダーに使用するバーコードの種類を選択します。バーコードの種類を個別に選択するときは、[全てのバーコード] のチェックを外してください。

ここでは、例として [QR] コードを選択します。

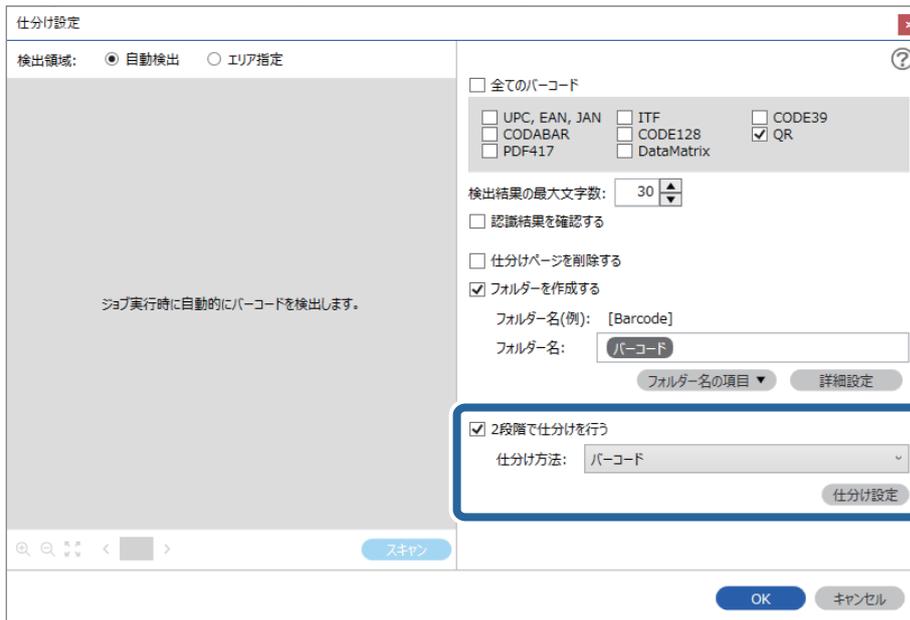


4. [フォルダーを作成する] にチェックを入れ、[フォルダー名の項目] から [バーコード] を選択します。



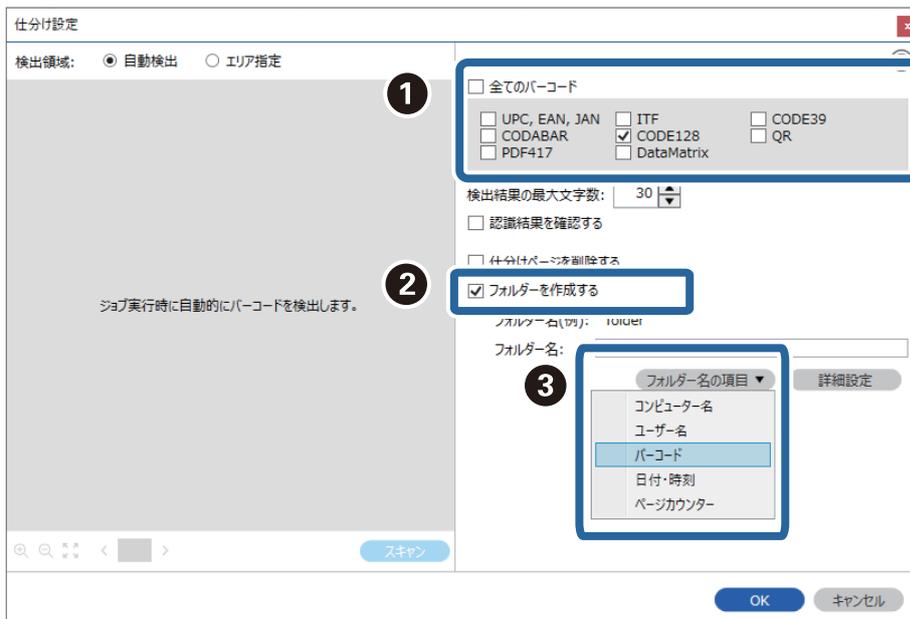
参考 カーソルで [フォルダー名の項目] を追加する位置を指定できます。
 また追加した項目を選択して、ドラッグアンドドロップをすることで順番を入れ替えることができます。
 削除する場合は追加された項目を選択して、お使いのキーボードのDeleteキーで削除してください。

5. 「2段階で仕分けを行う」を選択し、「仕分け方法」を「バーコード」に設定してから「仕分け設定」をクリックします。



6. 追加の「仕分け設定」画面で2階層目のフォルダーに使用するバーコードの種類を選択し、「フォルダーを作成する」にチェックを入れ、「フォルダー名の項目」から「バーコード」を選択し、「フォルダー名」に追加します。

バーコードの種類を個別に選択するときは、「全てのバーコード」のチェックを外してください。
ここでは、例として「CODE128」を選択します。



参考

- カーソルで「フォルダー名の項目」を追加する位置を指定できます。
また追加した項目を選択して、ドラッグアンドドロップをすることで順番を入れ替えることができます。
削除する場合は追加された項目を選択して、お使いのキーボードのDeleteキーで削除してください。
- 多くの情報を持つ2次元バーコードを使用する場合は、「検出結果の最大文字数」で仕分けに利用する最大文字数を指定してください。
- バーコードが正しく認識されたか確認したい場合は、「認識結果を確認する」にチェックを入れてください。スキャン後に表示される画面で、認識された領域や文字が確認できます。また、領域を指定し直して再認識させたり、文字を訂正したりすることもできます。



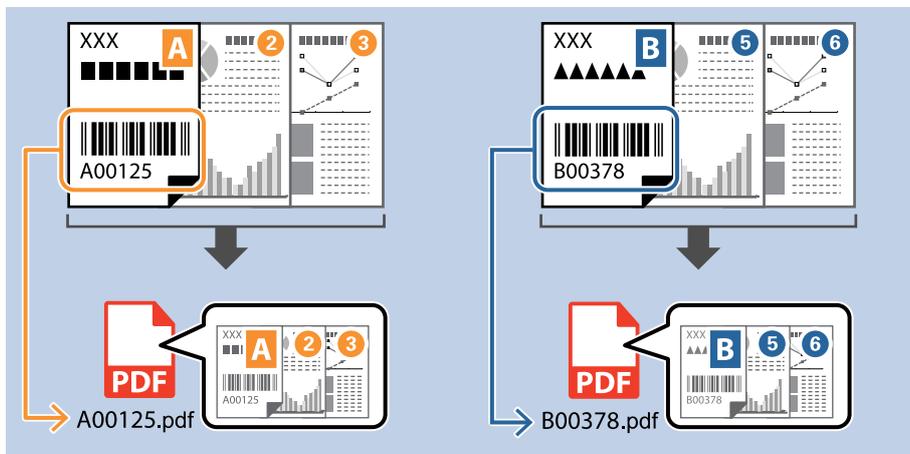
関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Proでスキャンする（Windows）」 70ページ](#)

バーコードの文字情報をファイル名にして保存する

原稿のバーコード情報を使い、バーコードが入っているページごとにファイルを分割したり、バーコードの文字情報をファイル名にして保存したりすることができます。

ここでは、「バーコードで仕分けし、バーコードの文字情報をファイル名にして保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。

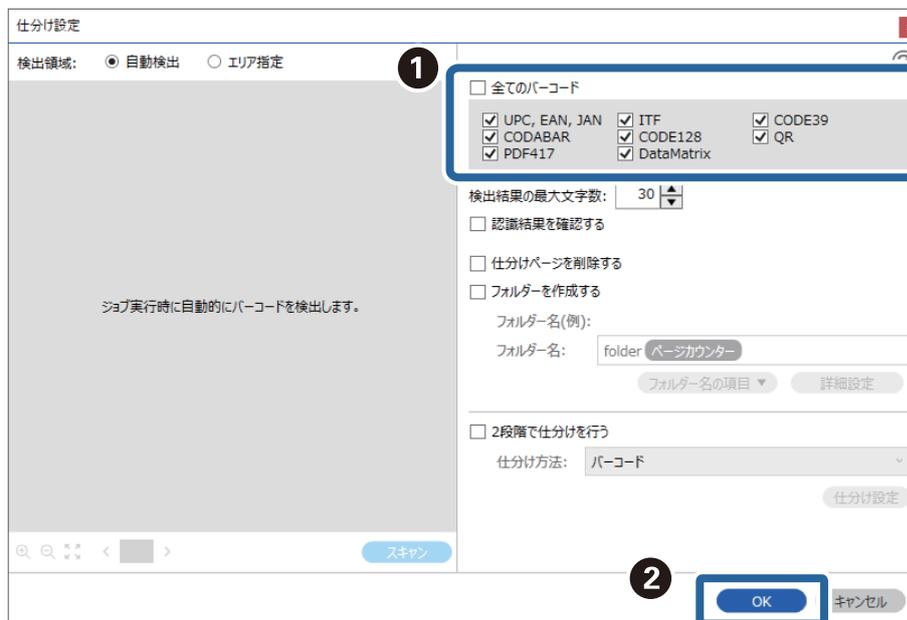


2. [ジョブ仕分けする] にチェックを入れて、[仕分け方法] を [バーコード] に設定してから [仕分け設定] をクリックします。



3. [仕分け設定] 画面で、使用する (原稿に掲載されている) バーコードの種類を選択します。[OK] をクリックして [ジョブ設定] 画面に戻ります。

バーコードの種類を個別に選択するときは、[全てのバーコード] のチェックを外してください。



4. [詳細設定] をクリックします。



参考 [ファイル名の項目] から [バーコード] を選択するためには、[詳細設定] で設定をしてから選択してください。

5. [名前の詳細設定] 画面で [バーコード] を選択し、使用する (原稿に掲載されている) バーコードの種類を選択します。

バーコードの種類は手順3と同じ設定にしてください。



- 参考**
- 多くの情報を持つ2次元バーコードを使用する場合は、[検出結果の最大文字数]で仕分けに利用する最大文字数を指定してください。
 - バーコードが正しく認識されたか確認したい場合は、[認識結果を確認する]にチェックを入れてください。スキャン後に表示される画面で、認識された領域や文字が確認できます。また、領域を指定し直して再認識させたり、文字を訂正したりすることもできます。



6. [ファイル名の項目] から [バーコード] を選択します。



[バーコード] が [ファイル名] に追加されます。

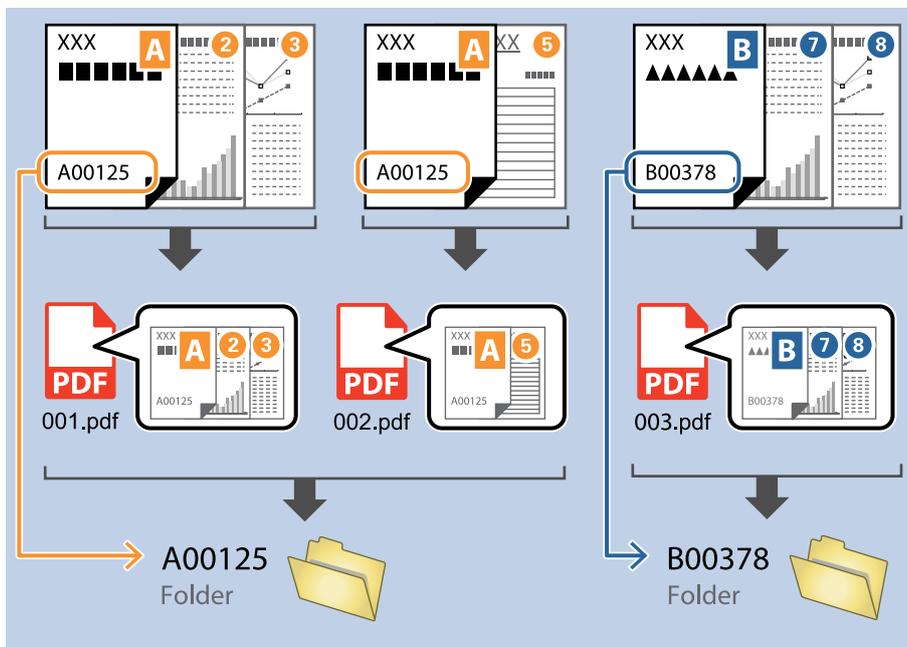
- 参考** カーソルで [ファイル名の項目] を追加する位置を指定できます。
 また追加した項目を選択して、ドラッグアンドドロップをすることで順番を入れ替えることができます。
 削除する場合は追加された項目を選択して、お使いのキーボードのDeleteキーで削除してください。

関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Proでスキャンする \(Windows\) 」 70ページ](#)

OCRで読み取った文字でフォルダーを作成して保存する

OCR (スキャンした画像から文字情報を検出し、文字データに変換する機能) を使うと、指定した領域から文字を読み取り、その文字でファイルを分割したり、フォルダーを作成して保存したりすることができます。
 ここでは、「OCRで読み取った文字でフォルダーを作成して保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



2. [ジョブ仕分けする] にチェックを入れて、[仕分け方法] を [OCR] に設定してから [仕分け設定] をクリックします。



3. [仕分け設定] 画面で [認識対象] から読み取る文字の種類を選択します。[フォルダーを作成する] にチェックを入れて、[フォルダー名の項目] から [OCR] を選択します。



[OCR] が [フォルダー名] に追加されます。

- 参考** カーソルで [フォルダー名の項目] を追加する位置を指定できます。
 また追加した項目を選択して、ドラッグアンドドロップをすることで順番を入れ替えることができます。
 削除する場合は追加された項目を選択して、お使いのキーボードのDeleteキーで削除してください。

4. OCR の検出領域を指定するために、スキャナーに原稿をセットしてから [スキャン] をクリックします。



5. [スキャン設定] 画面で [OK] をクリックします。

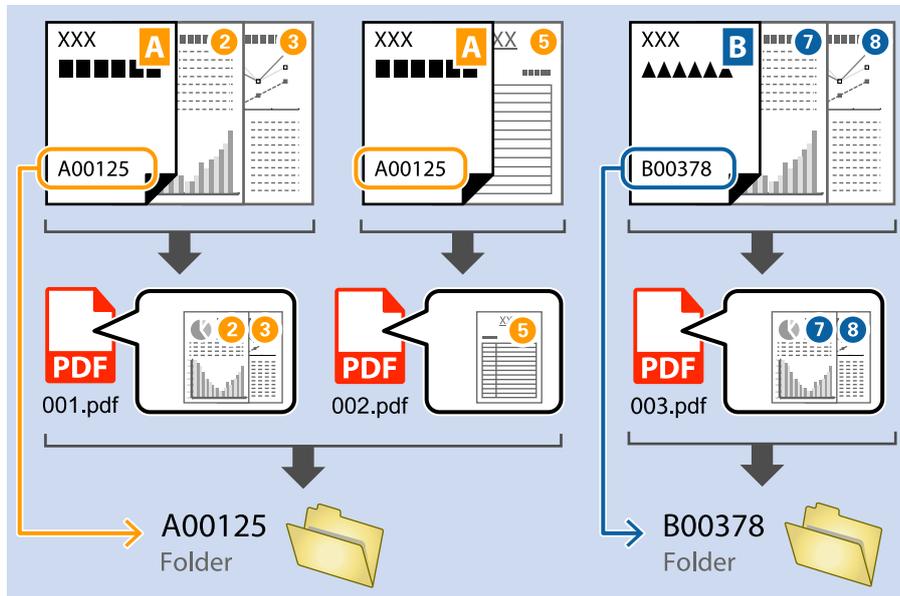


6. スキャンした画像のプレビューで、読み取る文字の検出領域を指定します。始点をクリックしてドラッグすると、青色の囲み線が表示されて範囲指定できます。



参考

- 「検出結果の最大文字数」では、検出領域で読み取れる文字のうち、フォルダー名に使用する最大文字数を指定できます。
- 仕分けに利用したページの保存が不要な場合は、「仕分けページを削除する」にチェックを入れてください。仕分け後に不要なページを削除して保存できます。



- 文字が正しく読み取れたか確認したい場合は、「認識結果を確認する」にチェックを入れてください。スキャン後に表示される画面で、認識された領域や文字が確認できます。また、領域を指定し直して再認識させたり、文字を訂正したりすることもできます。

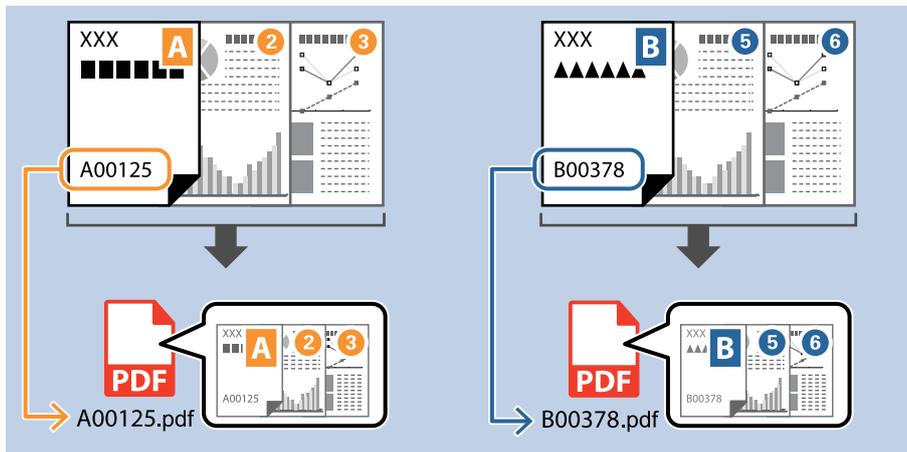


関連情報

- ➔ 「原稿のセット方法」 36ページ
- ➔ 「Document Capture Proでスキャンする (Windows)」 70ページ

OCRで読み取った文字をファイル名にして保存する

OCR (スキャンした画像から文字情報を検出し、文字データに変換する機能) を使うと、指定した領域から文字を読み取り、その文字でファイルを分割したり、フォルダーを作成して保存したりすることができます。ここでは、「ファイル名にOCRの文字を使用して保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



2. [ジョブ仕分けする] を選択し、[仕分け方法] を [OCR] に設定し、[仕分け設定] をクリックします。

ジョブ設定

2. 保存
ファイル名、ファイル形式や仕分けなどの保存設定をします。

ジョブ名: sample

ヘルプ

1. スキャン
取込装置: ADF-片面
原稿サイズ: 自動検知
イメージタイプ: 自動

2. 保存
ファイル名: img20xxxxxx_001.pdf
保存形式: PDF
保存フォルダー: C:\Users
仕分け方法: OCR

3. インデックス
インデックス項目 6

4. 転送
転送先: 何もしない

5. 設定確認/テスト
アイコン:

ファイル名(例): img20xxxxxx_001.pdf

ファイル名: img20xxxxxx_ページカウンター

ファイル名の項目 ▼ 詳細設定

保存形式: PDF

保存設定

保存フォルダー: C:\Users

参照…

ジョブ仕分けする

仕分け方法: OCR

仕分け設定

保存前にページの編集画面を表示する

保存 戻る 次へ

3. [仕分け設定] 画面で [認識対象] から読み取る文字の種類を選択します。

仕分け設定

認識対象: OCR-A

抽出結果の照合文字列: JU

認識結果を確認する

仕分けページを削除する

フォルダーを作成する

フォルダー名(例): [OCR]

フォルダー名: OCR

フォルダー名の項目 ▼ 詳細設定

2段階で仕分けを行う

仕分け方法: バーコード

仕分け設定

OK キャンセル

スキャンしてから検出領域を設定してください。

スキャン

4. OCR の検出領域を指定するために、スキャナーに原稿をセットしてから [スキャン] をクリックします。



5. [スキャン設定] 画面で [OK] をクリックします。



6. スキャンした画像のプレビューで、読み取る文字の検出領域を指定します。始点をクリックしてドラッグすると、青色の囲み線が表示されて範囲指定できます。[OK] をクリックして [ジョブ設定] 画面に戻ります。



7. [詳細設定] をクリックします。



参考 [ファイル名の項目] から [OCR] を選択するためには、[詳細設定] で設定をしてから選択してください。

8. [名前の詳細設定] 画面で [OCR] を選択し、[認識対象] から読み取る文字の種類を選択します。
読み取る文字の種類は手順3と同じ設定にしてください。



9. OCR の検出領域を指定するために、スキャナーに原稿をセットしてから [スキャン] をクリックします。



10. [スキャン設定] 画面で [OK] をクリックします。



11. スキャンした画像のプレビューで、読み取る文字の検出領域を指定します。始点をクリックしてドラッグすると、青色の囲み線が表示されて範囲指定できます。手順5と同じ領域を指定してください。



参考

- ・ [検出結果の最大文字数] では、検出領域で読み取れる文字のうち、ファイル名に使用する最大文字数を指定できます。
- ・ 文字が正しく読み取れたか確認したい場合は、[認識結果を確認する] にチェックを入れてください。スキャン後に表示される画面で、認識された領域や文字が確認できます。また、領域を指定し直して再認識させたり、文字を訂正したりすることもできます。



12. [ファイル名の項目] から [OCR] を選択します。



- 参考** カーソルで [ファイル名の項目] を追加する位置を指定できます。
また追加した項目を選択して、ドラッグアンドドロップをすることで順番を入れ替えることができます。
削除する場合は追加された項目を選択して、お使いのキーボードのDeleteキーで削除してください。

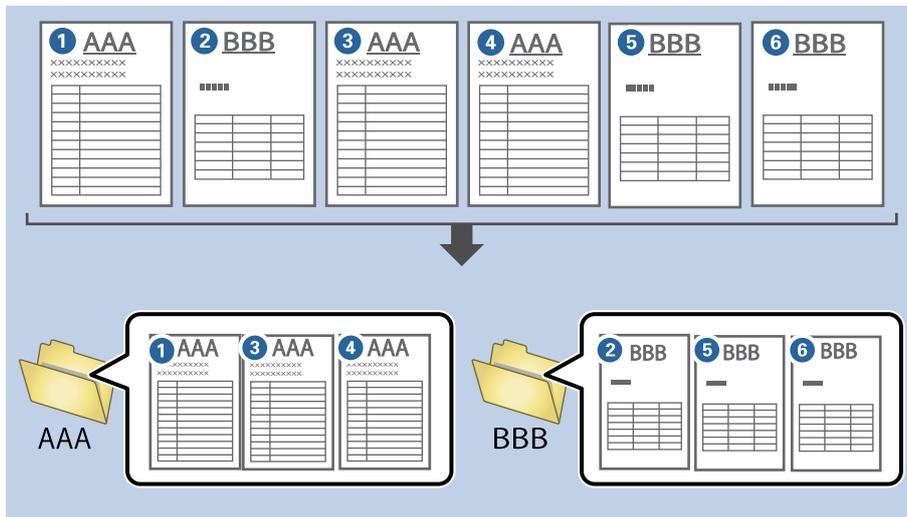
関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」 36ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Proでスキャンする \(Windows\) 」 70ページ](#)

帳票ごとにフォルダーを作成して保存する

登録した帳票情報を使い、スキャンしたデータを帳票の種類ごとに分類し、フォルダーを作成して保存することができます。

ここでは、「帳票で仕分けし、帳票の種類をフォルダー名にして保存する」というジョブの設定方法を説明します。



1. [ジョブ設定] 画面を表示し、[2. 保存] タブをクリックします。



2. [ジョブ仕分けする] にチェックを入れて、[仕分け方法] で [帳票] を選択し、[仕分け設定] をクリックします。



3. 仕分け設定画面で [追加] をクリックします。

仕分け設定

全ての帳票

追加 編集 削除

一致レベル 標準

回転した帳票も検出する

認識できなかった帳票を[未分類]帳票とする

確認画面を表示する

仕分けページを削除する

フォルダを作成する

フォルダ名(例):

フォルダ名: folder ページカウンター

フォルダ名の項目 詳細設定

2段階で仕分けを行う

仕分け方法: バーコード

仕分け設定

OK キャンセル

参考 すでに登録されている帳票を仕分けに使いたい場合は、その帳票名にチェックを入れてください。登録した帳票情報を編集したい場合は、対象の帳票を選択して [編集] をクリックしてください。

4. 登録したい帳票の原稿をスキャナーにセットし、[スキャン] をクリックします。

仕分け設定

全ての帳票

追加 編集 削除

一致レベル 標準

回転した帳票も検出する

認識できなかった帳票を[未分類]帳票とする

確認画面を表示する

仕分けページを削除する

フォルダを作成する

フォルダ名(例):

フォルダ名: folder ページカウンター

フォルダ名の項目 詳細設定

2段階で仕分けを行う

仕分け方法: バーコード

仕分け設定

[スキャン] で原稿をスキャンしてください。

帳票名:

登録 キャンセル

スキャン

OK キャンセル

参考 帳票情報は原稿が複数ページあった場合でも、1ページのみ保存されます。

5. [スキャン設定] 画面でスキャンに関する設定を行い、[OK] をクリックします。

The screenshot shows the 'スキャン設定' (Scan Settings) dialog box. It contains several configuration options:

- スキャン設定名: (現在の設定) [保存] [削除]
- 取込装置: ADF-片面
- 原稿サイズ: 自動検知
- イメージタイプ: 自動
- 回転: なし
- 解像度: 低解像度 (200dpi) [200] dpi
 - 文字くきり
 - 傾き補正
 - 白紙ページ除去
- スキャン中にプレビューを表示する
- スキャン終了後に継続確認を表示する

Buttons at the bottom: ヘルプ, **OK** (highlighted), キャンセル.

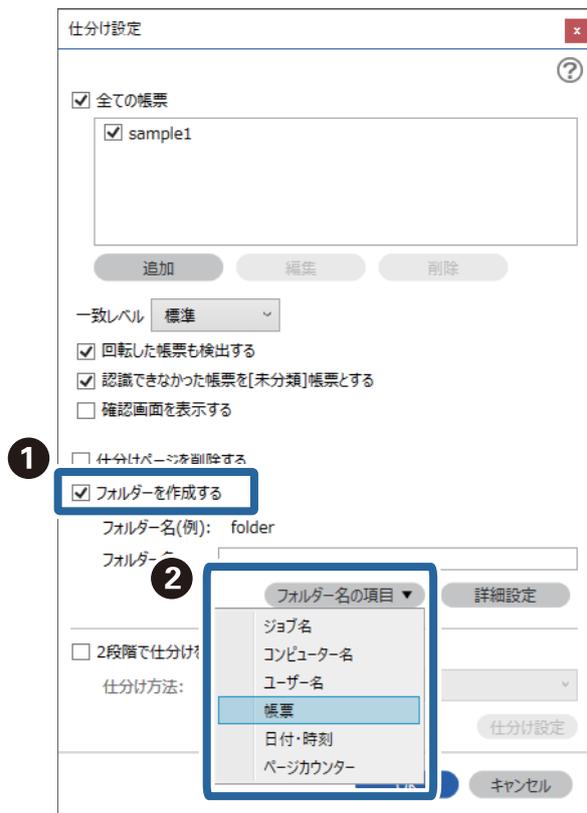
6. 帳票名を入力し、[登録] をクリックします。

The screenshot shows the '仕分け設定' (Job Settings) dialog box. It includes a list of forms and various checkboxes for scanning options. The '帳票名' (Form Name) field is highlighted with a blue box and contains the text 'sample1'.

Buttons at the bottom: OK, キャンセル.

7. 手順3から6を繰り返して、仕分け時に対象となる帳票情報を全て登録します。

8. 「フォルダーを作成する」にチェックを入れて、「フォルダー名の項目」から「帳票」を選択します。



「フォルダー名」に「帳票」が追加されます。

関連情報

- ➔ [「原稿のセット方法」36ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Proでスキャンする \(Windows\)」70ページ](#)

e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン

本製品では、以下のe-文書法および電子帳簿保存法の要件を満たした設定でスキャンできます。

解像度	200 dpi以上	
階調	重要書類	24 bit (RGB各色8 bit)
	一般書類	24 bit (RGB各色8 bit) または8 bitグレースケール
保存形式	PDF、JPEG、TIFF、BMP	
画質	<ul style="list-style-type: none"> • 改ざん痕を検出できる階調 • 4ポイントの文字を認識できる 	

スキャンの設定方法

Epson Scan 2 の画面の [お気に入り設定] で、[e-文書(カラー)] または [e-文書(グレー)] を選択してからスキャンしてください。

Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンを押して、Epson Scan 2 の画面を開きます。

参考 保存形式などを変更するときは、e-文書法または電子帳簿保存法の要件を満たしていることを確認してください。

電子化文書作成時の注意

電子化文書作成時には、以下の点を必ずご確認ください。

- 本製品は、e-文書法および電子帳簿保存法に適合した設定でスキャンできますが、スキャンしただけでは適正な電子化文書として認められません。必ず各法令およびガイドラインに従ってスキャンしたデータを管理、運用してください。
- スキャンした画像を必ず目視で確認してください。
 - 文字や画像などが欠けたりぼやけたりしていないこと
 - ページ抜けがないこと
- スキャンした画像データの加工・修正は行わないでください。
- 国税関係書類を電子化文書として保存して紙原本を廃棄するためには、法令に従い、対応するシステム、業務規程作成、運用管理などの法的要件を満たした上で、事前に所轄税務署の承認を得る必要があります。
- 法令などは予告なく変更される場合があります。必ず事前にご自身で確認してください。

便利な機能

ガラス面汚れ検知機能を設定する	138
原稿保護機能を設定する	139
重送検知時の動作を設定する	140

ガラス面汚れ検知機能を設定する

スキャナー内部のガラス面に付いているゴミや汚れが原因で、画像に縦線が出ることがあります。

〔ガラス面汚れ検知〕をオンに設定すると、スキャナー内部のガラス面の汚れを検知してコンピューターの画面にお知らせを表示します。

お知らせが表示されたときは、スキャナー内部のガラス面を専用のクリーニングキットまたは柔らかい布で清掃してください。

工場出荷時設定は〔オフ〕です。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、〔EPSON〕 - 〔Epson Scan 2ユーティリティ〕の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、〔すべてのプログラム〕（または〔プログラム〕） - 〔EPSON〕 - 〔Epson Scan 2〕 - 〔Epson Scan 2ユーティリティ〕の順に選択します。
- Mac OS
〔移動〕 - 〔アプリケーション〕 - 〔Epson Software〕 - 〔Epson Scan 2ユーティリティ〕の順に選択します。

2. 〔本体設定〕タブで以下の設定をします。

〔ガラス面汚れ検知〕を〔オン（低感度）〕または〔オン（高感度）〕に設定します。



参考

- 汚れによっては正しく検知できません。
- 正しく検知できないときは、設定を変更してみてください。
汚れを検知できないときは、〔オン（高感度）〕を選択します。汚れが誤って検知されるときは、〔オン（低感度）〕または〔オフ〕を選択します。

3. 〔適用〕をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

関連情報

➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

- ➔ 「ADFでスキャンした画像に直線が現れる」171ページ
- ➔ 「ガラス面の汚れの通知が消えない」172ページ

原稿保護機能を設定する

以下の状態を検知したときにすぐにスキャンを停止して、原稿の破損を軽減します。

- 給紙エラーが発生した
- 原稿が傾いて給紙された

工場出荷時設定は [オン (中感度)] です。

- 重要**
- この機能は全ての原稿の破損を防止できるものではありません。
 - 給紙の状態によっては、給紙エラーを検知できないことがあります。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

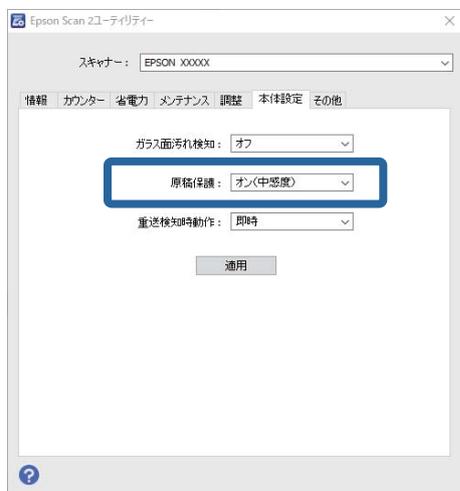
2. [本体設定] タブで以下の設定をします。

[原稿保護] を [オン (低感度)] または [オン (中感度)]、[オン (高感度)] に設定します。

この機能を有効にするには、検知のレベルを選択します。各レベルの詳細は、以下の表をご覧ください。

レベル	説明
オン (低感度)	感度を下げて原稿の傾きを検知します。
オン (中感度)	ステーブラーで留めたままの原稿の傾きや、[オン (低感度)] で検知できなかった傾きを検知します。

レベル	説明
オン（高感度）	感度を上げて原稿の傾きを検知します。



- 参考**
- 原稿、給紙の状態、およびセットしたレベルによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。
 - プラスチックカードや厚紙をスキャンするときは、[オフ]を選択してこの機能を無効にしてください。
 - 誤検知が頻繁に起こるときは、レベルを下げてください。
 - 原稿が不定形だったり、斜めにスキャンされたりした場合は、給紙エラーと誤って検知することがあります。
 - 複数枚の原稿をセットする場合は、原稿の先端を確実に揃えてください。原稿の先端が揃っていないと、正しくスキャンされていても、給紙エラーと誤って検知することがあります。
 - 原稿が斜めにスキャンされないように、必ず原稿ガイドを原稿に合わせてください。

3. [適用] をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

重送検知時の動作を設定する

原稿の重送を検知したときの停止タイミングを設定します。

- 即時：重送を検知するとすぐに停止します。
- 原稿排出後：重送と検知された原稿はそのままスキャンして、次の原稿の給紙を一時的に停止します。スキャンした画像に問題がなければ、そのままスキャンを再開できます。

工場出荷時設定は [即時] です。

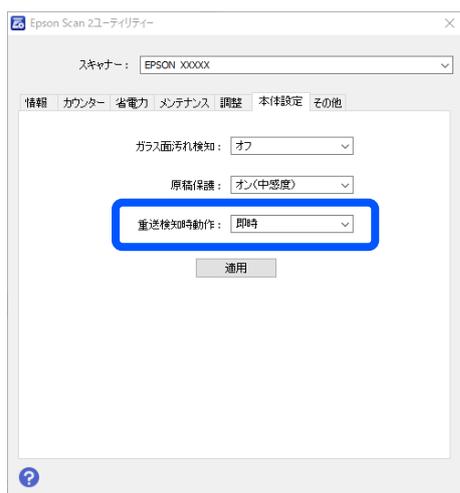
1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [本体設定] タブで以下の設定をします。

[重送検知時動作] を [即時] または [原稿排出後] に設定します。



3. [適用] をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

メンテナンス

スキャナーの外部をクリーニングする	143
スキャナーの内部をクリーニングする	143
給紙ローラーキットを交換する	149
節電の設定をする	155
スキャナーを輸送する	156
ソフトウェアやファームウェアを更新する	156

スキャナーの外部をクリーニングする

スキャナーの外側のケースが汚れたときは、乾いた布や、中性洗剤や水に浸してよく絞った布で拭き取ります。

- ！重要**
- アルコールやシンナーなどの揮発性薬品は使用しないでください。変形や変色のおそれがあります。
 - スキャナーの内部に水分が入らないように注意してください。正常に動作しなくなるおそれがあります。
 - スキャナーを絶対に分解しないでください。

1. 電源ボタンを押してスキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーからACアダプターを取り外します。
3. 中性洗剤や水に浸してよく絞った布で、外側のケースの汚れを拭き取ります。

スキャナーの内部をクリーニングする

スキャンを繰り返していると、スキャナー内部のローラーやガラス部品などに紙粉やホコリが付着して、給紙不良やスキャン品質不良の原因となります。5,000枚のスキャンを目安に、スキャナー内部をクリーニングしてください。

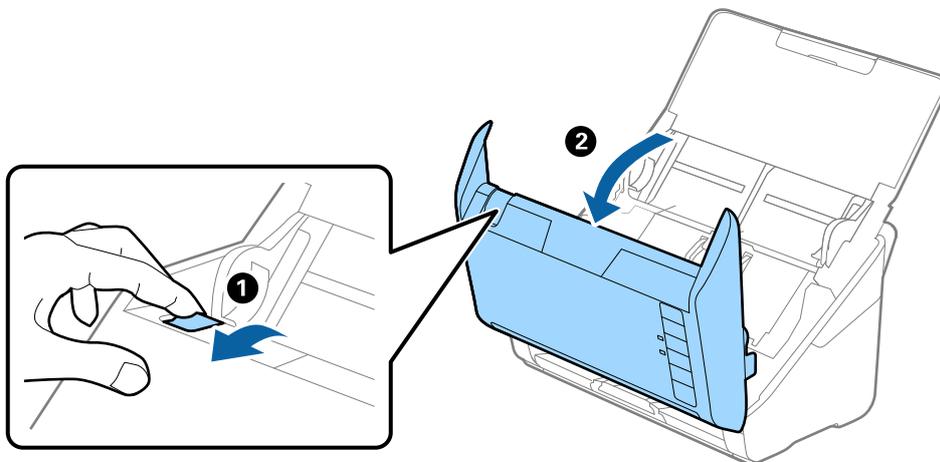
現在のスキャン枚数は、Epson Scan 2ユーティリティで確認できます。

汚れがひどいときは、専用のクリーニングキットを使用してください。クリーニングクロスに少量のクリーナーを含ませて汚れを拭き取ります。

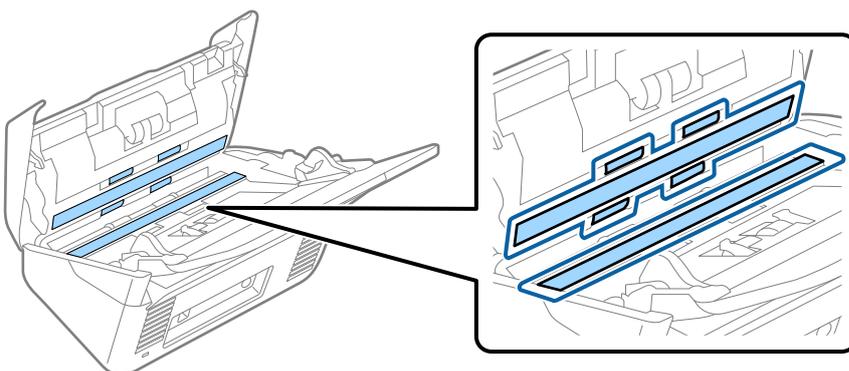
- ！重要**
- アルコールやシンナーなどの揮発性薬品は使用しないでください。変形や変色のおそれがあります。
 - スキャナーに液体をかけたり、潤滑剤などを直接スプレーしたりしないでください。装置や回路が損傷して、正常に動作しなくなるおそれがあります。
 - スキャナーを絶対に分解しないでください。

1. 電源ボタンを押してスキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーからACアダプターを取り外します。

3. カバー開閉レバーを引いて、スキャナーカバーを開けます。



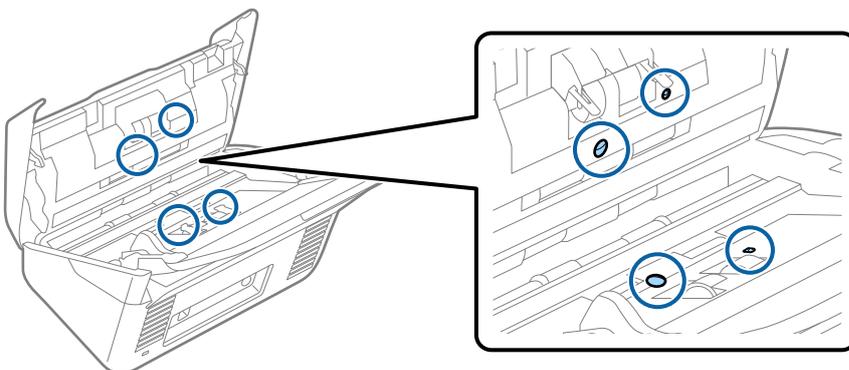
4. 柔らかい布または専用のクリーニングキットで、スキャナーカバー内側のプラスチックローラーおよび底部のガラス面の汚れを拭き取ります。



！重要

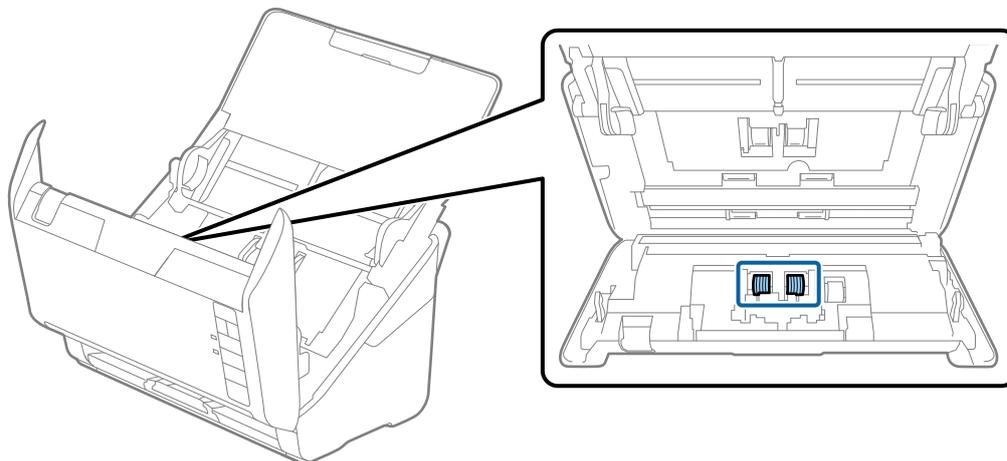
- ガラス面に強い力をかけないでください。
- ブラシや硬いものを使用しないでください。ガラス面に傷が付くと、スキャン品質に影響します。
- ガラス面にクリーナーを直接スプレーしないでください。

5. 綿棒で、センサーの汚れやホコリを拭き取ります。

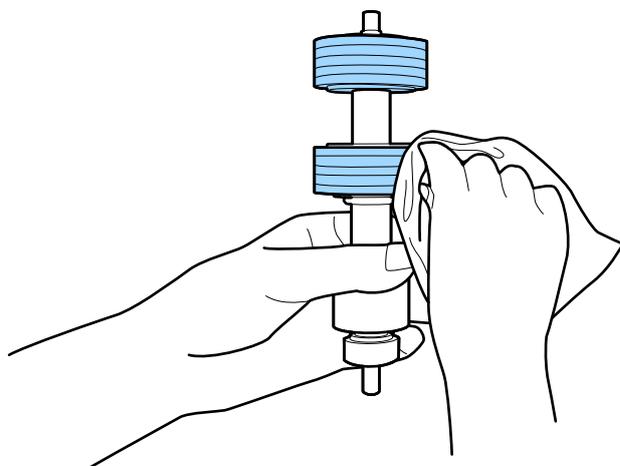


！重要 綿棒にはクリーナーなどの液体を染み込ませないでください。

6. 分離ローラーのカバーを開けて、分離ローラーを取り外します。
取り外し方は、給紙ローラーキットの交換手順のページをご覧ください。



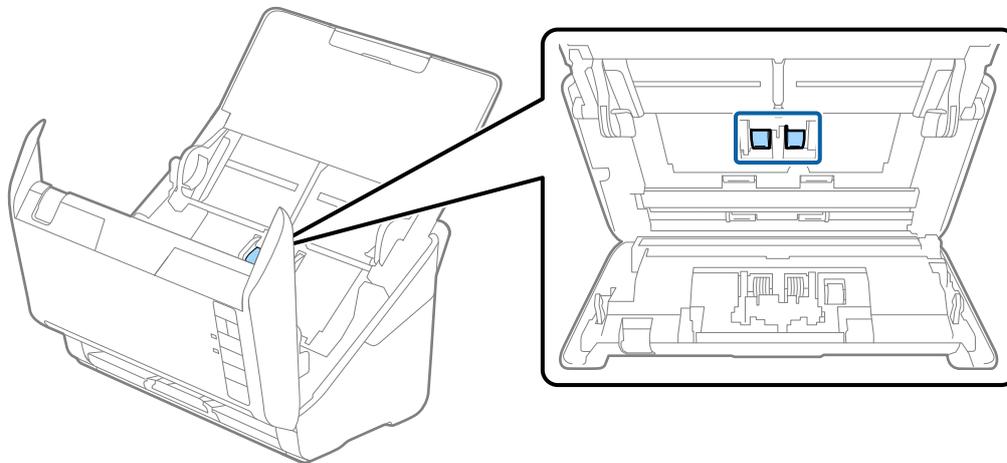
7. 専用のクリーニングキットまたは水を少し含ませた柔らかい布で、分離ローラーの汚れを拭き取ります。



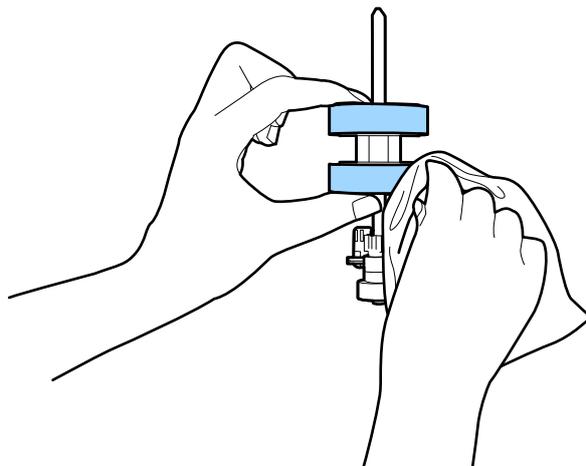
！重要 乾いた布でローラーを拭かないでください。ローラーの表面を傷めることがあります。

8. 分離ローラーを取り付けます。
取り付け方は、給紙ローラーキットの交換手順のページをご覧ください。

9. 給紙ローラーのカバーを取り外して、給紙ローラーを取り外します。
取り外し方は、給紙ローラーキットの交換手順のページをご覧ください。



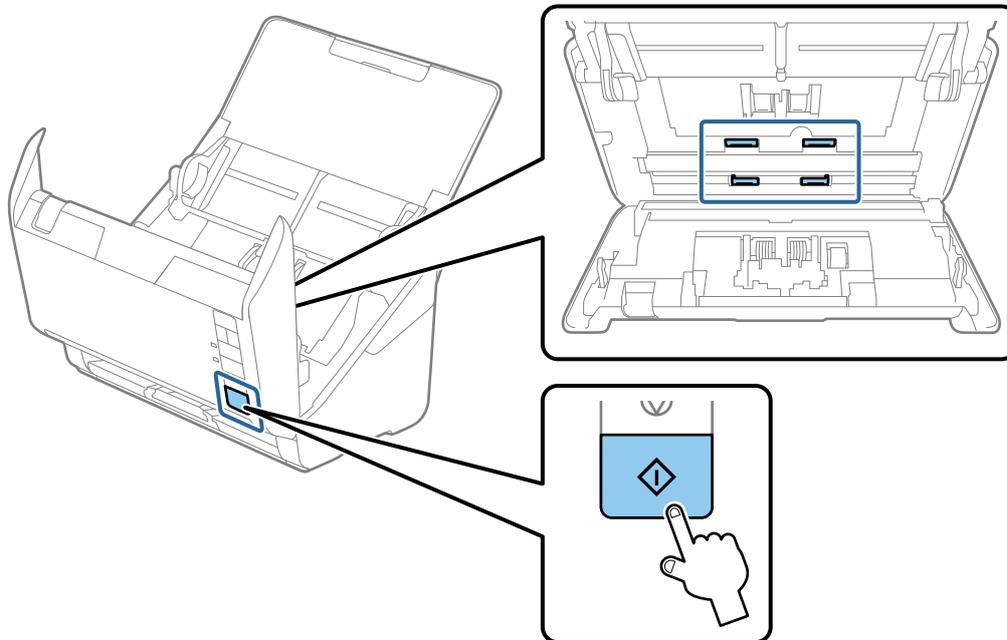
10. 専用のクリーニングキットまたは水を少し含ませた柔らかい布で、給紙ローラーの汚れを拭き取ります。



！重要 乾いた布でローラーを拭かないでください。ローラーの表面を傷めることがあります。

11. 給紙ローラーを取り付けます。
取り付け方は、給紙ローラーキットの交換手順のページをご覧ください。
12. ACアダプターを接続し、スキャナーの電源を入れます。

13. スキャナーカバーを開けた状態で ◊ ボタンを2秒以上押します。底部のゴムローラーが一瞬動いてクリーニングモードに入ります。以降、◊ ボタンを押すたびにローラーが少し回転します。◊ ボタンでローラーを回転させます。専用のクリーニングキットまたは水を少し含ませた柔らかい布で、ローラーを拭きます。ローラーがきれいになるまで、この作業を繰り返します。



⚠ 注意 ローラーの動作中は、手や髪の毛などが巻き込まれないように注意してください。けがをするおそれがあります。

14. スキャナーカバーを閉めます。
ローラーのクリーニングモードが終了します。

関連情報

- ➔ [「クリーニングキットの型番」 30ページ](#)
- ➔ [「給紙ローラーキットを交換する」 149ページ](#)

定期清掃の後、スキャン枚数をリセットする

定期清掃後は、Epson Scan 2ユーティリティでスキャン枚数をリセットします。

1. スキャナーの電源を入れます。
2. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
[スタート] 画面から [アプリ] - [Epson] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

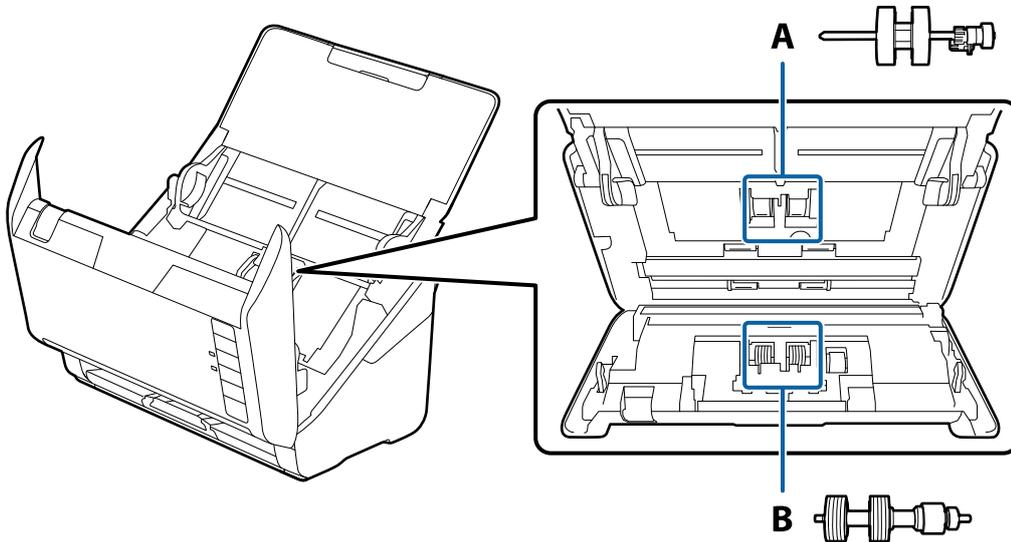
3. [メンテナンス] タブをクリックします。
4. [定期清掃] の [リセット] をクリックします。

参考 [定期清掃を通知] を選択していないと、リセットできません。



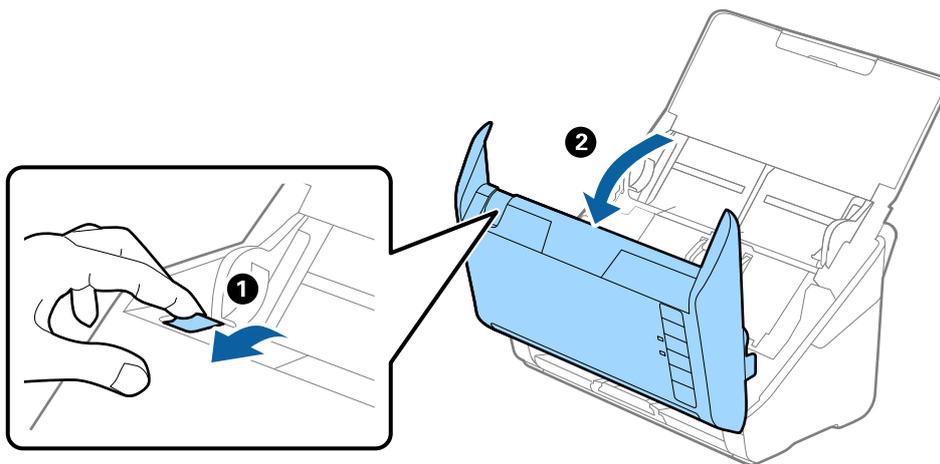
給紙ローラーキットを交換する

スキャン枚数が耐用枚数を超えると、給紙ローラーキット（給紙ローラーと分離ローラー）の交換が必要になります。コンピューターの画面に交換のメッセージが表示されたら、以下の手順で交換してください。

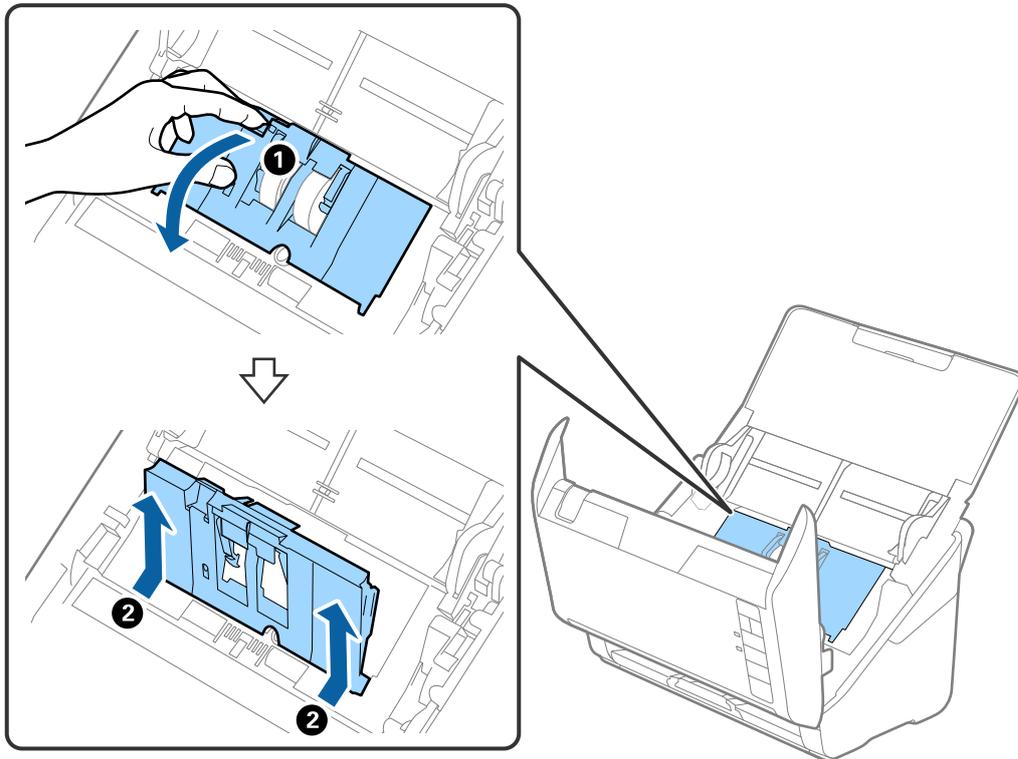


A：給紙ローラー、B：分離ローラー

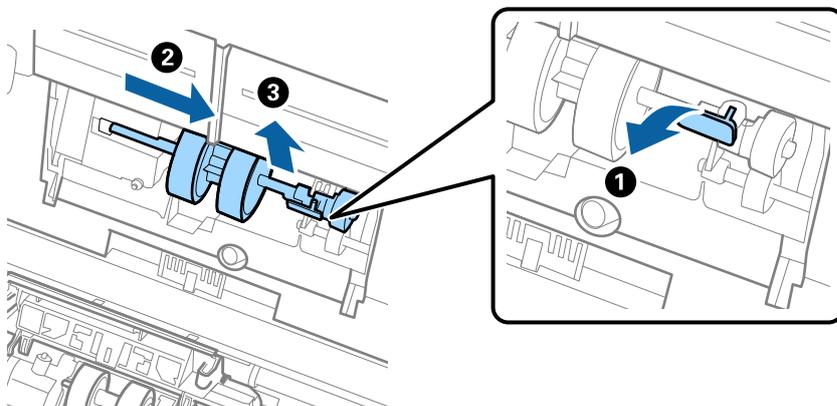
1. 電源ボタンを押してスキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーからACアダプターを取り外します。
3. レバーを引いてスキャナーカバーを開けます。



4. 給紙ローラーのカバーを開け、スライドして取り外します。

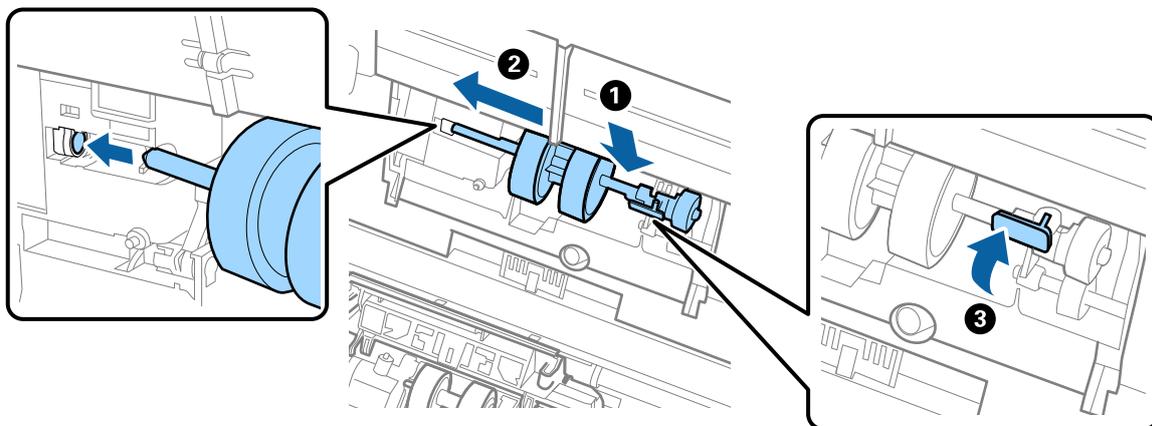


5. ローラー軸の固定具を手前に倒し、給紙ローラーをスライドして取り外します。

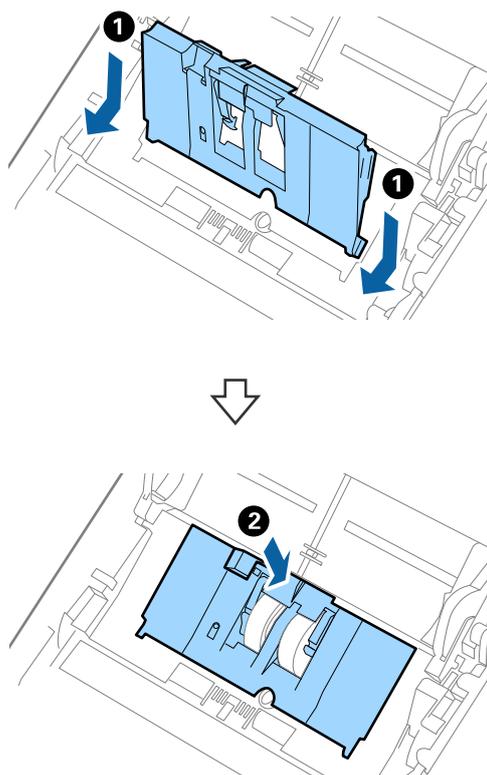


！重要 給紙ローラーを無理に引き抜かないでください。スキャナー内部が破損するおそれがあります。

6. 新しい給紙ローラーを、固定具を手前に倒した状態で左側にスライドし、本体の穴に差し込みます。固定具を奥に戻して固定します。

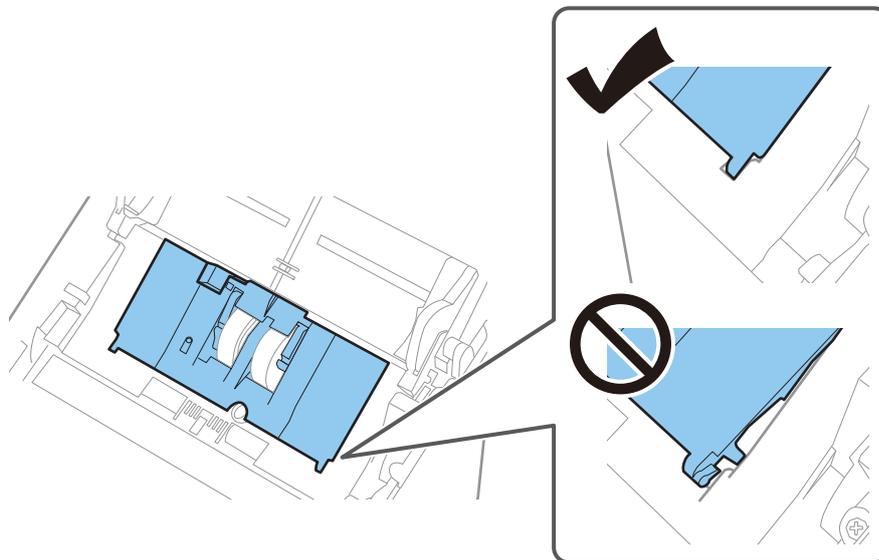


7. 給紙ローラーのカバーの先端を溝に入れてスライドします。カバーをしっかりと閉めます。

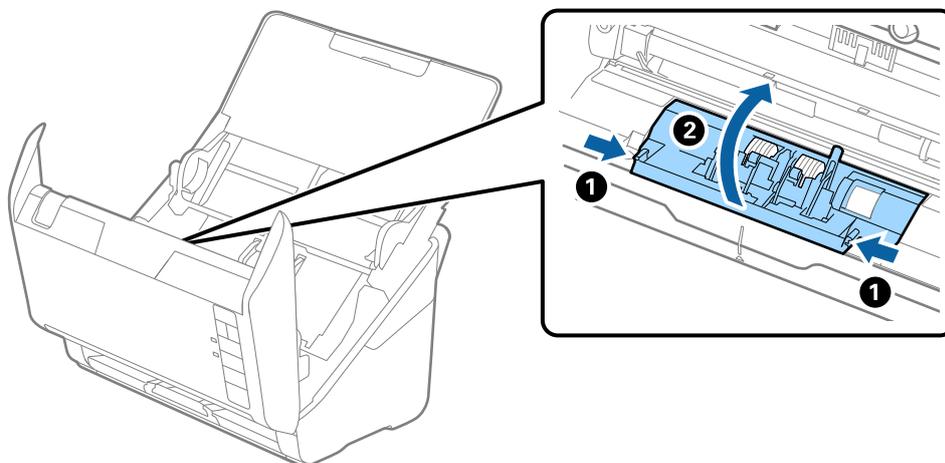


！重要

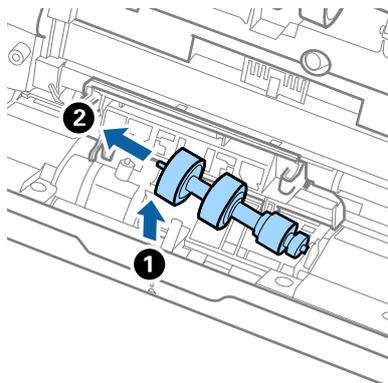
- カバーは必ず取り付けてください。
- カバーが閉まりにくい場合は、給紙ローラーが正しく装着されているか確認してください。
- カバーは浮いた状態で取り付けないでください。



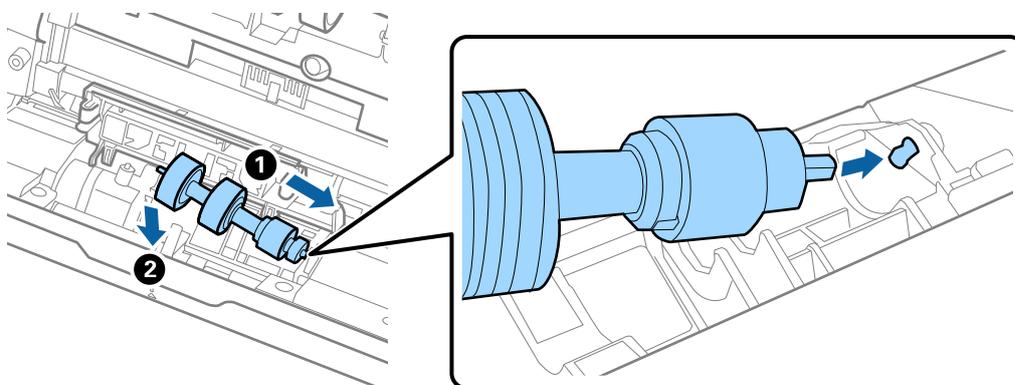
8. 分離ローラーのカバー両端のフックを押して、カバーを開けます。



9. 分離ローラーの左側を少し持ち上げ、スライドして取り外します。



10. 新しい分離ローラーの軸を右側の穴に差し込み、ローラーを落とし込みます。



11. 分離ローラーのカバーを閉めます。

！重要 カバーが閉まりにくい場合は、分離ローラーが正しく装着されているか確認してください。

12. スキャナーカバーを閉めます。

13. ACアダプターを接続し、スキャナーの電源を入れます。

14. Epson Scan 2ユーティリティでスキャン枚数をリセットします。

参考 交換後の給紙ローラーと分離ローラーは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。分解はしないでください。

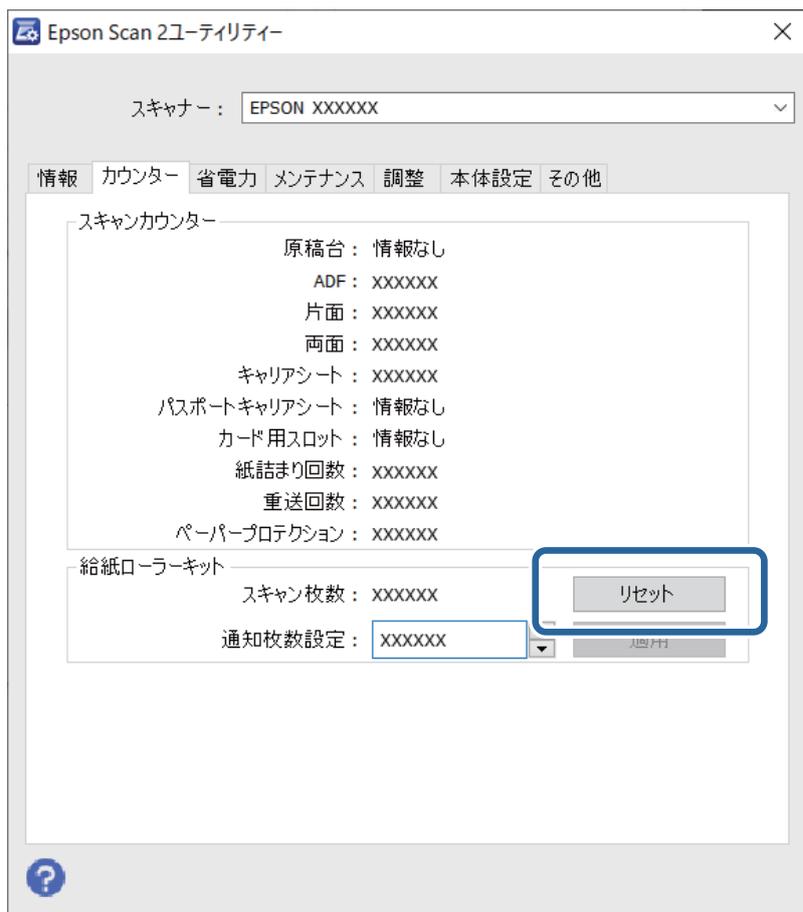
関連情報

➔ [「給紙ローラーキットの型番」29ページ](#)

ローラーを交換した後、スキャン枚数をリセットする

給紙ローラーキットを交換した後は、Epson Scan 2ユーティリティでスキャン枚数をリセットします。

1. スキャナーの電源を入れます。
2. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
[スタート] 画面から [アプリ] - [Epson] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
 - Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
3. [カウンター] タブをクリックします。
4. [給紙ローラーキット] の [リセット] をクリックします。



関連情報

➔ [「給紙ローラーキットを交換する」149ページ](#)

節電の設定をする

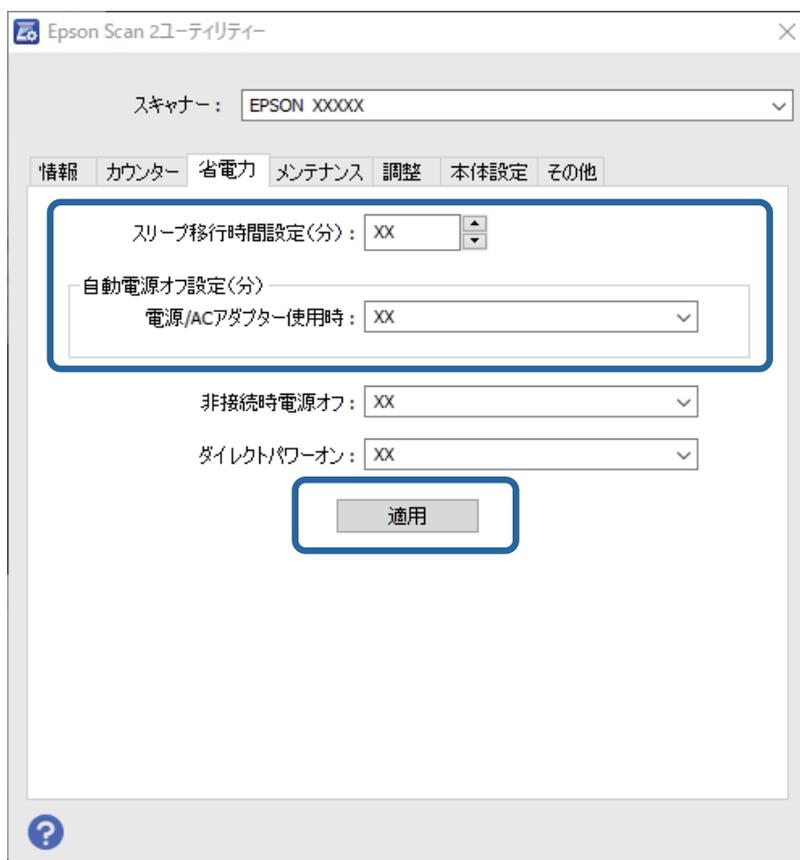
スキャナーが動作していない状態が続いたときに、省電力のスリープモードに移行する、または自動で電源が切れる設定にしておくことで節電できます。スリープモードに移行するまでの時間、電源が切れるまでの時間も設定できます。設定によってエネルギー効率に影響します。環境にご配慮ください。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
[スタート] 画面から [アプリ] - [Epson] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [省電力] タブをクリックします。

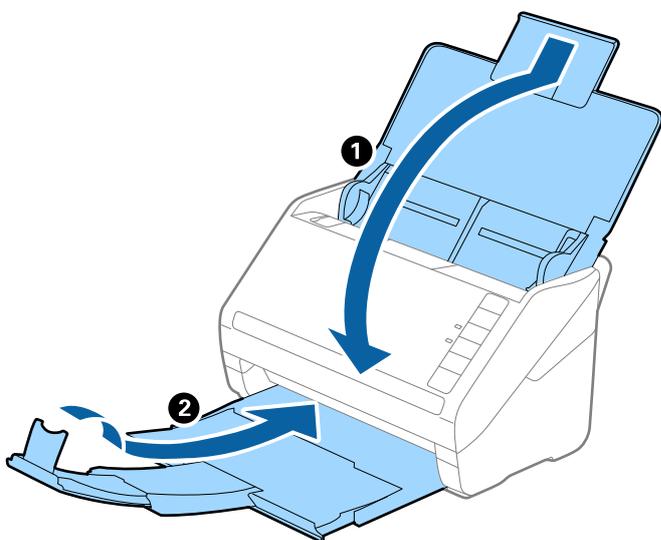
3. [スリープ移行時間設定 (分)] または [自動電源オフ設定 (分)] を設定して、[適用] をクリックします。



スキャナーを輸送する

スキャナーを修理に出すときや、引っ越しなどで輸送するときは、以下の手順で梱包します。

1. 電源ボタンを押してスキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーからACアダプターを取り外します。
3. USBケーブルを取り外します。
4. 給紙トレイを閉めて、排紙トレイを収納します。



！重要 排紙トレイはしっかり閉めてください。輸送中に破損することがあります。

5. 保護材を取り付け、購入時の梱包箱か丈夫な箱に入れて梱包します。

ソフトウェアやファームウェアを更新する

ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができます。最新版のソフトウェアやファームウェアをお使いください。

！重要 更新中は、コンピューターやスキャナーの電源を切らないでください。

1. スキャナーとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。
2. EPSON Software Updaterを起動してソフトウェアまたはファームウェアを更新します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Mac OS
[Finder] - [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはEPSON Software Updaterでは更新できません。エプソンのウェブサイトで最新版のソフトウェアを確認してください。

www.epson.jp/support/

Web Configでファームウェアをアップデートする

スキャナーがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ- [ファームウェアアップデート] を選択します。

2. [確認開始] をクリックして、画面に従って操作します。

ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

スキャナーをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

参考 アップデートする前に、お使いのコンピューターに必ずEpson Scan 2をインストールしてください。Epson Scan 2がインストールされていないときは、再インストールしてください。

1. エプソンのウェブサイトですべてのファームウェアのリリースを確認します。

www.epson.jp/support/

- お使いのスキャナーのファームウェアがあれば、ダウンロードして、次の手順に進みます。
- ウェブサイトにお使いのスキャナーのファームウェア情報がなければ、すでに最新のファームウェアになっています。

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターとスキャナーをUSBケーブルで接続します。

3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。
Epson Firmware Updaterが起動します。
4. 画面の指示に従って操作します。

困ったときは

スキャナーのトラブル	160
スキャンを開始するときのトラブル	160
給紙のトラブル	168
スキャン品質のトラブル	171
Microsoft Exchange Online使用時のトラブル	176
ソフトウェアをアンインストールまたはインストールする	178

スキャナーのトラブル

スキャナーのランプにエラーが表示される

スキャナーのランプにエラーが表示されるときは、以下を確認してください。

- スキャナーに原稿が詰まっていないか確認してください。
- 原稿が重送されたときは、スキャナーカバーを開けて原稿を取り除きます。その後、スキャナーカバーを閉めてください。
- スキャナーカバーが閉まっているか確認してください。
- スキャナーがコンピューターに接続されているか確認してください。
ネットワークエラーが発生したときは、無線LAN (Wi-Fi) の接続設定を確認してください。
- Epson Scan 2がインストールされていることを確認してください。
- ファームウェアのアップデートに失敗してスキャナーがリカバリーモードになったときは、USB接続でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。
- スキャナーの電源を入れ直してください。トラブルが解決しないときは、本製品が正しく機能していない可能性があります。また、スキャナー内部のランプ交換が必要になることがあります。販売店にお問い合わせください。

関連情報

- ➔ [「ランプのエラー表示」 23ページ](#)
- ➔ [「原稿が頻繁に詰まる」 170ページ](#)

スキャナーの電源が入らない

- ACアダプターがスキャナーとコンセントに接続されているか確認してください。
- お使いのコンセントが機能しているか確認してください。別の機器をコンセントに接続し、電源が入るか確認してください。

スキャンを開始するときのトラブル

コンピューターからスキャンできない

スマートデバイスとスキャナーが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する (Windows)

Epson Scan 2ユーティリティを起動して、スキャナーとコンピューターの接続状態を確認します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、スキャンソフトウェアに付属してインストールされるソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
2. [Epson Scan 2ユーティリティ] 画面で [スキャナー] リストを開き [設定] をクリックして [スキャナーの設定] 画面を開きます。
すでに [Epson Scan 2ユーティリティ] 画面に [スキャナーの設定] 画面が表示されているときは、次の手順に進みます。
3. お使いのスキャナーが [スキャナーの設定] 画面に表示されないときは、スキャナーが検出されていません。
[追加] をクリックして、お使いのスキャナーを [ネットワークスキャナーの追加] 画面に追加してください。

スキャナーを検索できないときや、正しいスキャナーを選択してもスキャンできないときは、関連情報を確認してください。

関連情報

- ➔ [「ネットワークに接続できない」 162ページ](#)
- ➔ [「USB接続できない」 164ページ](#)
- ➔ [「接続できているのにスキャンできない」 165ページ](#)

接続状態を確認する (Mac OS)

Epson Scan 2ユーティリティを起動して、スキャナーとコンピューターの接続状態を確認します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、スキャンソフトウェアに付属してインストールされるソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
2. [Epson Scan 2ユーティリティ] 画面で [スキャナー] リストを開き [設定] をクリックして [スキャナーの設定] 画面を開きます。
すでに [Epson Scan 2ユーティリティ] 画面に [スキャナーの設定] 画面が表示されているときは、次の手順に進みます。
3. お使いのスキャナーが [スキャナーの設定] 画面に表示されないときは、スキャナーが検出されていません。
 アイコンをクリックして、ソフトウェアに変更を加えることを許可してください。
4.  アイコンをクリックして、お使いのスキャナーを [ネットワークスキャナーの追加] 画面に追加してください。

スキャナーを検索できないときや、正しいスキャナーを選択してもスキャンできないときは、関連情報を確認してください。

関連情報

- ➔ [「ネットワークに接続できない」 162ページ](#)
- ➔ [「USB接続できない」 164ページ](#)
- ➔ [「接続できているのにスキャンできない」 165ページ](#)

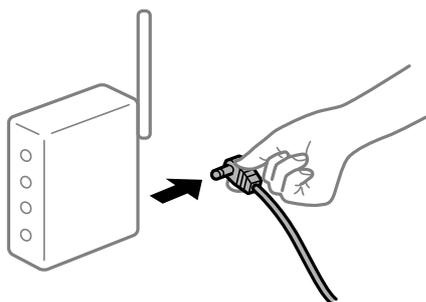
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

- 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続したい各デバイスの電源を切ってください。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、スキャナーの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



- 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとスキャナーを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

- 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない。

対処方法

新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

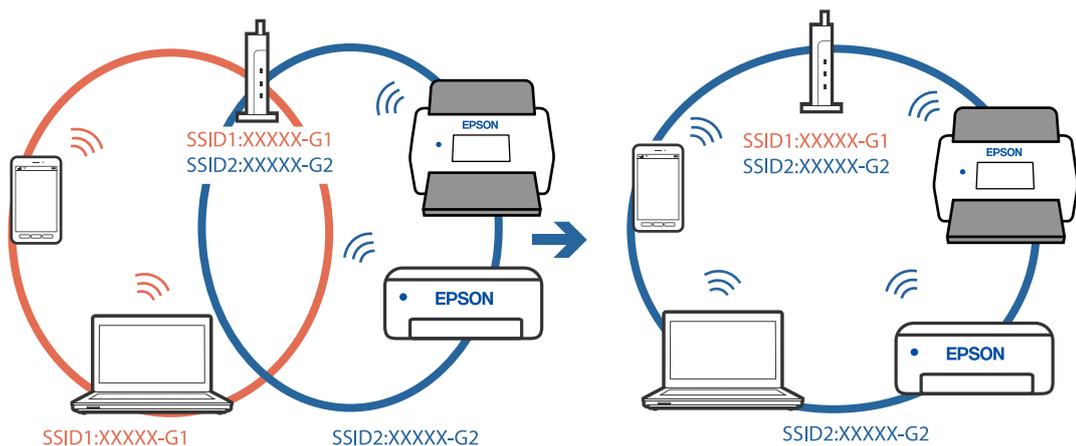
■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとスキャナーで異なります。

対処方法

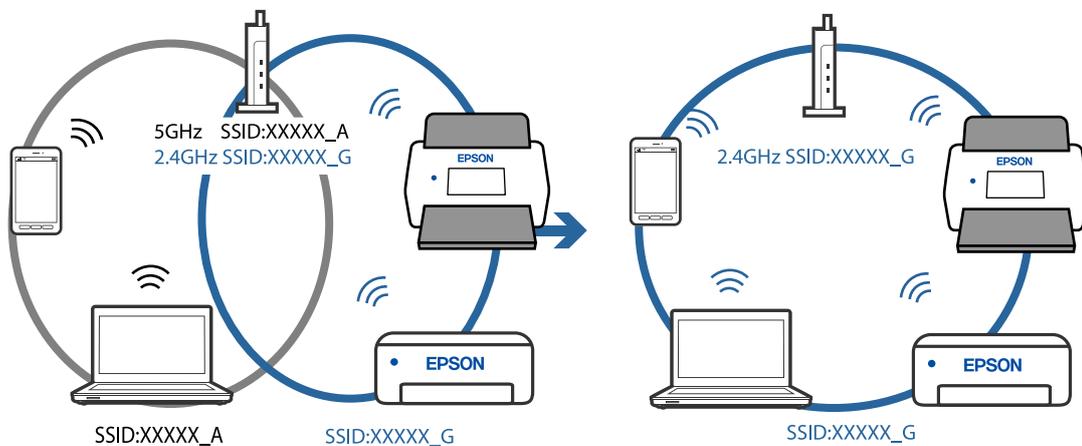
複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとスキャナーが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。

コンピューターやスマートデバイスをスキャナーと同じSSIDに接続してください。

- 異なるSSIDに接続している例



- 異なる周波数帯のSSIDに接続している例



■ ワイヤレスルーターのプライバシーセパレーター機能が有効です。

対処方法

多くの無線LANルーター（アクセスポイント）やモバイルルーターには、機器間の通信を遮断するプライバシーセパレーター機能があります。同じSSIDに接続されていてもスキャナーとコンピューターまたはスマートデバイス間で通信できない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のプライバシーセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

Epson Scan 2ユーティリティの[スキャナーの設定]画面で[追加]を選択してください。お使いの機種を選択し、IPアドレスを入力してから、[OK]を押します。

ワイヤレスルーターを再起動するか、スキャナーのネットワーク設定をリセットします。

■ コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを開覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

■ スキャナーの電源が入っていません。

対処方法

スキャナーの電源が入っているか確認してください。

また、スキャナーの電源ランプの点滅が点灯に変わり、使用できる状態になるまでお待ちください。

USB接続できない

以下の原因が考えられます。

■ USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

スキャナーとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

■ USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、スキャナーとコンピューターを直接接続してみてください。

■ USBケーブルが差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

■ スキャナーの電源が入っていません。

対処方法

スキャナーの電源が入っているか確認してください。

また、スキャナーの電源ランプの点滅が点灯に変わり、使用できる状態になるまでお待ちください。

接続できているのにスキャンできない

■ コンピューターに必要なソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

以下のソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

- Document Capture Pro (Windows) または Document Capture (Mac OS)
- Epson Scan 2

ソフトウェアがインストールされていないときは、再インストールしてください。

➔ [「ソフトウェアをインストールする」179ページ](#)

■ ジョブがスキャナーのボタンに割り当てられていません。

対処方法

Document Capture Pro (Windows) または Document Capture (Mac OS) で、スキャナーのボタンにジョブが割り当てられているか確認してください。

 Document Capture Pro または Document Capture では、Wi-Fi 接続時にスキャナーのボタンからジョブを実行することはできません。

■ TWAIN 準拠のソフトウェアを使用しているとき、正しいスキャナーを選択していません。(Windows)

対処方法

お使いのソフトウェアで正しいスキャナーが選択されているか確認してください。

スマートデバイスからスキャンできない

スマートデバイスとスキャナーが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する (スマートデバイス)

Epson Smart Panel を使って、スマートデバイスとスキャナーの接続状態を確認してください。

1. スマートデバイスで Epson Smart Panel を起動します。
2. Epson Smart Panel にお使いのスキャナー名が表示されるかどうかを確認します。
スキャナー名が表示されている場合は、スマートデバイスとスキャナーは接続しています。
スキャナーが選択されていないメッセージが表示された場合は、スマートデバイスとスキャナーは接続していません。Epson Smart Panel の案内に従って、スマートデバイスとスキャナーを接続してください。

お使いのスキャナーがネットワークに接続されていないときは、関連情報を確認してください。

関連情報

➔ [「ネットワークに接続できない」166ページ](#)

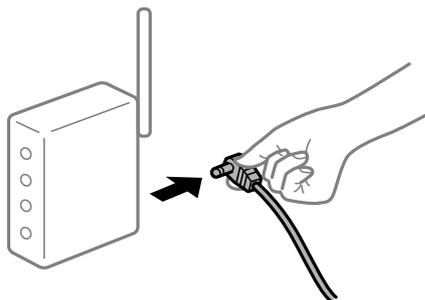
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

- 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続したい各デバイスの電源を切ってください。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、スキャナーの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



- 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとスキャナーを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

- 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない。

対処方法

新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

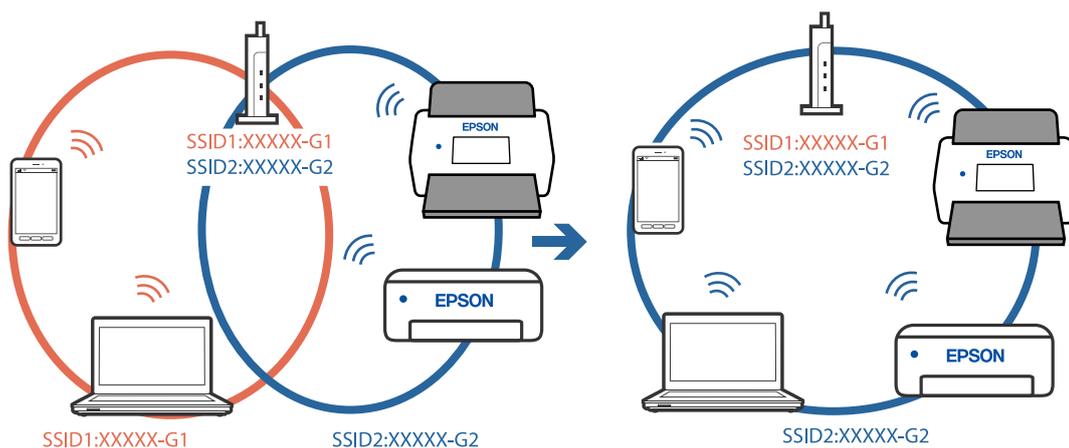
■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとスキャナーで異なっています。

対処方法

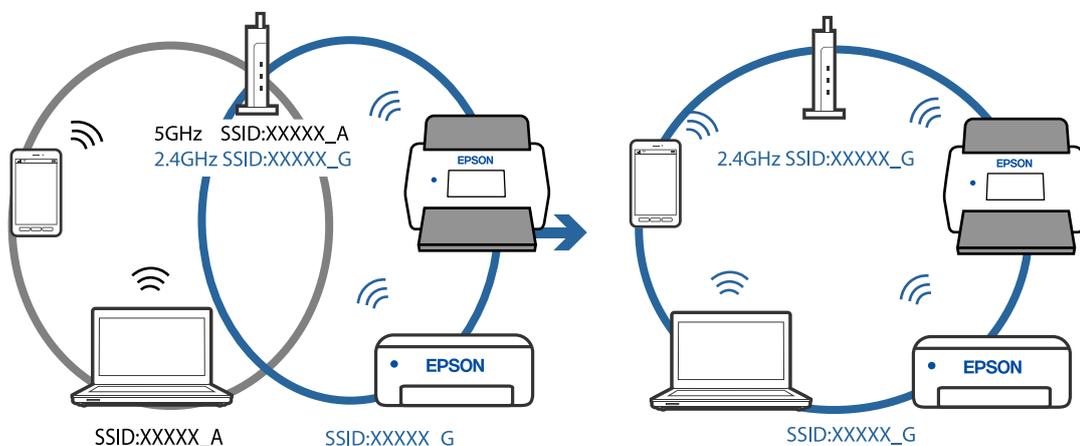
複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとスキャナーが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。

コンピューターやスマートデバイスをスキャナーと同じSSIDに接続してください。

- 異なるSSIDに接続している例



- 異なる周波数帯のSSIDに接続している例



■ ワイヤレスルーターのプライバシーセパレーター機能が有効です。

対処方法

多くの無線LANルーター（アクセスポイント）やモバイルルーターには、機器間の通信を遮断するプライバシーセパレーター機能があります。同じSSIDに接続されていてもスキャナーとコンピューターまたはスマートデバイス間で通信できない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のプライバシーセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

Epson Scan 2ユーティリティの [スキャナーの設定] 画面で [追加] を選択してください。お使いの機種を選択し、IPアドレスを入力してから、[OK] を押します。

ワイヤレスルーターを再起動するか、スキャナーのネットワーク設定をリセットします。

■ スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを開覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

■ スキャナーの電源が入っていません。

対処方法

スキャナーの電源が入っているか確認してください。

また、スキャナーの電源ランプの点滅が点灯に変わり、使用できる状態になるまでお待ちください。

給紙のトラブル

複数枚の原稿が一度に給紙される（重送）

重送が発生したときは、以下を確認してください。

- 詰まった原稿がスキャナーの内部にあるときは、スキャナーカバーを開けて原稿を取り除いて、スキャナーカバーを閉めます。
- スキャンした画像を確認して、必要に応じてもう一度スキャンします。

頻繁に重送される場合は、以下を試してください。

- セット時に注意が必要な（保証されていない）原稿をセットすると、重送されることがあります。
- スキャナー内部のローラーをクリーニングしてください。
- 一度にセットする原稿の枚数を少なくしてください。
- **▶** ボタンを押して、給紙速度を遅くしてください。
- [原稿待ち受けモード] を使って、原稿を1枚ずつスキャンしてください。
Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。

関連情報

- ➔ [「詰まった原稿を取り除く」169ページ](#)
- ➔ [「異なるサイズの原稿を1枚ずつスキャンする（原稿待ち受けモード）」97ページ](#)

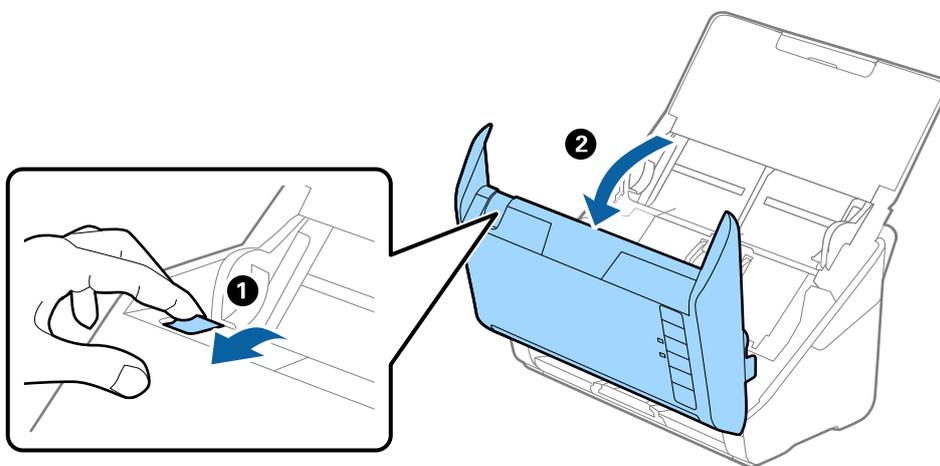
➔ 「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ

詰まった原稿を取り除く

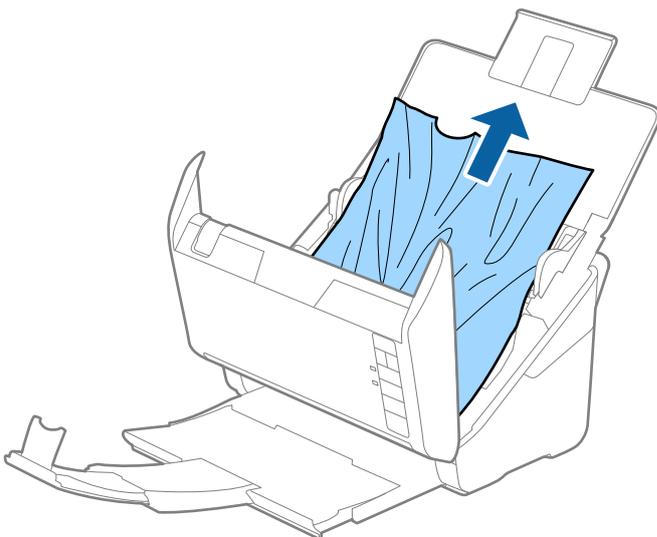
原稿が詰まったときは、以下の手順で取り除きます。

参考 Epson Smart Panelは、長尺紙（393.8 mm 以上）に対応していません。

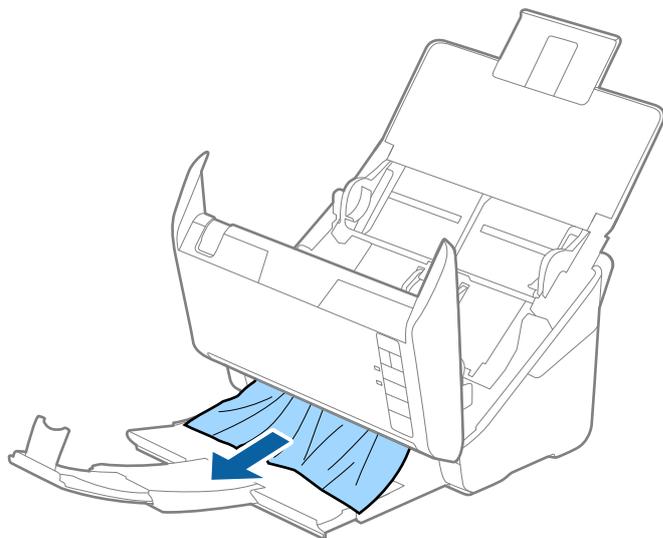
1. 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。
2. レバーを引いてスキャナーカバーを開けます。



3. 内部に詰まった原稿をゆっくり取り除きます。



4. 原稿をまっすぐ引き出せない場合は、詰まった原稿を排紙トレイから矢印の方向に引き出します。



！重要 スキャナー内部に紙片が残っていないか確認してください。

5. スキャナーカバーを閉めます。

原稿が頻繁に詰まる

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、以下を試してください。

- **▶** ボタンを押して、給紙速度を遅くしてください。
- スキャナー内部のローラーをクリーニングしてください。
- 排紙された原稿が排紙トレイの上で重なって詰まってしまうときは、排紙トレイを使用しないでください。

関連情報

➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

原稿保護が正しく動作しない

スキャンする原稿およびセットしたレベルによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。

- プラスチックカードや厚紙をスキャンするときは、[オフ]を選択してこの機能を無効にしてください。
- 誤検知が頻繁に起こるときは、レベルを下げてください。
- 原稿が破損したときは、この機能が有効になっているか確認してください。すでに有効になっているときは、保護のレベルを上げてください。

関連情報

➔ [「原稿保護機能を設定する」139ページ](#)

原稿が汚れる

スキャナーの内部をクリーニングしてください。

関連情報

➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

連続スキャン中にスキャン速度が極端に遅くなった

ADFで連続スキャンしていると、高温によるスキャナーの損傷を防ぐための機能が働き、スキャンの速度が遅くなります。スキャンは継続できます。

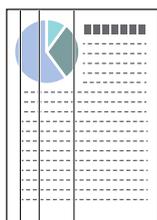
スキャン速度を回復させるには、電源を入れたままスキャンしない状態で30分以上放置してください。電源を切って放置しても回復しません。

スキャンに時間がかかる

- 高解像度や、画像調整機能、ファイル形式などのスキャン条件によっては、スキャン速度が遅くなることがあります。
- SuperSpeed USBまたはHi-Speed USBポートを搭載したコンピューターは、従来のUSBポート搭載コンピューターより高速でスキャンできます。SuperSpeed USBまたはHi-Speed USBポートを使用しているときは、コンピューターがOSのシステム要件を満たしているか確認してください。
- セキュリティソフトを使用している場合は、TWAIN.logファイルを監視対象から外すか、TWAIN.logファイルを読み取り専用にしてください。セキュリティソフトの設定方法については、ソフトウェアのヘルプなどをご覧ください。TWAIN.logファイルは、以下の場所に保存されています。
C:\ユーザー\ (ユーザー名) \AppData\Local\Temp

スキャン品質のトラブル

ADFでスキャンした画像に直線が現れる



- ADFをクリーニングしてください。
ADFに付いているゴミや汚れが原因で、画像に直線が出る場合があります。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。

- [ガラス面汚れ検知] 機能を使うと、スキャナー内部のガラス面の汚れを検知してお知らせします。Epson Scan 2ユーティリティで[本体設定]タブを選択し、[ガラス面汚れ検知]で[オン(低感度)]または[オン(高感度)]を選択します。警告が表示されたときは、スキャナー内部のガラス面を専用のクリーニングキットまたは柔らかい布で清掃してください。

- 参考**
- 汚れによっては正しく検知できません。
 - 正しく検知できないときは、設定を変更してください。汚れを検知できないときは、[オン(高感度)]を選択します。汚れが誤って検知されるときは、[オン(低感度)]または[オフ]を選択します。

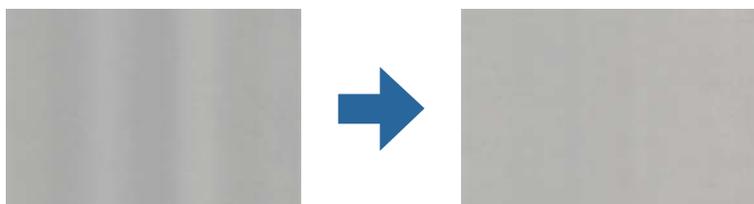
関連情報

- ➔ [「スキャナーの内部をクリーニングする」143ページ](#)

ガラス面の汚れの通知が消えない

スキャナー内部をクリーニングしてもガラス面の汚れの通知が消えないときは、もう一度ガラス面を確認してください。ガラス面に傷があると、汚れとして検知されることがあります。ガラス面に傷があるときは、部品の交換が必要です。販売店にお問い合わせください。

スキャンした画像に濃淡のムラが出る



直射日光などの強い光に当たる場所でスキャナーを使用すると、内部のセンサーが光を誤検知して、スキャンした画像に濃淡のムラが出ることがあります。

- スキャナーの前面に強い光が当たらないように、スキャナーの向きを変えてください。
- 強い光が当たらない場所にスキャナーを移動してください。

スキャンした画像が伸びる、縮む

スキャンした画像が伸びたり縮んだりするときは、Epson Scan 2ユーティリティの[調整]機能で画像の伸縮率を調整できます。この機能はWindowsのみで使用できます。

- 参考** Epson Scan 2ユーティリティは、お使いのスキャナーソフトウェアに付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
2. [調整] タブを選択します。
3. [画像の伸縮率] で、スキャンした画像の伸縮率を調整します。
4. [適用] をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

原稿の裏面が写る

原稿の裏面の画像も読み取られ、スキャンした画像に写ることがあります。

- [イメージタイプ] で、[自動]、[カラー]、または[グレー]を選択したとき：
 - Epson Scan 2の画面で[背景除去]を選択してください。Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定]画面で[詳細設定]ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。
[拡張設定]タブで[背景除去]を選択します。
 - [文字くっきり]が選択されているか確認してください。
Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS X) : [スキャン設定]画面で[文字くっきり]を選択します。
Epson Scan 2 : [拡張設定]タブで[文字くっきり]を選択します。
- [イメージタイプ] で[モノクロ]を選択したとき：
[文字くっきり]が選択されているか確認してください。
Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS X) : [スキャン設定]画面で[文字くっきり]を選択します。
Epson Scan 2 : [拡張設定]タブで[文字くっきり]を選択します。
スキャン画像の状態によっては、Epson Scan 2の画面で[設定]をクリックし、[輪郭強調]のレベルを下げるか、[ノイズ除去レベル]のレベルを上げてみてください。

スキャンした文字や画像がぼやける

解像度を上げたり、画質調整をしたりすることでスキャンした文字や画像を改善できます。

- 解像度を変更してスキャンし直してください。
スキャン画像の用途に合う適切な解像度を設定してください。

- [文字くっきり] が選択されているか確認してください。
Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS X) : [スキャン設定] 画面で [文字くっきり] を選択します。
Epson Scan 2 : [拡張設定] タブで [文字くっきり] を選択します。
- [イメージタイプ] で [モノクロ] を選択したとき：
スキャン画像の状態によっては、Epson Scan 2の画面で [設定] をクリックし、[輪郭強調] のレベルを下げるか、[ノイズ除去レベル] のレベルを上げてみてください。
- 保存形式をJPEGでスキャンする場合は、圧縮レベルを変更してください。
Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS X) : [保存設定] 画面で [保存設定] をクリックして、JPEGの品質を変更してください。
Epson Scan 2 : [保存形式] - [詳細設定] の順にクリックして、[画質] を変更してください。

目的別推奨解像度一覧

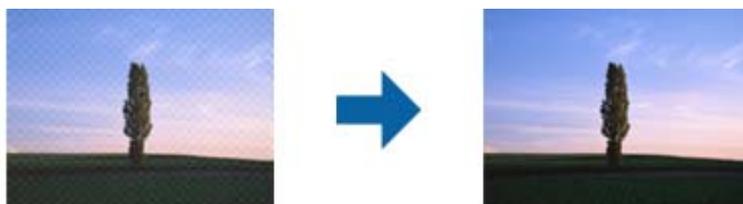
表を参考にして、スキャン画像の用途に合う適切な解像度を設定してください。

用途	解像度（目安）
ディスプレイ上に表示させる Eメールで送信する	~200 dpi
OCR（光学文字認識）を使用する テキスト検索可能なPDFを作成する	200~300 dpi
プリンターで印刷する ファクスで送信する	200~300 dpi

モアレ（網目状の陰影）が現れる

原稿が印刷物のとき、スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）が現れることがあります。

- Epson Scan 2の画面で [モアレ除去] を選択してください。Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。
[拡張設定] タブで [モアレ除去] を選択します。



- 解像度を変更してスキャンし直してください。

原稿サイズを自動検知するときに原稿の端がスキャンされない

原稿によっては、原稿サイズを自動検知するときに原稿の端がスキャンされないことがあります。

- Epson Scan 2の画面で [自動 (サイズ) 選択時の切出し位置調整] を調整してください。Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。[基本設定] タブ- [原稿サイズ] - [設定] の順にクリックします。[原稿サイズの設定] 画面で、[自動 (サイズ) 選択時の切出し位置調整] を調整してください。
- 原稿によっては、[自動検知] 機能を使うときに範囲を正しく検知できないことがあります。[原稿サイズ] で適切なサイズを選択してください。

参考 セットしたい原稿サイズがリストに表示されていないときは、Epson Scan 2の画面で、手動でサイズを作成してください。Document Capture Proをお使いのときは、[スキャン設定] 画面で [詳細設定] ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。
[基本設定] タブ- [原稿サイズ] の順にクリックして、[ユーザー定義サイズ] を選択します。

文字が正しく認識されない

OCR (光学文字認識) の認識率を上げるために、以下の点を確認してください。

- 原稿がまっすぐセットされているか確認してください。
- 文字がくっきりしている原稿を使用してください。以下のような原稿は、認識率が下がることがあります。
 - 何度もコピーした原稿
 - ファクスで受信した原稿 (解像度が低い原稿)
 - 文字間や行間が狭すぎる原稿
 - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
 - 手書き文字の原稿
 - 折り跡やしわがある原稿
 - 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、小さな文字が使われている原稿
- レシートなど感熱紙を使用している場合、劣化や摩擦により読み取りづらい状態になることがあります。できるだけ早いうちにスキャンしてください。
- Microsoft® Office形式または [テキスト検索可能PDF] としてファイルを保存するときは、正しい言語が選択されているか確認してください。

スキャン品質のトラブルが解決しないときは

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2ユーティリティを使ってEpson Scan 2の設定を初期化します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、お使いのスキャナーソフトウェアに付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [その他] タブを選択します。

3. [初期化] をクリックします。

 設定を初期化してもトラブルを解決できないときは、スキャナードライバー (Epson Scan 2) をアンインストールして、再インストールしてください。

Microsoft Exchange Online使用時のトラブル

サインインできない、またはユーザーがログインできない

Entra IDで条件付きアクセスポリシーによりブロックされている場合があります。

対処方法：

Entra IDで条件付きアクセスポリシーを確認してください。
詳細の手順は、「Microsoft Learn」サイトでご確認ください。

メール送信できない

状況：

メールサーバーを正しく設定できていないか、メールサービスにサインインしていないと、メールを送信できない場合があります。

対処方法：

Web Configで、現在の状態を確認してください。以下の順に選択します。

[ネットワーク] タブ- [メールサーバー] - [基本]

メールサーバー > 基本

メールサーバーのセキュア機能を使用するには証明書が必要です。
以下のページで設定してください。
- 相手サーバー検証用CA証明書
- ルート証明書更新

認証方式: OAuth2

メールサービス: Microsoft Exchange Online

現在の状態: サインイン

サインアウト

認証用アカウント: [redacted]

認証用パスワード: [redacted]

送信元アドレス: [redacted]

SMTPサーバーアドレス: smtp.office365.com

SMTPサーバーポート番号: 587

セキュア接続: STARTTLS

証明書の検証: 有効 無効

証明書の検証を有効にすることをお勧めします。
無効にするとメールサーバーの安全性を確認せずに接続します。

POP3サーバーアドレス: [redacted]

POP3サーバーポート番号: [redacted]

「現在の状態」が「サインイン」になっている場合は、サインインの情報がスキャナーに保存できていない可能性があります。「設定」をクリックし、設定情報をスキャナーに送信します。

「現在の状態」がなく、「サインイン」のボタンが表示されている場合は、サインインの操作をしてください。

[「メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する」193ページ](#)

状況：

クラウドサービスまたはメールサービスとの連携がされていないか、連携の有効期限が切れています。

対処方法：

クラウドサービスまたはメールサービスの連携を実施してください。

状況：

クラウドサービスへの再サインインが必要です。

対処方法：

クラウドサービスにサインインしてください。

有効期限切れのメッセージが表示される

サインインをしてからメール送信機能を利用しない状態が一定期間経過しています。

OAuth 2.0認証を使用しているスキャナーが長期間利用されなかった、メール送信の機能が使われない場合、アクセストークン、リフレッシュトークンが無効になります。

対処方法：

管理者が再度、サインインの操作をしてください。

[「メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する」193ページ](#)

ソフトウェアをアンインストールまたはインストールする

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

問題が発生したときや、OS（オペレーティングシステム）をアップグレードするときに、ソフトウェアのアンインストールや再インストールが必要になることがあります。管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. 起動している全てのソフトウェアを終了させます。
2. スキャナーとコンピューターとの接続を外します。
3. コントロールパネルを表示させます。
 - Windows 10
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
4. [プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
5. 削除するソフトウェアを選択します。
6. [アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。

参考 ユーザーアカウント制御画面が表示されたら続行をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。

参考 コンピューターの再起動を促すメッセージが表示されることがあります。表示されたら、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択して [完了] をクリックします。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS

参考 EPSON Software Updaterがインストールされているか確認してください。

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードしてください。
一度Uninstallerをダウンロードすれば、再度ダウンロードする必要はありません。

2. スキャナーとコンピューターとの接続を外します。
3. スキャナードライバーを削除するときはAppleメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、使用できるスキャナーのリストからスキャナーを削除します。
4. 起動している全てのソフトウェアを終了させます。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。
6. 削除するソフトウェアをチェックして、アンインストールをクリックします。

！重要 Uninstallerはコンピューターにインストールされているエプソン製スキャナーのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製スキャナーをご使用の方で、一部のスキャナードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのスキャナードライバーを削除した後、使いたいスキャナーのドライバーを再インストールしてください。

参考 一覧に表示されないソフトウェアは、Uninstallerでは削除できません。[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

ソフトウェアをインストールする

以下の手順でソフトウェアをインストールできます。

- 参考**
- 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
 - 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてから行ってください。

1. 起動している全てのソフトウェアを終了させます。
2. スキャナードライバー（Epson Scan 2）のインストール時は、スキャナーとコンピューターの接続を一旦解除します。

参考 コンピューター画面に指示が出るまでスキャナーとコンピューターを接続しないでください。

3. 以下をクリックして、指示に従ってソフトウェアをインストールします。

<http://epson.sn>

参考 Windowsでは付属のソフトウェアディスクからもインストールできます。

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは

ネットワーク接続済みのスキャナーに接続する方法	181
ネットワークを再設定する方法	182
ネットワーク接続状態の確認	184
操作パネルからネットワーク設定を無効にする	186
操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す	186

ネットワーク接続済みのスキャナーに接続する方法

すでにスキャナーがネットワークに接続していれば、コンピューターやスマートデバイスからネットワーク経由でスキャナーに接続できます。

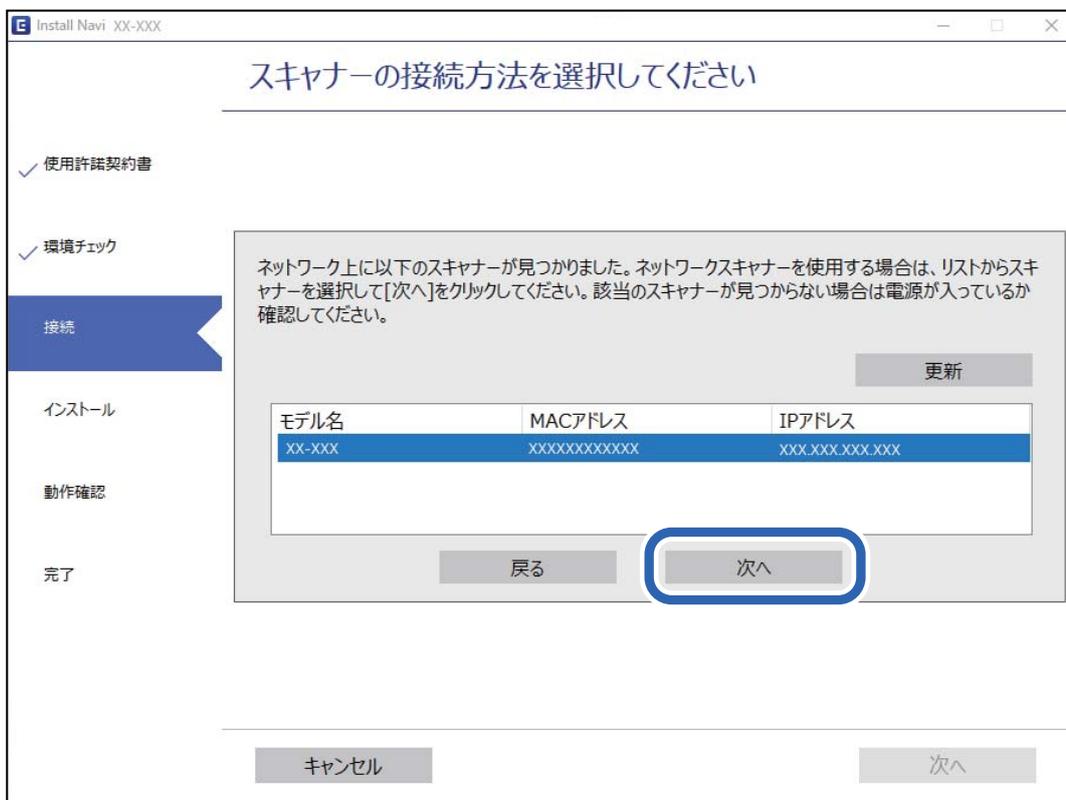
2台目のコンピューターからネットワークスキャナーを使う

スキャナーとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから開始する
以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。[セットアップ] に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクを使って設定する（ソフトウェアディスクが同梱されている機種で、お使いのコンピューターがディスクドライブを搭載したWindowsの場合）
コンピューターにソフトウェアディスクを挿入し、画面の指示に従ってください。

スキャナーを選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作し、接続したいスキャナーを選択して [次へ] をクリックします。



画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスからネットワークスキャナーを使う

スマートデバイスからスキャナーに接続するには、以下のいずれかの方法があります。

無線LANルーター経由で接続

無線LANルーターを介して、スキャナーが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）に接続します。詳しくは以下を参照してください。

[「スマートデバイスとの接続設定をする」183ページ](#)

Wi-Fi Directで接続

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接スキャナーと接続します。詳しくは以下を参照してください。

[「APモード接続」65ページ](#)

ネットワークを再設定する方法

無線LANルーターを交換したときやコンピューターを買い替えたときなどの接続設定や、接続方法の変更などについて説明します。

無線LANルーターを交換したとき

無線LANルーターを交換したときは、コンピューターやスマートデバイスとスキャナーとの接続設定をします。プロバイダーを変更した場合などでこの設定が必要です。

コンピューターとの接続設定をする

スキャナーとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから開始する
以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。[セットアップ]に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクを使って設定する（ソフトウェアディスクが同梱されている機種で、お使いのコンピューターがディスクドライブを搭載したWindowsの場合）
コンピューターにソフトウェアディスクを挿入し、画面の指示に従ってください。

接続方法を選択する

画面の指示に従って操作します。[実施したい作業を選んでください]画面で、[スキャナーの再セットアップ（無線LANルーターが替わった場合など）]を選択して、[次へ]をクリックします。

画面の指示に従い、セットアップを完了してください。

接続できない場合は、以下を参照してください。

[「ネットワークに接続できない」162ページ](#)

スマートデバイスとの接続設定をする

スマートデバイスが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）にスキャナーを接続すると、スマートデバイスからスキャナーが使えるようになります。スマートデバイスからスキャナーを利用するには、以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。

<http://epson.sn>

なお、ウェブサイトにはスキャナーに接続したい機器からアクセスしてください。

コンピューターを買い替えたとき

コンピューターを買い替えたときは、コンピューターとスキャナーとの接続設定をします。

コンピューターとの接続設定をする

スキャナーとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。
<https://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

この後は、画面の指示に従って操作します。

コンピューターとの接続形態を変更する

すでにコンピューターとスキャナーが接続されている場合に、接続形態を変更する方法について説明します。

USB接続からネットワーク接続に変更する

インストーラーを使って別の接続形態に設定し直します。

- ウェブサイトから開始する
以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクを使って設定する（ソフトウェアディスクが同梱されている機種で、お使いのコンピューターがディスクドライブを搭載したWindowsの場合）
コンピューターにソフトウェアディスクを挿入し、画面の指示に従ってください。

接続方法の変更を選択する

画面の指示に従って操作します。〔実施したい作業を選んでください〕画面で、〔スキャナーの再セットアップ（無線LANルーターが替わった場合など）〕を選択して、〔次へ〕をクリックします。

〔無線LAN（Wi-Fi）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

画面の指示に従い、セットアップを完了してください。

操作パネルから無線LAN (Wi-Fi) 接続する

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

WPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

スキャナーがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をスキャナーに接続してください。

関連情報

➔ [「操作パネルからのネットワーク設定」 66ページ](#)

ネットワーク接続状態の確認

ネットワーク接続状態を確認するには、いくつかの方法があります。

ランプでネットワーク状態を確認する

スキャナーのランプでネットワークの接続状態を確認できます。

関連情報

➔ [「ランプ」 22ページ](#)

➔ [「ランプのエラー表示」 23ページ](#)

コンピューターのネットワークを確認する (Windowsのみ)

Windowsのコマンドプロンプトからコマンドを使って、コンピューターの接続情報やスキャナーとの接続経路などを確認します。トラブル解決につながります。

- ipconfigコマンド

コンピューターが現在使用しているネットワークインターフェースの接続状況を表示します。

実際に通信している情報と設定情報の差がないかを比較して、正常に接続されているかを確認できます。同じネットワークに複数のDHCPサーバーがあるような場合、コンピューターに割り当てられている実際のアドレスや、参照しているDNSサーバーなどを知ることができます。

- 書式 : ipconfig /all
- 例 :

```

c:\>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . : WIN2012R2
プライマリ DNS サフィックス . . . . . : pubs.net
ノード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . : pubs.net

イーサネット アダプター イーサネット:

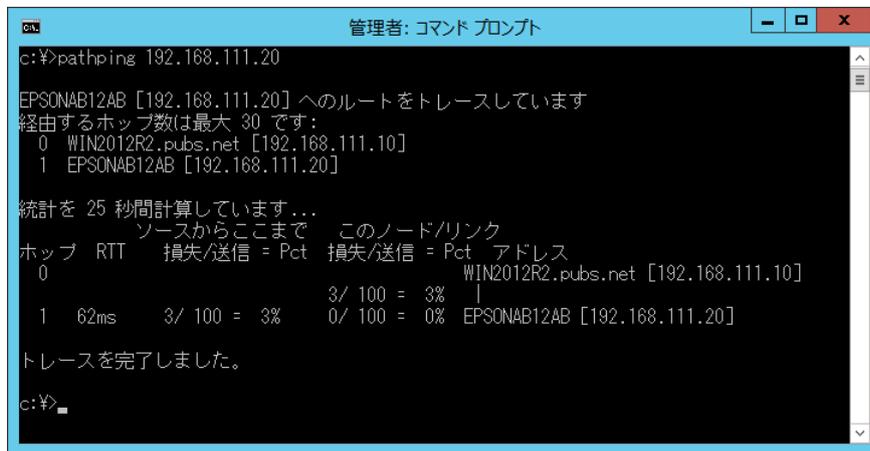
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明 . . . . . : Gigabit Network Connection
物理アドレス . . . . . : xx-xx-xx-xx-xx-xx
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効 . . . . . : はい
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::38fb:7546:18a8:d20e%13(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.111.10(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.111.1
DHCPv6 IAID . . . . . : 283142549
DHCPv6 クライアント DUID . . . . . : 00-01-00-01-21-0A-D4-46-E0-69-95-3C-91-49
DNS サーバー . . . . . : 192.168.111.2
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

Tunnel adapter isatap.{12345678-ABCD-EFGH-IJKL-MNOPQRSTUVWXYZ}:

メディアの状態 . . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明 . . . . . : Microsoft ISATAP Adapter #2
物理アドレス . . . . . : 00-00-00-00-00-00-00-E0
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効 . . . . . : はい

c:\>
    
```

- pathpingコマンド
宛先ホストまでに通過するルーターのリストや通信のルーティングを確認できます。
 - 書式：pathping xxx.xxx.xxx.xxx
 - 例：pathping 192.0.2.222



```
c:\>pathping 192.168.111.20

EPSONAB12AB [192.168.111.20] へのルートをトレースしています
経由するホップ数は最大 30 です:
  0  WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
  1  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

統計を 25 秒間計算しています...
          ソースからここまで      このノード/リンク
ホップ  RTT   損失/送信 = Pct   損失/送信 = Pct   アドレス
  0                               WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
  1   62ms   3/ 100 = 3%       0/ 100 = 0%   EPSONAB12AB [192.168.111.20]

トレースを完了しました。

c:\>
```

操作パネルからネットワーク設定を無効にする

ネットワーク設定を無効にできます。

1.  ボタンを3秒以上長押しして、無線LAN接続とAPモード接続を無効にします。
無効になると  ランプと  ランプが消灯します。

 **参考** 無線LAN接続とAPモード接続を再度有効にするには、 ボタンを押します。

操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定全てを購入時の設定に戻します。

1. スキャナーの電源を切ります。
2.  ランプと  ランプが同時に点灯するまで、 ボタンを押したまま  ボタンを押します。
設定中は  ランプと  ランプが交互に点滅し、設定が完了するとランプが消灯します。

管理者向け情報

スキャナーをネットワークに接続する	188
本体のセキュリティー機能の紹介	190
管理者設定	190
遠隔地にあるスキャナーを監視する	191
設定のバックアップ	198
高度なセキュリティー設定	199

スキャナーをネットワークに接続する

ソフトウェアディスクからインストーラーを起動して、固定IPアドレスを使ってネットワークに接続することができます。

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	参考
ネットワーク接続情報	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ 	<p>スキャナーに割り当てるIPアドレスを決定します。</p> <p>静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。</p>
Wi-Fi接続情報	<ul style="list-style-type: none"> SSID パスワード 	<p>スキャナーを接続するアクセスポイントのSSID（ネットワークの名称）、パスワードです。</p> <p>MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、スキャナーを登録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。対応している規格は以下をご覧ください。</p> <p>「ネットワークの仕様」231ページ</p>
DNSサーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> プライマリーDNSのIPアドレス セカンダリーDNSのIPアドレス 	<p>DNSサーバーを指定する場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーターのIPアドレスを設定します。</p>
プロキシサーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> プロキシサーバー名 	<p>イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、スキャナーが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。</p> <p>スキャナーが直接インターネットにアクセスし、ファームウェアを更新します。</p>
ポート番号情報	<ul style="list-style-type: none"> 開放するポート番号 	<p>スキャナーやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認して、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放してください。</p> <p>スキャナーが使用するポート番号の情報は以下をご覧ください。</p> <p>「スキャナーが使用するポート」232ページ</p>

IPアドレスの割り当て

IPアドレス（IPv4）の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でスキャナー（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないため、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、スキャナーやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec/IPフィルタリングなどのセキュリティー機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをスキャナー（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。

デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。

IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

参考 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。コンピューターやスキャナーがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。

その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。

これによりコンピューターやスキャナーなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信ができるようになります。

スキャナーがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。

これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。

スキャナーのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てるとは自動設定されます。

プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入口に配置され、コンピューターやスキャナーとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手側のサーバーはプロキシサーバーのみと通信します。よって、スキャナーに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティーの向上が期待できます。

プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、スキャナーにプロキシサーバーの設定をしてください。

固定IPアドレスを使ってネットワークに接続する

ソフトウェアインストーラーを使って固定IPアドレスを選択します。

1. コンピューターにソフトウェアディスクを挿入し、画面の指示に従ってください。

参考 [実施したい作業を選んでください] 画面が表示されたら、実施したい操作を選択します。[スキャナーの再セットアップ（無線LANルーターが替わった場合など）] にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

2. [スキャナーの接続方法を選択してください] 画面で [固定のIPアドレスを使いたい場合は、こちらから設定します] を選び、固定IPアドレスを入力して、画面の指示に従ってください。

無線LAN (Wi-Fi) に接続する

スキャナーと無線LAN(Wi-Fi)を接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

WPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。スキャナーがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をスキャナーに接続してください。

本体のセキュリティー機能の紹介

エプソンデバイスのセキュリティー機能を紹介します。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークの接続設定など、システムに関わる設定をロックします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。 Web Configから設定や変更ができます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定などの情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティーポリシー、またはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティーリスクにつながる危険性を低減します。

管理者設定

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、ユーザーがシステム管理に関する設定を変更することを防ぎます。管理者パスワードはWeb Config、Epson Device Adminのいずれからも設定、変更ができます。Epson Device Adminの操作方法については、Epson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

コンピューターから管理者パスワードを設定する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

1. Web Configで [本体セキュリティー] タブ - [管理者パスワード変更] を選択します。
2. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。

3. [設定] を選択します。



- ロックされている項目を設定、変更するには [管理者ログオン] をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを削除するには、 [本体セキュリティー] タブ - [管理者パスワード削除] をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」 26ページ](#)

コンピューターからスキャナーにログオンする

管理者としてWeb Configにログオンすると、管理者ロックされている項目を操作できます。

1. ブラウザーにスキャナーのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. [管理者ログオン] をクリックします。
3. [ユーザー名] と [現在のパスワード] にユーザー名と管理者パスワードを入力します。
4. [確認] をクリックします。

認証されるとロックされている項目が表示され、 [管理者ログオフ] が表示されます。
ログオフするには [管理者ログオフ] をクリックします。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」 26ページ](#)

➔ [「コンピューターからスキャナーにログオンする」 191ページ](#)

遠隔地にあるスキャナーを監視する

遠隔地にあるスキャナーの情報を確認する

Web Configの [情報確認] から、運用しているスキャナーの以下の情報を確認できます。

- 製品情報
ステータス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- ネットワーク情報
ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- 使用状況
初回のスキャン日、スキャン回数などを確認できます。
- ハードウェア情報
スキャナーの各機能のステータスを確認できます。

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

スキャンの停止やスキャナーエラーなど、スキャナーにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。

宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。

メールサーバーを登録する

設定の前に以下を確認してください。

- スキャナーがネットワークに接続されているか
- メールサーバーの設定情報
インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。

登録方法

WebConfigを起動し、[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の順に選択します。

[「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

メールサーバーの設定項目

項目	設定値と説明	
認証方式	スキャナーがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。 Microsoft Exchange Onlineをお使いのとき： Microsoft Exchange Onlineのセキュリティー強化により、従来の「Basic認証」方式が廃止され、SMTP認証（SMTP AUTH）が初期設定で無効化されました。そのため、今後メールサービスを利用するには、[OAuth2] の認証方式を使う必要があります。スキャナーのメール送信/メール通知機能等を利用される場合は、メールサーバー設定を [OAuth2] 認証で設定してください。また、Exchange OnlineでSMTP AUTHを有効にしてください。 「Exchange OnlineでのSMTP AUTHを有効にする」193ページ	
	認証しない（オフ）	メールサーバーとの通信時に認証をしません。
	SMTP認証	メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
	OAuth2	選択した場合はメールサービスの設定をしてください。
メールサービス	[認証方式] で [OAuth2] を選択した場合、リストからメールサービスを選択します。[サインイン] をクリックし、画面の指示に従ってメールサービスにサインインしてください。 「メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する」193ページ  個人でご利用の場合は [Outlook.com] を選択します。	
認証用アカウント	[認証方式] で [SMTP認証] または [POP before SMTP] を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII (0x20-0x7E) の255文字以内です。	

項目	設定値と説明	
認証用パスワード	[認証方式] で [SMTP認証] または [POP before SMTP] を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII (0x20-0x7E) の20文字以内です。	
送信元アドレス	スキャナーからメールを送信する際、送信者となるメールアドレスを設定します。既存のメールアドレスも設定可能ですが、スキャナーから送信されたメールと判別できるように、専用のメールアドレスを取得して設定することをお勧めします。 入力できる文字は、: () < > [] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E) で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド (.) は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A~Z a~z 0~9 . - を使用し、255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1~65535までの範囲で、半角数字で入力します。	
セキュア接続	メールサーバーのセキュア接続方式を指定します。	
	なし	[認証方式] で [POP before SMTP] を選択した場合は [なし] になります。
	SSL/TLS	[認証方式] で [認証しない] または [SMTP認証] を選択したときに選択できます。
	STARTTLS	[認証方式] で [認証しない] または [SMTP認証] を選択したときに選択できます。
証明書の検証 (Web Configのみ)	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。[セキュア接続] で [なし] 以外を選択したときは、[有効] にすることをお勧めします。	
POP3サーバーアドレス	[認証方式] で [POP before SMTP] を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A~Z a~z 0~9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	[認証方式] で [POP before SMTP] を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1~65535の範囲で、半角数字で入力します。	

Exchange OnlineでのSMTP AUTHを有効にする

本製品はSMTPのプロトコルを使用してメール送信するため、Exchange OnlineのSMTP AUTHを有効にする必要があります。

詳細の手順は、「Microsoft Learn」サイトをご覧ください。

設定手順

- [Exchange 管理センター] で、組織全体の [セキュリティの既定値群] を無効にして、SMTP AUTHを有効にしてください。
- [Microsoft365管理センター] で、製品の管理者用のメールボックスに対してSMTP AUTHを有効にしてください。

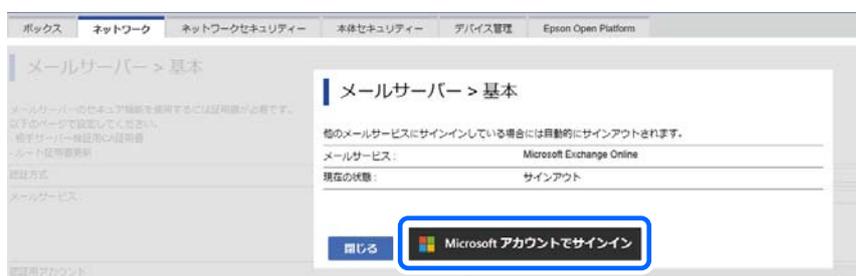
メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する

Web Configを使ってメールサーバーにOAuth 2.0認証を設定します。

1. Web Configを起動します。
「ブラウザーでWeb Configを起動する」 26ページ
2. [ネットワーク] タブ- [メールサーバー] - [基本] の順に選択します。
3. [認証方式] で [OAuth 2] を選択します。
4. [メールサービス] で [Microsoft Exchange Online] を選択します。

参考 個人でご利用の場合は [Outlook.com] を選択します。

5. サインインします。
[サインイン] をクリックして、表示される画面で [Microsoft アカウントでサインイン] をクリックします。



6. 画面に表示される認証コードをコピーして、表示されているURLをクリックします。



7. アクセス許可コードの入力画面で、コピーした認証コードを貼り付けて [次へ] をクリックします。
8. Microsoft サインインの画面で、ご利用のMicrosoftアカウントを入力して [次へ] をクリックします。
サインインするためには、アカウントに最低限 [クラウド アプリケーション管理者] ロールが割り当てられている必要があります。
9. パスワードを入力して、[サインイン] をクリックします。

参考 追加の手順が求められたときは、画面の指示に従ってサインインしてください。

10. 要求されているアクセス許可画面で「組織の代理として同意する」にチェックをして [承諾] をクリックします。
認証が完了すると、サインインのメッセージが表示されるのでブラウザーの画面を閉じます。

Web Configの [ネットワーク] タブ- [メールサーバー] - [基本] のページでサインインの状態が確認できます。



サインインが完了すると、OAuth 2.0認証のアカウント情報等が表示されるようになります。

11. [設定] をクリックし、設定情報を製品に送信します。

メールサーバーとの接続を確認する

メールサーバーとの接続確認ができます。

1. スキャナーのIPアドレスをブラウザに入力して、Web Configを起動します。
2. 管理者パスワードを入力して、管理者としてログオンします。
3. 以下の順に選択します。
[ネットワーク] タブ- [メールサーバー] - [接続確認]
4. [確認開始] を選択します。
メールサーバーとの接続診断が開始されます。テストが終了すると結果が表示されます。

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> スキャナーがネットワークに接続されていない SMTPサーバーがダウンしている 通信中にネットワークが切断された 異常なデータを受信した
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> スキャナーがネットワークに接続されていない POP3サーバーがダウンしている 通信中にネットワークが切断された 異常なデータを受信した

メッセージ	原因
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・POP3サーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・SMTPサーバーポート番号	サポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・日付/時刻	スキャナーの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をスキャナーが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、製品はSMTP認証を実行していません。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、製品はSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。

メッセージ	原因
製品は処理動作中のためアクセスできません。	スキャナーが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

メール通知を設定する

Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ- [メール通知] を選択します。
2. メール通知の件名を設定します。
2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。
 - 選択された内容が [件名] の横に表示されます。
 - 左右に同じ内容は設定できません。
 - [ロケーション] の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。
3. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。
A-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { | } ~ @を使用し、1~255文字以内で入力します。
4. メール通知の言語を選択します。
5. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
[通知設定] の番号は [宛先設定] の宛先の番号に対応しています。
例：
管理者のパスワードが変更された通知を [宛先設定] の1に設定したアドレスに送信したいときは、[管理者パスワード変更] の行にある [1] の列のチェックボックスにチェックを付けます。
6. [設定] をクリックします。
何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。
例：管理者パスワードが変更されました。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
スキャナーエラー	スキャナーエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。

設定のバックアップ

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。設定値のバックアップ、スキャナーの置き換え時などに利用できます。

バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

スキャナーの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート] を選択します。
2. エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。
4. [エクスポート] をクリックします。

！重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは [本体ごとの個別設定を選択可能にする] にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、スキャナーの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」 26ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをスキャナーにインポートします。

！重要 スキャナー名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つスキャナーが存在しないことを確認してください。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート] を選択します。
2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
3. [次へ] をクリックします。

4. インポートする設定を選択して [次へ] をクリックします。

5. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

高度なセキュリティー設定

ここでは、高度なセキュリティー機能を説明しています。

セキュリティー設定と防止できる脅威

ネットワークにスキャナーを接続すると、離れた場所からアクセスして使用できます。また、スキャナーを共有してたくさんの方が使用でき、業務効率や利便性の向上に役立ちます。反面、不正アクセスや不正使用、データの改ざんなどのリスクも高くなります。インターネットにアクセスできる環境の場合はさらにリスクが高まります。

リスクを回避するため、エプソン製スキャナーにはさまざまなセキュリティー技術を搭載しています。

お客様の情報環境での条件に合わせて、スキャナーに必要なセキュリティー設定をしてください。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
プロトコルの制御	スキャナーやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティーリスクを軽減できます。
SSL/TLS通信	ブラウザ経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどスキャナーからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、スキャナーにインポートします。	CA署名証明書によってスキャナーの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、スキャンしたデータの内容や設定情報の漏えいが防げます。
IPsec/IPフィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsecはIPパケット単位で保護（暗号化および認証）するため、セキュアでないプロトコルも安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、スキャナーにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	スキャナーへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
IEEE802.1X	許可された利用者だけがネットワークに接続できるようにします。許可された利用者だけがスキャナーを使用できるようにします。	RADIUSサーバー（認証サーバー）への認証設定をします。	不正なスキャナーへのアクセスや使用を防止できます。

セキュリティー機能の設定

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなどの設定は、改ざん、傍受などセキュリティーのリスク低減のために、SSL/TLS通信でWeb Configにアクセスして設定することをお勧めします。

必ず管理者パスワードを設定してから、IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xの設定をしてください。

利用するプロトコルを制御する

スキャンする場合、いろいろな経路やプロトコルからスキャンできます。また、ネットワークスキャンが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。

使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスやスキャンなどのセキュリティーリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

スキャナーが対応しているプロトコルの設定をします。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [プロトコル] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザーでWeb Configを起動する」26ページ](#)

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	特徴
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索やスキャンなどに使われます。

プロトコル	特徴
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンスキャナーではブッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。有効にすると、WSDデバイスの追加やWSDポートからのスキャンができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンスキャナーでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンスキャナーでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

プロトコルの設定項目

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDを使って、WSDポートからスキャンができます。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3~3600秒の範囲で入力します。

項目	設定値と説明
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1/v2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv1/v2cを有効にします。
アクセス権限	SNMPv1/v2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。[読み込み専用] または [読み書き可能] を選択します。
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII (0x20~0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII (0x20~0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

SNMPv3設定

項目	設定値と説明
SNMPv3を有効にする	チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名	1バイト文字を使って1~32文字以内で入力します。
認証設定	

項目		設定値と説明
	アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
	パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる8~32文字以内で入力します。 指定しないときは空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定		
	アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
	パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる8~32文字以内で入力します。 指定しないときは空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名		Unicode (UTF-8) で表せる32文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

電子証明書を使う

使用できる電子証明書

- CA署名証明書**
 認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はスキャナーの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。
 SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。
 IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1Xに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。
- CA証明書**
 CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザが、スキャナーの証明書パスを検証するために使用されます。
 相手サーバー検証用のCA証明書は、スキャナーからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。スキャナーでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。
 スキャナーのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
 また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
- 自己署名証明書**
 スキャナー自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。
 セキュリティー設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。
 ブラウザーに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でスキャナーにアクセスするとセキュリティー警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

CA署名証明書を設定する

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR (証明書発行要求) を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブを選択し、 [SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

どれを選択しても同じ証明書が取得でき、共通で使用できます。

2. [CSR] の [生成] をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

参考 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. [設定] をクリックします。

生成されると完了メッセージが表示されます。

5. [ネットワークセキュリティー] タブを選択し、 [SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い [CSR] のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、スキャナーに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」 26ページ](#)

CSRの設定項目

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。

項目	設定値と説明
コモンネーム	1~128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「,」カンマで区切って1~5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： スキャナーのIPアドレス：192.0.2.123、スキャナー名：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0~64文字以内で入力できます。識別名 (CN) はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。
送信元アドレス	メールサーバー設定の送信元アドレスを入力できます。[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の [送信元アドレス] と同じメールアドレスを入力してください。

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をスキャナーにインポートします。

- 【重要】**
- スキャナーの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効である可能性があります。
 - Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

- Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブを選択し、次に、[SSL/TLS] - [証明書]、または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
- [インポート] をクリックします。
証明書インポート設定画面が開きます。
- 各項目に値を入力します。[CA証明書1]、[CA証明書2] はスキャナーにアクセスするブラウザで証明書のパスを検証する場合に設定してください。
インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。
 - Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：スキャナーで保持しているため設定しない
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：オプション
 - コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定する
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：オプション

- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - [秘密鍵] : 設定しない
 - [パスワード] : オプション
 - [CA証明書1] / [CA証明書2] : 設定しない

4. [設定] をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考 [表示] をクリックして証明書情報を検証します。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

CA署名証明書のインポート設定項目

項目	設定値と説明
サーバー証明書 または クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1Xの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が[秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)] の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が[証明書 (PEM/DER)] の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が[証明書 (PEM/DER)] の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除すると再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブを選択します。[SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [削除] をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はスキャナーが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。
2. [更新] をクリックします。
3. [コモンネーム] を入力します。

IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って5個まで、1～128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。

記入例：

スキャナーのIPアドレス：192.0.2.123、スキャナー名：EPSONA1B2C3

コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

4. 証明書の有効期間を選択します。
5. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
6. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

参考 [ネットワークセキュリティー] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] - [自己署名証明書] にある [表示] をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、スキャナーがアクセスするサーバーのCA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。

相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

相手サーバー検証用CA証明書をスキャナーにインポートします。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。
3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。
4. [設定] をクリックします。

インポートされると [相手サーバー検証用CA証明書] に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。
2. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の [削除] をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。
4. [ネットワーク再起動] をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

スキャナーとのSSL/TLS通信

SSL/TLS (Secure Sockets Layer/Transport Layer Security) 通信でスキャナーにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているスキャナーはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったスキャナーの設定や管理のための通信を安全に行えます。

基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [SSL/TLS] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
 - 暗号強度
暗号の強度を選択できます。

- HTTPをHTTPSにリダイレクト
HTTPでのアクセス時に、HTTPSにリダイレクトをします。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」 26ページ](#)

スキャナーのサーバー証明書を設定する

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

2. [使用するサーバー証明書] に使用する電子証明書を選択します。

- 自己署名証明書
スキャナーに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
- CA署名証明書
スキャナーにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」 26ページ](#)

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。

 **参考** Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはスキャナーにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

基本ポリシーの設定項目

[基本ポリシー]

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- [通信処理]
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- [IKEバージョン]
[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。スキャナーを接続する機器に合わせて選択してください。
- IKEv1
[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明	
ローカル認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、スキャナーを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

項目		設定値と説明
リモート認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1~255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- [カプセル化]
[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでスキャナーとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでスキャナーを接続するときを選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 [リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)] : [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1~39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- [セキュリティープロトコル]
[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

• [アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、個別に [任意] 以外を選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定 [任意] にして、一部を [任意] 以外で選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [AH] のときに選択できます。

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、スキャナーへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったスキャナーはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 設定したい番号のタブをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

個別ポリシーの設定項目

項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

[通信処理]

IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

[ローカルアドレス (スキャナー)]

お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、[自動取得したIPv4アドレスを使用する] が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

[リモートアドレス (ホスト)]

通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得 (IPv6) の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

[ポート指定方法]

ポートの指定方法を設定します。

- サービス名
[ポート指定方法] で [サービス名] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。
- トランスポートプロトコル
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

- ローカルポート番号
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
例) 20,80,119,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。
- リモートポート番号
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
例) 25,80,143,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

[IKEバージョン]

[[IKEバージョン]] で [[IKEv1]] または [[IKEv2]] を選択します。スキャナーを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1
[[IKEバージョン]] で [[IKEv1]] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	[[通信処理]] で [[IPsecの使用]] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	[[認証方式]] で [[事前共有キー]] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
 [IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、スキャナーを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1~255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1~255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

[カプセル化]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでスキャナーとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでスキャナーを接続するときを選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 [リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)] : [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1~39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

[セキュリティープロトコル]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

[アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、個別に [任意] 以外を選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を [任意] にして、一部を [任意] 以外で選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目	設定値と説明	
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [AH] のときに選択できます。

ローカルアドレス (スキャナー) とリモートアドレス (ホスト) の組み合わせ

	ローカルアドレス (スキャナー) の設定値		
	IPv4	IPv6* ²	使用可能な全てのアドレス* ³

リモートアドレス (ホスト) の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合リンクローカルアドレス (fe80::) は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

個別ポリシーのサービス名一覧

 非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナー探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナーMIB情報の取得と設定
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのスキャナー探索
Network Scan	TCP	1865	任意	Document Capture Proからのスキャンデータの転送
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	スキャナーからのコンピューター探索
Network Push Scan	TCP	任意	2968	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント (ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーのみ使われます。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [IPsecの使用]
- [認証方式] : [事前共有キー]
- [事前共有キー] : 1~127文字以内の任意文字

[個別ポリシー] : 設定しない

スキャンデータとスキャナー設定を受け付ける

指定したサービスからのスキャンデータとスキャナー設定の通信を受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [通信を遮断]

[個別ポリシー] :

- [この個別ポリシーを有効にする] : チェックを入れる
- [通信処理] : [通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)] : クライアントのIPアドレス
- [ポート指定方法] : [サービス名]
- [サービス名] : [ENPC]、[SNMP]、[HTTP (ローカル)]、[HTTPS (ローカル)]、[Network Scan]にチェックを入れる

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [通信を遮断]

[個別ポリシー] :

- [この個別ポリシーを有効にする] : チェックを入れる
- [通信処理] : [通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)] : 管理者用クライアントのIPアドレス

参考 ポリシーの設定に関わらず、スキャナーの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] 画面で証明書をインポートします。
CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を使うか選択して [コピー] をクリックしてください。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する」26ページ](#)

IEEE802.1X環境にスキャナーを接続する

IEEE802.1Xを設定する

スキャナーにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [IEEE802.1X] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
無線LANで使う場合は [無線LAN設定] をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

IEEE802.1Xの設定項目

項目	設定値と説明	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X (無線LAN) の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	スキャナーとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	PEAP/MSCHAPv2	パスワードを設定する必要があります。
EAP-TTLS		

項目	設定値と説明	
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~128文字以内で入力します。	
パスワード	スキャナーを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~128文字以内で入力します。WindowsサーバーをRADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
証明書の検証	相手サーバー証明書の検証を設定します。認証方式に関わらず設定ができます。[相手サーバー検証用CA証明書] 画面で証明書をインポートします。	
Anonymous名	[認証方式] が [PEAP-TLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で [EAP-TLS] と [PEAP-TLS] が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書] で行います。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ - [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] に使用する電子証明書を設定します。

CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIEEE802.1Xで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を扱うか選択して [コピー] をクリックしてください。

トラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
何らかのトラブルが発生した場合、始めにドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。

- 通信状態を確認する
サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。
- 接続テスト
メールサーバーとの接続は、スキャナーから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへのアクセステストをして通信状態を確認します。
- 設定を初期化する
設定や通信状態に問題がない場合、スキャナーのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりするとトラブルが解消する場合があります。

関連情報

- ➔ [「ボタン」 21ページ](#)
- ➔ [「イベント発生時にメール通知を受け取る」 192ページ](#)

Web Configにアクセスできない

■ スキャナーのIPアドレスが設定されていない

対処方法

スキャナーに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。Epson Scan 2ユーティリティーで有効なIPアドレスを設定してください。Epson Scan 2ユーティリティーで現在の設定情報を確認できます。

- ➔ [「スキャナーのIPアドレスを確認する」 68ページ](#)

■ WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

対処方法

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで起動できます。使用しているブラウザが対応しているか確認してください。

- 80bit : AES256/AES128/3DES
- 112bit : AES256/AES128/3DES
- 128bit : AES256/AES128
- 192bit : AES256
- 256bit : AES256

■ CA署名証明書の有効期限が切れた

対処方法

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示される場合は、スキャナーの時刻が正しく設定されているか確認してください。

■ 証明書とスキャナーのコモンネームが一致していない

対処方法

コモンネームの不一致が起これると、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したスキャナーのIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。

CA署名証明書の場合は該当のスキャナー用に証明書を取得し直してください。

■ ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

対処方法

スキャナーでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシサーバー] で、LAN (ローカルアドレス) にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS :
[システム環境設定] - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。

記入例 :

192.168.1.* : ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0の場合

192.168.*.* : ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0の場合

セキュリティー設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティー機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

Web Configからセキュリティー機能を無効化する

Web Configを使って、IPsec/IPフィルタリングを無効にできます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ- [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. [IPsec/IPフィルタリング] で設定を無効にしてください。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの [ネットワークセキュリティー] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] - [基本ポリシー] または [個別ポリシー] の画面でキーを変更します。

事前共有キーを変更したら、相手先コンピューターの事前共有キーの設定もやり直してください。

IPsec通信ができない

スキャナーまたはコンピューターがサポートしていないアルゴリズムを指定している

スキャナーがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピューターの設定を確認してください。

セキュリティーメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

* : IKEv2のみ対応

突然通信ができなくなった

証明書のエラーが発生しています

スキャナーに電源供給されない状態が長時間続くと、スキャナー内部の日時がずれることがあります。

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xでクライアント証明書を使用して接続していた場合、スキャナーの日時とクライアント証明書の有効期間にずれが発生すると、スキャナーはエラー表示になります。スキャナーが有効な証明書と認識しなくなるからです。

スキャナーを正しい日時に合わせると解決できる場合があります。スキャナーとコンピューターをUSBケーブルで接続して電源を入れ、Epson Scan 2を使ってUSB経由でスキャンしてください。自動的にコンピューターと同期して正しい日時に設定されます。スキャナーは正常状態の表示になります。

解決しない場合は、スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻してください。スキャナーとコンピュータをネットワーク接続して再度ネットワークの設定をし、クライアント証明書やIPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1Xを設定してください。

スキャナーのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を全て初期の状態に戻してください。

Web Configの [ネットワークセキュリティー] タブ- [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] - [個別ポリシー] - [ローカルアドレス (スキャナー)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのリモートアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を全て初期の状態に戻してください。

Web Configの [ネットワークセキュリティー] タブ- [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] - [個別ポリシー] - [リモートアドレス (ホスト)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

ネットワーク管理者のコンピューターなど他のコンピューターで、EpsonNet ConfigやEpson Device Adminを使い、MACアドレスからスキャナーにアクセスしてください。MACアドレスは、スキャナーに貼られているラベルに記載されています。

アクセスできる場合は、EpsonNet ConfigやEpson Device AdminでIPsec/IPフィルタリングを設定してください。

アクセスできない場合は、スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻してください。スキャナーとコンピュータをネットワーク接続して再度ネットワークの設定をし、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を全て初期の状態に戻してください。スキャナーとコンピュータを接続して再度ネットワークの設定をし、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、スキャナーに保存されているCSRを再生成したか再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えている

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

[コモンネーム] にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	原因： インポートするファイルが指定されていません。 対処： ファイルを選択してから [インポート] をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2のみ入力されています。 対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	原因： スキャナーに日付や時刻が設定されていません。 対処： Web ConfigやEpsonNet Configから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 対処： 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。

メッセージ	原因と対処
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	<p>原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。</p> <p>対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。</p>
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、または日付/時刻設定を確認してください。	<p>原因： 証明書の有効期限が切れています。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 証明書の有効期限が切れていない場合、スキャナーの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	<p>原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	<p>原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしてしました。</p> <p>対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。</p>
設定に失敗しました。	<p>原因： スキャナーとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。</p> <p>対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。</p>

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

仕様

基本仕様	230
ネットワークの仕様	231
スキャナーが使用するポート	232
外形寸法と質量の仕様	232
電気仕様	233
環境仕様	233
対応OS	234

基本仕様

参考 仕様は予告なく変更されることがあります。

型式	シートフィード型両面同時読み取りカラーイメージスキャナー
画像読み取りセンサー	CIS
有効画素数	5,100×9,300 (600 dpi) 2,550×64,500 (300 dpi)
光源	RGB LED
スキャン解像度	600 dpi (主走査) 600 dpi (副走査)
出力解像度	50～1200 dpi (1 dpi刻み) *1
原稿サイズ	最大：215.9×6,096 mm 最小：50.8×50.8 mm
給紙の向き	フェイスダウン給紙
排紙の向き	フェイスダウン排紙
最大給紙容量	50枚 (用紙の厚さが80 g/m ² の場合)
階調	カラー <ul style="list-style-type: none"> • 30 bit入力 (RGB各色10 bit入力) • 24 bit出力 (RGB各色8 bit出力) グレースケール <ul style="list-style-type: none"> • 10 bit入力 • 8 bit出力 白黒 <ul style="list-style-type: none"> • 10 bit入力 • 1 bit出力
インターフェイス *2	SuperSpeed USB IEEE802.11b/g/n

*1 長尺紙は以下の解像度でスキャンできます。

- 約1,346.0 mm以下：～600 dpi
- 約5,461.0 mm以下：～300 dpi
- 約6,096.0 mm以下：～200 dpi

*2 USB接続とネットワーク接続の同時使用 (同時アクセス) は不可。

ネットワークの仕様

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11b/g/n
周波数範囲	2.4 GHz
最大高周波電力値	20 dBm (EIRP)
接続モード	インフラストラクチャーモード、アドホックモード*1、APモード *2 *3
無線セキュリティー	WEP(64/128bit)、WPA2-PSK (AES)*4、WPA2-Enterprise*5、WPA3-SAE、WPA3-Enterprise

*1 IEEE802.11nは非対応

*2 IEEE802.11bは非対応

*3 APモード接続と無線LAN（インフラストラクチャーモード）接続は併用可能

*4 WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

*5 WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Enterprise規格に対応

ネットワーク機能一覧

機能		対応
操作パネルで設定できる機能	ネットワーク設定の初期化	○
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6
	Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS)	IPv4

セキュリティーのプロトコル

SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）、SMTPS（クライアント）、STARTTLS、ルート証明書（クライアント）、ルート証明書更新（クライアント）、CA署名証明書（サーバー）、CA証明書（サーバー）、CSR作成（サーバー）、自己署名証明書（サーバー）、EC鍵のCSR/自己署名証明書生成（サーバー）、証明書/秘密鍵インポート（サーバー）
Eメール送信時の認証	POP before SMTP、APOP、SMTP認証
MIBアクセス認証/暗号化	SNMPv3

スキャナーが使用するポート

スキャナーは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元 (クライアント)	用途	送信先 (サーバー)	プロトコル	ポート番号
スキャナー	WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD (TCP)	5357
	Document Capture Proからのブシユスキャン時のジョブ情報取得	クライアントコンピューター	Network Push Scan	2968
	HTTP(S)クライアント (ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)	クライアントコンピューター	HTTP	80
HTTPS			443	
クライアントコンピューター	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナー探索	スキャナー	ENPC (UDP)	3289
	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナーMIB情報の取得と設定	スキャナー	SNMP (UDP)	161
	WSDのスキャナー探索	スキャナー	WS-Discovery (UDP)	3702
	Document Capture Proからのスキャンデータの転送	スキャナー	Network Scan (TCP)	1865
	Document Capture Proからのブシユスキャン時のジョブ情報取得	スキャナー	Network Push Scan	2968
	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)	スキャナー	HTTP	80
HTTPS			443	

外形寸法と質量の仕様

外形寸法 *	幅：296 mm 奥行き：169 mm 高さ：176 mm
質量	約3.7 kg

* 給紙トレイおよび突起部分を除く

電気仕様

スキャナー電気仕様

DC入力電圧	DC 24 V
DC入力電流	1 A
消費電力	<p>USB接続時</p> <ul style="list-style-type: none"> 動作時：約11 W レディー時：約5.4 W スリープモード時：約1.0 W 電源オフ時：約0.1 W <p>無線LAN接続時</p> <ul style="list-style-type: none"> 動作時：約12 W レディー時：約5.5 W スリープモード時：約1.3 W 電源オフ時：約0.1 W

ACアダプター電気仕様

型名	A461H (AC 100-240 V (付属の電源コードはAC100V用))
定格入力電流	1 A
定格周波数	50-60 Hz
定格出力電圧	DC 24 V
定格出力電流	1 A

環境仕様

温度	動作時	5~35℃
	保管時	-25~60℃
湿度	動作時	15~80 % (結露なし)
	保管時	15~85 % (結露なし)
動作条件	一般の事務所や家庭で使用すること。直射日光の当たる場所や光源の近く、異常にホコリの多い場所での使用は避けてください。	

対応OS

対応OSはアプリケーションによって異なります。
最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/taiou/os/

Windows	Windows 10 (32-bit, 64-bit) Windows 8.1 (32-bit, 64-bit) Windows 8 (32-bit, 64-bit) Windows 7 (32-bit, 64-bit)
Mac OS *1 *2	macOS Catalina macOS Mojave macOS High Sierra macOS Sierra OS X El Capitan OS X Yosemite

*1 ファストユーザスイッチには非対応

*2 UNIXファイルシステム (UFS形式) には非対応

規格と規制

電源高調波	236
瞬時電圧低下	236
電波障害自主規制	236
著作権	236
複製が禁止されている印刷物	236

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
(社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
(関連法律) 刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

サービスとサポートのご案内

エプソンサービスパック	238
お問い合わせ前の確認事項	238
保証書について	238
補修用性能部品および消耗品の保有期間	238
保守サービスの受付窓口	239
保守サービスの種類	239
お問い合わせ先	240

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – 万が一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ前の確認事項

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

- ➔ [「困ったときは」159ページ](#)
- ➔ [「お問い合わせ先」240ページ](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

関連情報

➔ [「お問い合わせ先」240ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> • 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代や部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> • お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代や部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	有償 （出張料のみ） 修理完了後、その都度お支払いください	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後、その都度お支払いください
引取り修理（ドアto ドア）		<ul style="list-style-type: none"> • ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 • 修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。 	有償 （引取料金のみ） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 （引取料金+修理代金） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

種類	概要	修理料金	
		保証期間内	保証期間外
持込修理 送付修理	お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。	無償	有償 (基本料+技術料+部品代) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

*： 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

<p>！重要</p> <ul style="list-style-type: none"> エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくこととなります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。
--

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト

epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

インターネット

FAQ epson.jp/faq/

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとして掲載しております。ぜひご利用ください。

●製品に関するご質問・ご相談先（エプソンインフォメーションセンター）

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】050-3155-8077

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8583へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白板2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140

拠点名	所在地	電話番号
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 グリーンビル山下町2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

松本修理センター：0263-86-7660

鳥取修理センター：0857-77-2202

一部対象外機種がございます。修理について詳しくはエプソンのウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/support/

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。梱包は業者が行います。

【電話番号】050-3155-7150

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

一部対象外機種がございます。修理について詳しくはエプソンのウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/support/

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先（エプソンサービスコールセンター）

【電話番号】050-3155-8600

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●ショールーム

詳細はウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/showroom/

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	myepson.jp/ カンタンな質問に答えて会員登録。
---------------	--

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

最新の情報はエプソンのウェブサイト（epson.jp/support/）にてご確認ください。

エプソン販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス (SC) 2019.10